

第2次太子町男女共同参画推進計画＜改訂版＞の策定に向けた

太子町住民意識実態調査 報告書

令和6年9月

太 子 町

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
1	回答者属性.....	2
2	男女の平等と役割分担について.....	7
3	家庭生活等について.....	22
4	教育について.....	34
5	社会活動について.....	41
6	就労について.....	45
7	困りごとや相談について.....	69
8	暴力（ドメスティック・バイオレンス）について.....	83
9	セクシュアル・ハラスメントについて.....	102
10	男女共同参画の推進について.....	108

I 調査の概要

1 調査の目的

太子町では、男女共同参画社会の実現に向けた、施策の基本的方向とその推進方策の指針となる「第2次太子町男女共同参画推進計画」を令和2年3月に策定し、だれもが互いに尊重し合い参画する和のまち“たいし”をめざし、取組みを進めております。

この度、計画策定から5年目を迎えるにあたり、本年4月には「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されるなど、社会情勢が急速に変化している状況を踏まえ、それらに対応し、さらに取組みを推進していくため、本計画の見直しを行います。

見直しにあたっては、住民の皆さまからのご意見を計画に反映させて頂きたいと考え、アンケート調査を実施し、その分析を行いました。

2 調査対象

太子町在住の18歳以上の男女から無作為に抽出した1,000人

3 調査期間

令和6年7月17日～令和6年7月31日

4 調査方法

郵送配付・郵送回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
1,000 通	358 通	35.8%

6 調査結果の表示方法

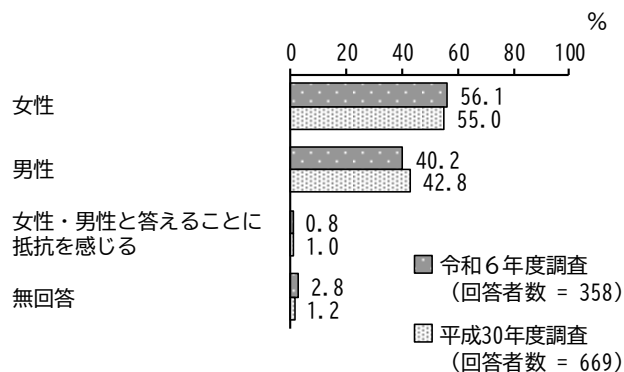
- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

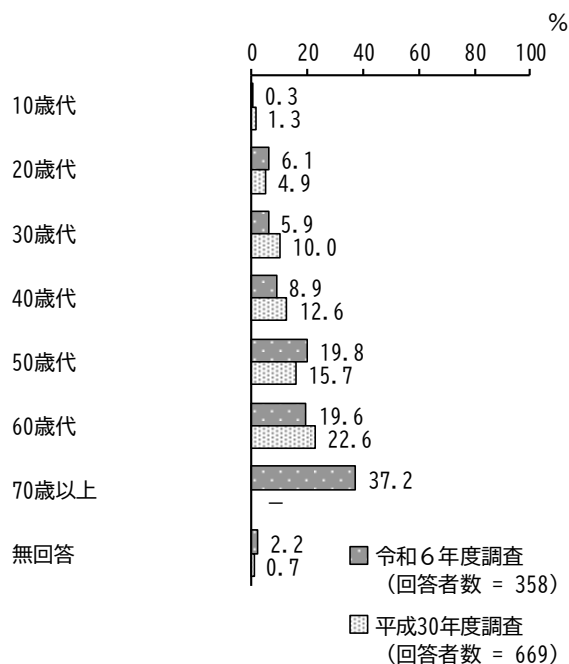
「男性」の割合が 40.2%、「女性」の割合が 56.1%となっています。



問2 あなたの満年齢をお答えください。(○は1つ)

「70 歳以上」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「50 歳代」の割合が 19.8%、「60 歳代」の割合が 19.6%となっています。

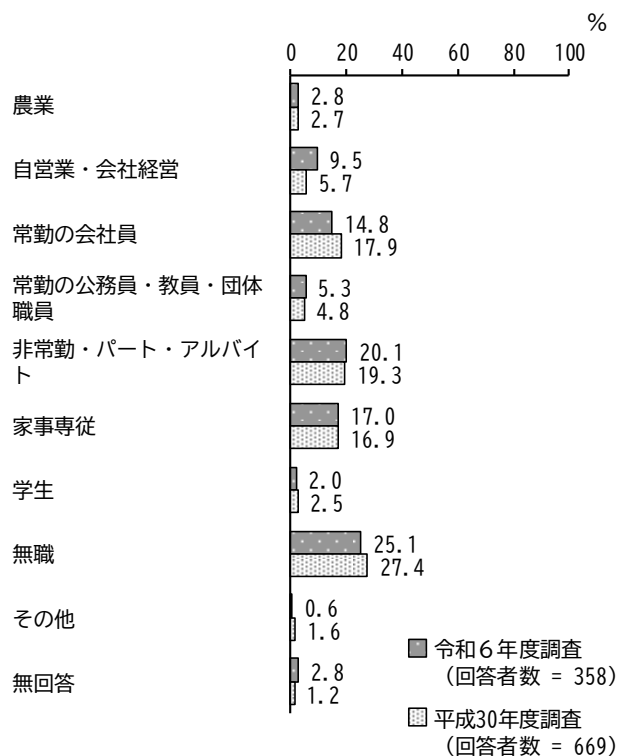
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 あなたのご職業は次のどれですか。(○は1つ)

「無職」の割合が 25.1%と最も高く、次いで
「非常勤・パート・アルバイト」の割合が 20.1%、
「家事専従」の割合が 17.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



【性別】

性別にみると、女性で「家事専従」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	農業	自営業・会社経営	常勤の会社員	常勤の公務員・教員・団体職員	非常勤・パート・アルバイト	家事専従	学生	無職	その他	無回答
全体	358	2.8	9.5	14.8	5.3	20.1	17.0	2.0	25.1	0.6	2.8
女性	201	—	5.5	9.5	4.0	28.4	29.9	2.0	19.4	1.0	0.5
男性	144	6.9	14.6	23.6	7.6	9.0	—	2.1	35.4	—	0.7

【年齢別】

年齢別にみると、70 歳以上で「無職」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	農業	自営業・会社経営	常勤の会社員	常勤の公務員・教員・団体職員	非常勤・パート・アルバイト	家事専従	学生	無職	その他	無回答
全体	358	2.8	9.5	14.8	5.3	20.1	17.0	2.0	25.1	0.6	2.8
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—
20歳代	22	—	—	31.8	9.1	18.2	9.1	27.3	4.5	—	—
30歳代	21	—	4.8	23.8	4.8	47.6	9.5	—	4.8	4.8	—
40歳代	32	—	12.5	34.4	12.5	21.9	9.4	—	6.3	—	3.1
50歳代	71	1.4	8.5	19.7	14.1	33.8	18.3	—	2.8	1.4	—
60歳代	70	1.4	8.6	20.0	2.9	30.0	20.0	—	17.1	—	—
70歳以上	133	6.0	12.8	1.5	—	4.5	20.3	—	54.1	—	0.8

問4 あなたは、現在、結婚されていますか。(○は1つ)

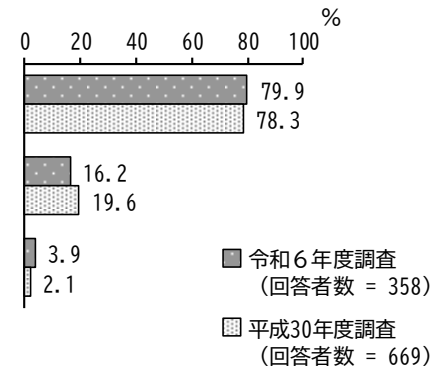
「はい（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係にある場合も含む）」の割合が 79.9%、「いいえ」の割合が 16.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

はい（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係にある場合も含む）

いいえ

無回答



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	はい（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係にある場合も含む）	いいえ	無回答
全体	358	79.9	16.2	3.9
女性	201	80.1	17.9	2.0
男性	144	84.7	13.9	1.4

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。

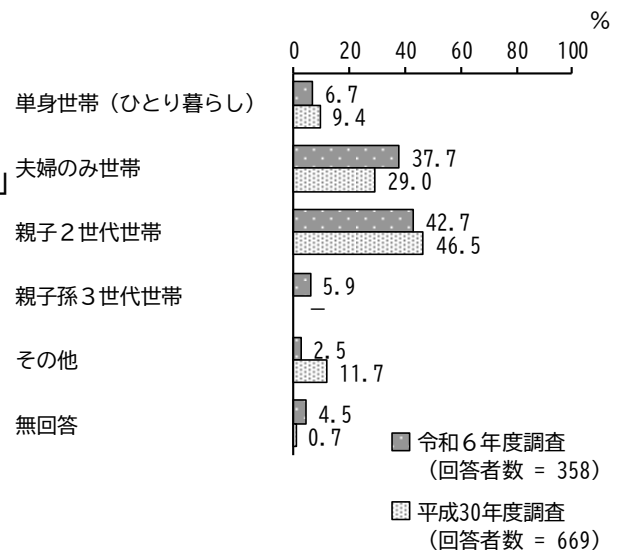
単位：％

区分	回答者数（件）	はい（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係にある場合も含む）	いいえ	無回答
全体	358	79.9	16.2	3.9
10歳代	1	—	100.0	—
20歳代	22	27.3	72.7	—
30歳代	21	66.7	33.3	—
40歳代	32	78.1	21.9	—
50歳代	71	87.3	11.3	1.4
60歳代	70	87.1	12.9	—
70歳以上	133	88.7	7.5	3.8

問5 あなたの家族構成についてお答えください。(○は1つ)

「親子2世代世帯」の割合が42.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」の割合が37.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「夫婦のみ世帯」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「夫婦のみ世帯」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	単身世帯 (ひとり暮らし)	夫婦のみ世帯	親子2世代世帯	親子孫3世代世帯	その他	無回答
全体	358	6.7	37.7	42.7	5.9	2.5	4.5
女性	201	9.0	31.8	46.8	6.0	3.0	3.5
男性	144	4.2	48.6	39.6	5.6	1.4	0.7

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「親子2世代世帯」の割合が高くなっています。

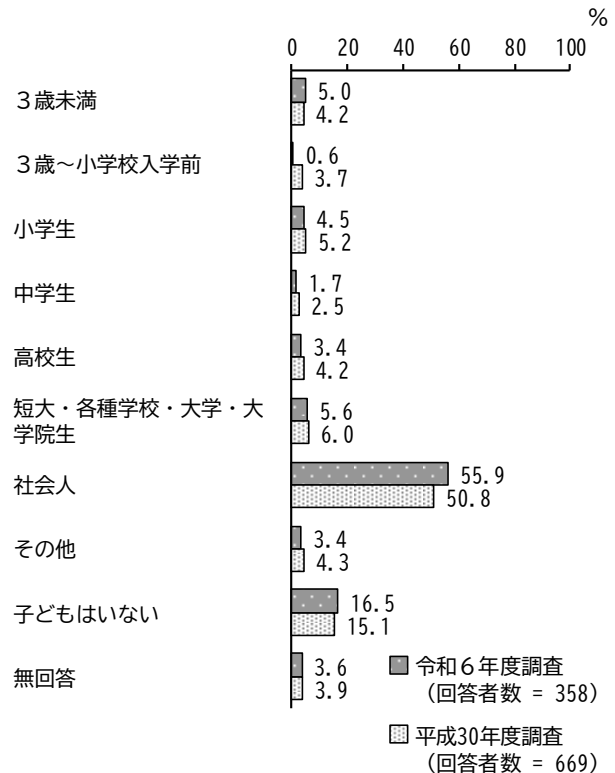
単位：％

区分	回答者数 (件)	単身世帯 (ひとり暮らし)	夫婦のみ世帯	親子2世代世帯	親子孫3世代世帯	その他	無回答
全体	358	6.7	37.7	42.7	5.9	2.5	4.5
10歳代	1	—	—	100.0	—	—	—
20歳代	22	—	—	81.8	9.1	4.5	4.5
30歳代	21	—	23.8	57.1	4.8	14.3	—
40歳代	32	3.1	18.8	65.6	6.3	3.1	3.1
50歳代	71	—	23.9	64.8	7.0	1.4	2.8
60歳代	70	4.3	40.0	42.9	10.0	2.9	—
70歳以上	133	15.0	59.4	18.8	3.0	0.8	3.0

問6 あなたの一番年少の子どもは、次のうちどれにあたりますか。(○は1つ)

「社会人」の割合が55.9%と最も高く、次いで「子どもはいない」の割合が16.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「社会人」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「社会人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	3歳未満	3歳～小学校入学前	小学生	中学生	高校生	短大・各種学校・大学・大学院生	社会人	その他	子どもはいない	無回答
全体	358	5.0	0.6	4.5	1.7	3.4	5.6	55.9	3.4	16.5	3.6
女性	201	6.5	0.5	5.5	2.0	4.5	7.0	53.2	3.5	15.9	1.5
男性	144	3.5	—	2.8	1.4	2.1	4.2	62.5	3.5	18.8	1.4

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「子どもはいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	3歳未満	3歳～小学校入学前	小学生	中学生	高校生	短大・各種学校・大学・大学院生	社会人	その他	子どもはいない	無回答
全体	358	5.0	0.6	4.5	1.7	3.4	5.6	55.9	3.4	16.5	3.6
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	27.3	—	—	—	—	4.5	—	—	68.2	—
30歳代	21	42.9	4.8	14.3	—	—	—	4.8	—	33.3	—
40歳代	32	9.4	3.1	37.5	9.4	12.5	3.1	—	—	25.0	—
50歳代	71	—	—	1.4	2.8	11.3	23.9	46.5	—	14.1	—
60歳代	70	—	—	—	1.4	—	1.4	84.3	5.7	5.7	1.4
70歳以上	133	—	—	—	—	—	—	80.5	6.0	10.5	3.0

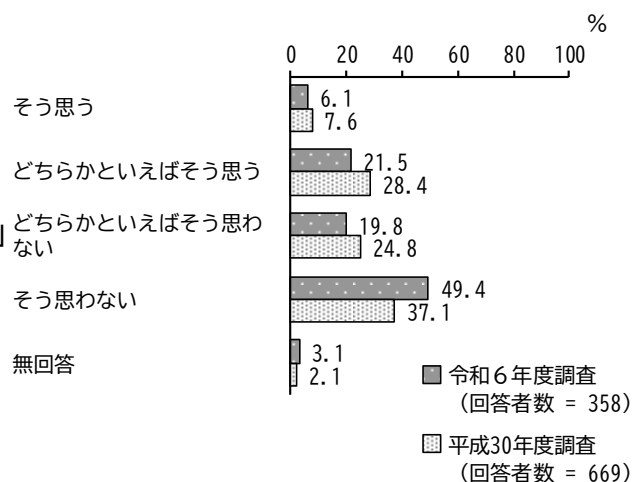
2 男女の平等と役割分担について

問7 あなたは、次のような考えに対してどのように思いますか。（それぞれ○は1つ）

ア 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

「そう思わない」の割合が49.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が21.5%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が19.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえばそう思う」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	358	6.1	21.5	19.8	49.4	3.1
女性	201	4.5	20.4	21.9	52.2	1.0
男性	144	9.0	24.3	18.8	47.2	0.7

【年齢別】

年齢別にみると、30歳代で「どちらかといえばそう思わない」の割合が高くなっています。

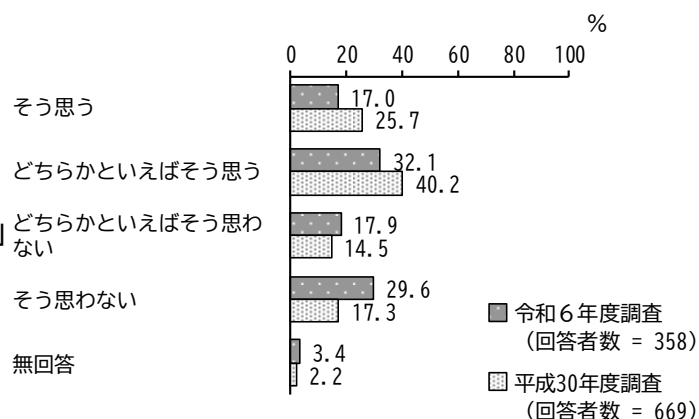
単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	358	6.1	21.5	19.8	49.4	3.1
10歳代	1	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	4.5	13.6	27.3	54.5	—
30歳代	21	9.5	14.3	33.3	42.9	—
40歳代	32	—	21.9	25.0	53.1	—
50歳代	71	2.8	14.1	21.1	60.6	1.4
60歳代	70	2.9	30.0	20.0	47.1	—
70歳以上	133	11.3	24.8	15.8	46.6	1.5

イ 妻子を養うのは男の責任である

「どちらかといえばそう思う」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「そう思わない」の割合が 29.6%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 17.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	どちら かとい えば そう 思わ ない	そう 思わ ない	無 回 答
全体	358	17.0	32.1	17.9	29.6	3.4
女性	201	8.5	31.8	23.4	35.3	1.0
男性	144	30.6	34.7	11.1	22.2	1.4

【年齢別】

年齢別にみると、30 歳代で「どちらかといえばそう思わない」の割合が高くなっています。

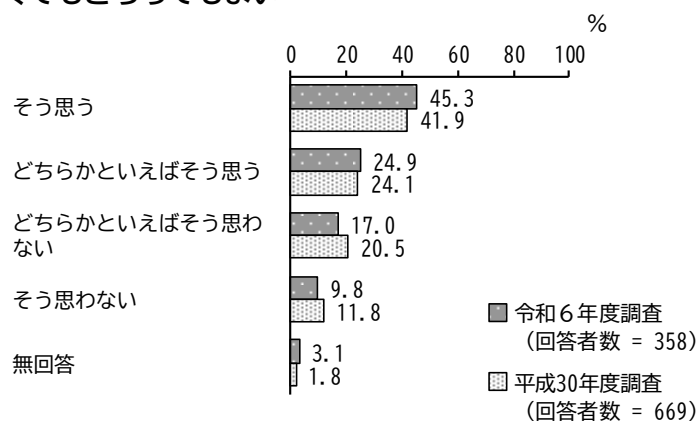
単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	どちら かとい えば そう 思わ ない	そう 思わ ない	無 回 答
全体	358	17.0	32.1	17.9	29.6	3.4
10歳代	1	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	22.7	22.7	22.7	31.8	—
30歳代	21	19.0	14.3	33.3	33.3	—
40歳代	32	6.3	34.4	25.0	34.4	—
50歳代	71	12.7	32.4	23.9	31.0	—
60歳代	70	15.7	41.4	11.4	31.4	—
70歳以上	133	22.6	33.1	14.3	27.1	3.0

ウ 結婚は、個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

「そう思う」の割合が45.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が24.9%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が17.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	358	45.3	24.9	17.0	9.8	3.1
女性	201	49.3	29.4	14.9	6.0	0.5
男性	144	41.0	20.8	20.8	16.0	1.4

【年齢別】

年齢別にみると、30歳代で「そう思う」の割合が高くなっています。

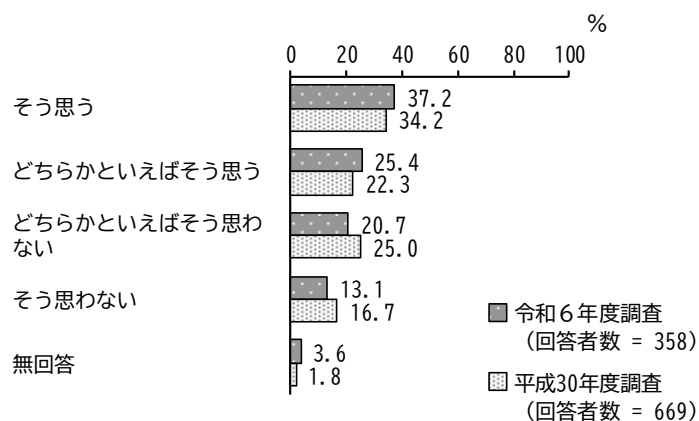
単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	358	45.3	24.9	17.0	9.8	3.1
10歳代	1	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	68.2	27.3	—	4.5	—
30歳代	21	76.2	14.3	4.8	4.8	—
40歳代	32	59.4	25.0	9.4	6.3	—
50歳代	71	49.3	25.4	19.7	5.6	—
60歳代	70	45.7	31.4	15.7	7.1	—
70歳以上	133	33.1	24.1	24.1	16.5	2.3

エ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

「そう思う」の割合が37.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が25.4%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が20.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性で「そう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	358	37.2	25.4	20.7	13.1	3.6
女性	201	42.8	25.9	19.9	10.0	1.5
男性	144	29.9	26.4	23.6	18.8	1.4

【年齢別】

年齢別にみると、30歳代で「そう思う」の割合が高くなっています。

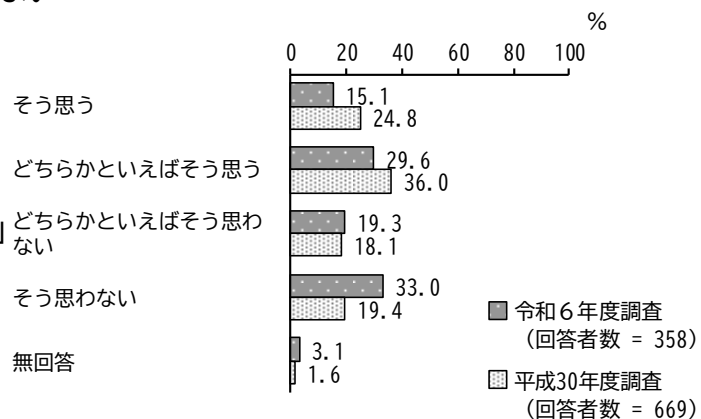
単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	358	37.2	25.4	20.7	13.1	3.6
10歳代	1	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	68.2	18.2	9.1	4.5	—
30歳代	21	81.0	9.5	4.8	4.8	—
40歳代	32	50.0	28.1	18.8	3.1	—
50歳代	71	45.1	26.8	16.9	11.3	—
60歳代	70	30.0	38.6	21.4	8.6	1.4
70歳以上	133	23.3	22.6	28.6	22.6	3.0

オ 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい

「そう思わない」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 29.6%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 19.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	どちら かとい えば そう 思わ ない	そう 思わ ない	無 回 答
全体	358	15.1	29.6	19.3	33.0	3.1
女性	201	9.5	26.9	23.9	38.8	1.0
男性	144	23.6	35.4	14.6	25.7	0.7

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「そう思わない」の割合が高くなっています。

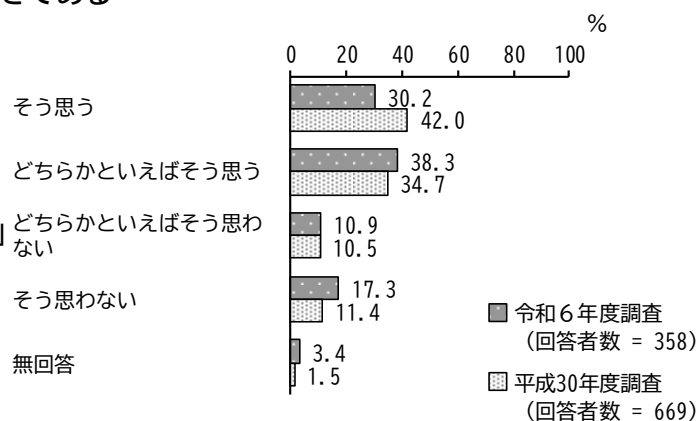
単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	どちら かとい えば そう 思わ ない	そう 思わ ない	無 回 答
全体	358	15.1	29.6	19.3	33.0	3.1
10歳代	1	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	9.1	22.7	13.6	54.5	—
30歳代	21	9.5	14.3	23.8	52.4	—
40歳代	32	15.6	18.8	34.4	31.3	—
50歳代	71	5.6	29.6	18.3	46.5	—
60歳代	70	10.0	32.9	22.9	32.9	1.4
70歳以上	133	25.6	36.1	15.8	21.1	1.5

カ 子どもが3歳くらいまでは、母親の元で育てるべきである

「どちらかといえばそう思う」の割合が 38.3%
と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 30.2%、
「そう思わない」の割合が 17.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体	358	30.2	38.3	10.9	17.3	3.4
女性	201	31.3	39.8	13.4	14.4	1.0
男性	144	29.9	38.9	7.6	22.2	1.4

【年齢別】

年齢別にみると、30 歳代で「どちらかといえばそう思わない」の割合が高くなっています。

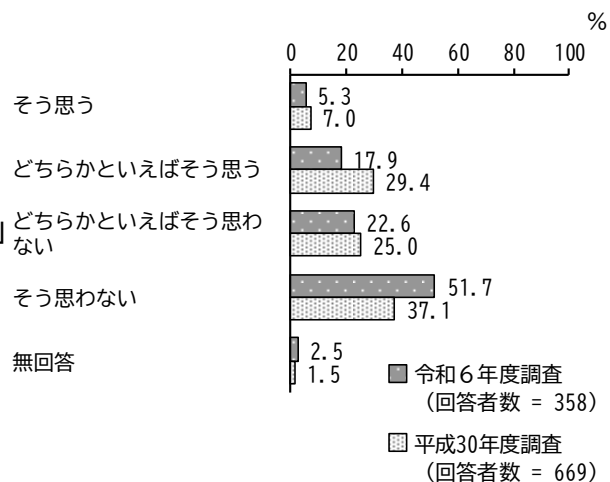
単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体	358	30.2	38.3	10.9	17.3	3.4
10歳代	1	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	13.6	50.0	9.1	27.3	—
30歳代	21	14.3	33.3	28.6	19.0	4.8
40歳代	32	25.0	37.5	12.5	25.0	—
50歳代	71	16.9	43.7	11.3	26.8	1.4
60歳代	70	40.0	37.1	8.6	14.3	—
70歳以上	133	39.8	37.6	9.8	11.3	1.5

キ 夫の親を妻が介護・看護するのは当然である

「そう思わない」の割合が51.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」の割合が22.6%、「どちらかといえばそう思う」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえばそう思う」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性で「そう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	358	5.3	17.9	22.6	51.7	2.5
女性	201	3.0	15.9	21.4	59.7	—
男性	144	9.0	22.2	25.7	42.4	0.7

【年齢別】

年齢別にみると、30歳代で「そう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

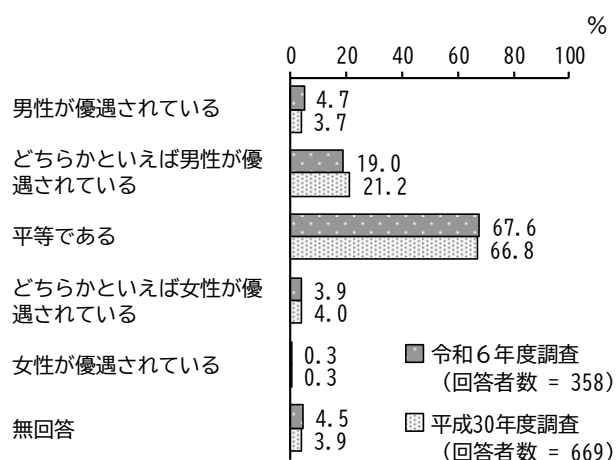
区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	358	5.3	17.9	22.6	51.7	2.5
10歳代	1	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	4.5	4.5	22.7	68.2	—
30歳代	21	4.8	—	23.8	71.4	—
40歳代	32	—	18.8	25.0	56.3	—
50歳代	71	2.8	8.5	21.1	67.6	—
60歳代	70	5.7	17.1	28.6	48.6	—
70歳以上	133	8.3	29.3	21.1	40.6	0.8

問8 現在、日本社会における下記の分野において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。(それぞれ○は1つ)

ア 学校教育の場では

「平等である」の割合が67.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が19.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	4.7	19.0	67.6	3.9	0.3	4.5
女性	201	5.0	22.9	66.7	3.5	—	2.0
男性	144	4.2	15.3	72.9	4.2	0.7	2.8

【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

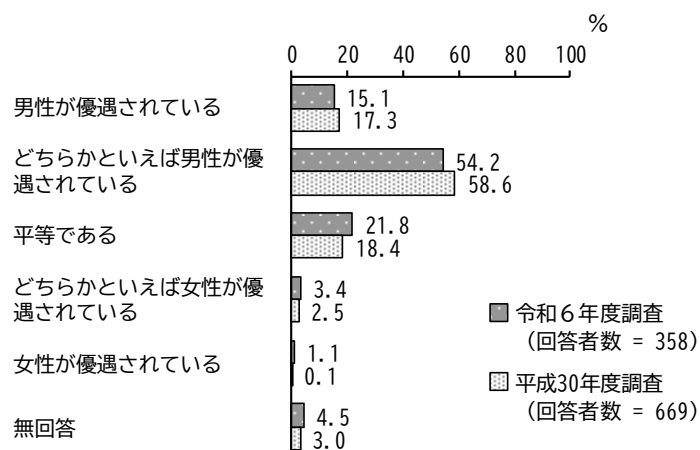
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	4.7	19.0	67.6	3.9	0.3	4.5
10歳代	1	—	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	—	4.5	68.2	22.7	4.5	—
30歳代	21	14.3	14.3	66.7	—	—	4.8
40歳代	32	6.3	12.5	71.9	6.3	—	3.1
50歳代	71	2.8	23.9	71.8	—	—	1.4
60歳代	70	4.3	21.4	67.1	4.3	—	2.9
70歳以上	133	5.3	20.3	69.2	3.0	—	2.3

イ 雇用の機会や働く分野では

「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「平等である」の割合が 21.8%、「男性が優遇されている」の割合が 15.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	15.1	54.2	21.8	3.4	1.1	4.5
女性	201	17.4	56.7	20.9	2.5	—	2.5
男性	144	12.5	54.2	24.3	4.9	2.1	2.1

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

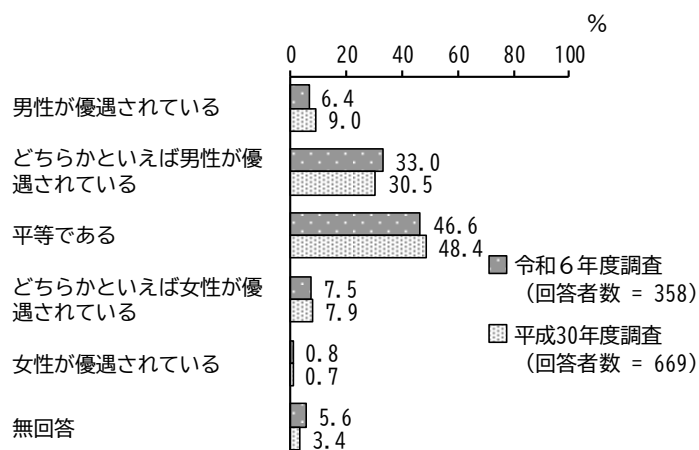
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	15.1	54.2	21.8	3.4	1.1	4.5
10歳代	1	100.0	—	—	—	—	—
20歳代	22	—	45.5	40.9	9.1	4.5	—
30歳代	21	33.3	38.1	14.3	9.5	4.8	—
40歳代	32	28.1	56.3	9.4	—	3.1	3.1
50歳代	71	11.3	60.6	22.5	4.2	—	1.4
60歳代	70	18.6	52.9	18.6	7.1	1.4	1.4
70歳以上	133	12.0	58.6	25.6	—	—	3.8

ウ 地域活動では

「平等である」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 33.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	6.4	33.0	46.6	7.5	0.8	5.6
女性	201	5.5	35.8	48.3	6.0	0.5	4.0
男性	144	7.6	30.6	47.9	10.4	0.7	2.8

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

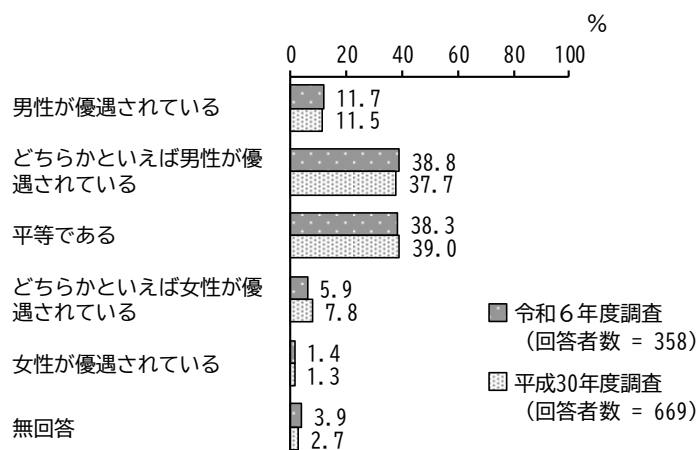
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	6.4	33.0	46.6	7.5	0.8	5.6
10歳代	1	—	—	100.0	—	—	—
20歳代	22	—	18.2	68.2	13.6	—	—
30歳代	21	9.5	33.3	52.4	4.8	—	—
40歳代	32	12.5	28.1	43.8	3.1	3.1	9.4
50歳代	71	9.9	45.1	36.6	2.8	1.4	4.2
60歳代	70	1.4	34.3	52.9	10.0	—	1.4
70歳以上	133	6.8	31.6	47.4	9.8	0.8	3.8

エ 家庭生活では

「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「平等である」の割合が 38.3%、「男性が優遇されている」の割合が 11.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	11.7	38.8	38.3	5.9	1.4	3.9
女性	201	14.4	45.8	32.8	5.0	0.5	1.5
男性	144	7.6	32.6	48.6	6.3	2.8	2.1

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

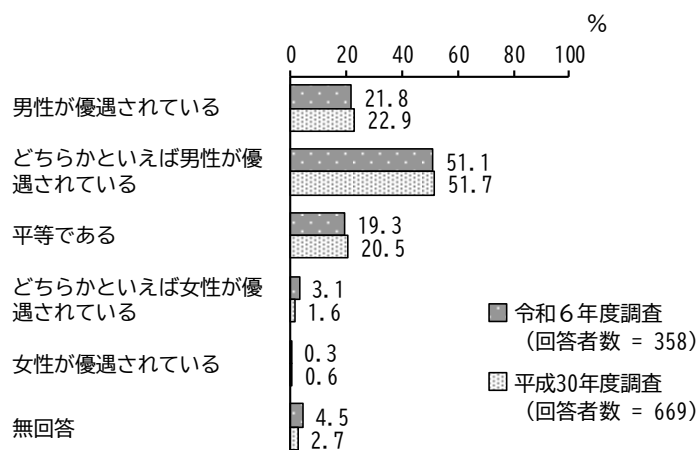
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	11.7	38.8	38.3	5.9	1.4	3.9
10歳代	1	—	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	9.1	22.7	59.1	9.1	—	—
30歳代	21	23.8	33.3	38.1	—	4.8	—
40歳代	32	21.9	46.9	12.5	12.5	3.1	3.1
50歳代	71	18.3	39.4	35.2	5.6	—	1.4
60歳代	70	5.7	50.0	37.1	4.3	1.4	1.4
70歳以上	133	8.3	36.1	45.9	6.0	1.5	2.3

オ 社会慣習やしきたりなどでは

「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「男性が優遇されている」の割合が 21.8%、「平等である」の割合が 19.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	21.8	51.1	19.3	3.1	0.3	4.5
女性	201	26.4	52.2	17.4	1.5	—	2.5
男性	144	16.0	52.1	23.6	5.6	0.7	2.1

【年齢別】

年齢別にみると、30 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

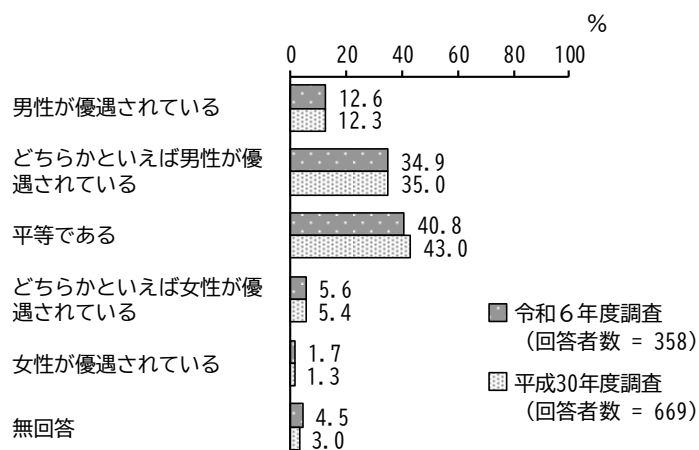
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	21.8	51.1	19.3	3.1	0.3	4.5
10歳代	1	—	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	9.1	68.2	18.2	4.5	—	—
30歳代	21	28.6	28.6	38.1	—	—	4.8
40歳代	32	37.5	43.8	6.3	3.1	—	9.4
50歳代	71	28.2	53.5	12.7	4.2	—	1.4
60歳代	70	22.9	55.7	17.1	2.9	1.4	—
70歳以上	133	16.5	52.6	25.6	3.0	—	2.3

カ 法律や制度の上では

「平等である」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 34.9%、「男性が優遇されている」の割合が 12.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、女性で「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	12.6	34.9	40.8	5.6	1.7	4.5
女性	201	13.9	44.3	35.8	3.0	0.5	2.5
男性	144	11.1	25.0	49.3	9.7	2.8	2.1

【年齢別】

年齢別にみると、30 歳代で「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

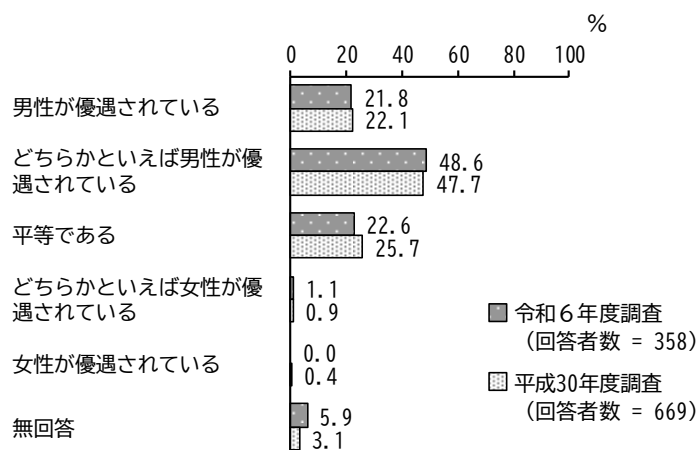
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	12.6	34.9	40.8	5.6	1.7	4.5
10歳代	1	—	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	9.1	36.4	22.7	22.7	9.1	—
30歳代	21	23.8	19.0	42.9	9.5	4.8	—
40歳代	32	15.6	37.5	25.0	12.5	3.1	6.3
50歳代	71	16.9	43.7	28.2	5.6	1.4	4.2
60歳代	70	7.1	37.1	51.4	2.9	1.4	—
70歳以上	133	12.0	32.3	51.1	2.3	—	2.3

キ 政治・経済活動への参加では

「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が48.6%と最も高く、次いで「平等である」の割合が22.6%、「男性が優遇されている」の割合が21.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	21.8	48.6	22.6	1.1	—	5.9
女性	201	23.4	55.2	17.4	0.5	—	3.5
男性	144	20.1	43.1	31.3	1.4	—	4.2

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

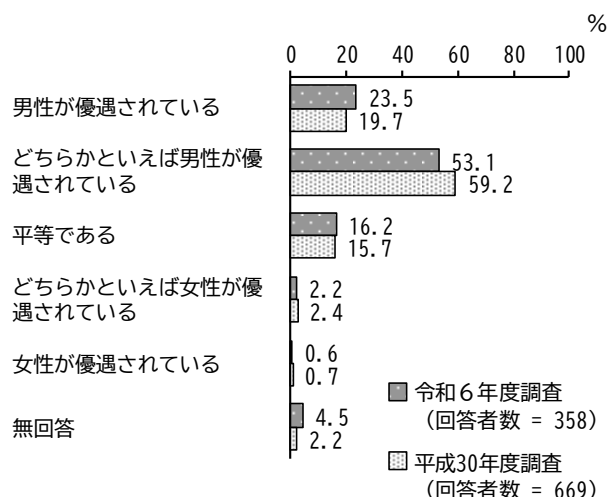
単位：％

区分	回答者数(件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	21.8	48.6	22.6	1.1	—	5.9
10歳代	1	—	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	13.6	45.5	40.9	—	—	—
30歳代	21	33.3	23.8	33.3	4.8	—	4.8
40歳代	32	28.1	53.1	12.5	3.1	—	3.1
50歳代	71	28.2	53.5	12.7	2.8	—	2.8
60歳代	70	18.6	55.7	22.9	—	—	2.9
70歳以上	133	19.5	48.1	27.1	—	—	5.3

ク 全体として、わが国の男女の地位は

「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「男性が優遇されている」の割合が 23.5%、「平等である」の割合が 16.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	23.5	53.1	16.2	2.2	0.6	4.5
女性	201	27.9	55.7	12.9	1.0	0.5	2.0
男性	144	18.1	53.5	21.5	3.5	0.7	2.8

【年齢別】

年齢別にみると、40 歳代で「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	358	23.5	53.1	16.2	2.2	0.6	4.5
10歳代	1	100.0	—	—	—	—	—
20歳代	22	18.2	50.0	22.7	9.1	—	—
30歳代	21	33.3	38.1	23.8	4.8	—	—
40歳代	32	34.4	43.8	12.5	6.3	—	3.1
50歳代	71	26.8	60.6	8.5	1.4	1.4	1.4
60歳代	70	18.6	61.4	17.1	1.4	—	1.4
70歳以上	133	21.8	53.4	19.5	0.8	0.8	3.8

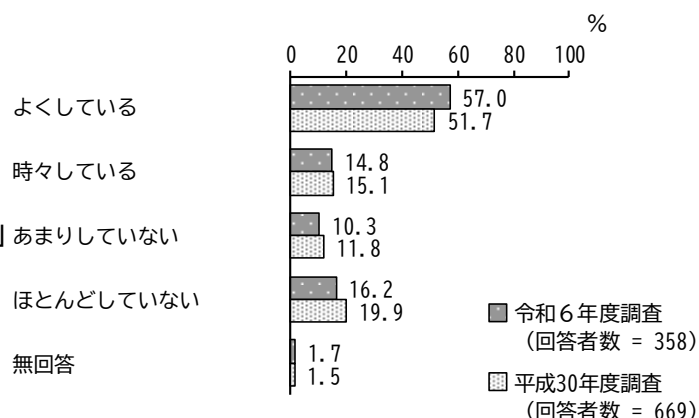
3 家庭生活等について

問9 あなたは、普段ご家庭で次のことをされていますか。(それぞれ○は1つ)

ア 食事の支度

「よくしている」の割合が 57.0%と最も高く、
次いで「ほとんどしていない」の割合が 16.2%、
「時々している」の割合が 14.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「よくしている」あまりしていない
の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「よくしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどして いない	無回 答
全体	358	57.0	14.8	10.3	16.2	1.7
女性	201	86.1	7.0	3.0	2.5	1.5
男性	144	15.3	25.7	21.5	35.4	2.1

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「ほとんどしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどして いない	無回 答
全体	358	57.0	14.8	10.3	16.2	1.7
10歳代	1	—	100.0	—	—	—
20歳代	22	13.6	27.3	22.7	36.4	—
30歳代	21	52.4	28.6	—	19.0	—
40歳代	32	68.8	6.3	9.4	15.6	—
50歳代	71	67.6	12.7	7.0	11.3	1.4
60歳代	70	62.9	10.0	7.1	17.1	2.9
70歳以上	133	52.6	15.8	14.3	15.0	2.3

イ 食事の後片付け

「よくしている」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「時々している」の割合が 18.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「よくしている」の割合が増加しています。

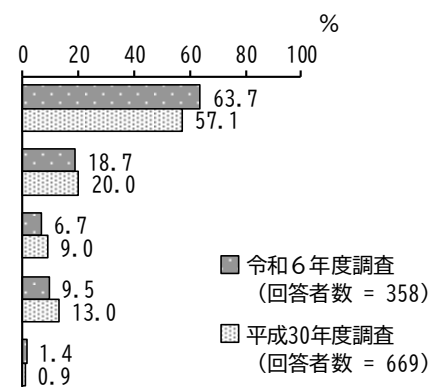
よくしている

時々している

あまりしていない

ほとんどしていない

無回答



【性別】

性別にみると、女性で「よくしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全体	358	63.7	18.7	6.7	9.5	1.4
女性	201	85.6	8.5	2.5	2.5	1.0
男性	144	30.6	34.0	13.2	20.1	2.1

【年齢別】

年齢別にみると、50 歳代で「よくしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全体	358	63.7	18.7	6.7	9.5	1.4
10歳代	1	—	—	100.0	—	—
20歳代	22	31.8	27.3	13.6	27.3	—
30歳代	21	66.7	23.8	4.8	4.8	—
40歳代	32	71.9	15.6	6.3	6.3	—
50歳代	71	74.6	14.1	2.8	7.0	1.4
60歳代	70	68.6	14.3	10.0	5.7	1.4
70歳以上	133	56.4	23.3	6.0	12.0	2.3

ウ 掃除

「よくしている」の割合が54.2%と最も高く、次いで「時々している」の割合が22.6%、「あまりしていない」の割合が13.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「よくしている」の割合が増加しています。一方、「ほとんどしていない」の割合が減少しています。

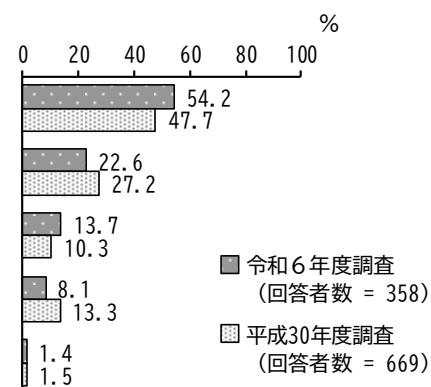
よくしている

時々している

あまりしていない

ほとんどしていない

無回答



【性別】

性別にみると、女性で「よくしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全体	358	54.2	22.6	13.7	8.1	1.4
女性	201	77.1	16.9	3.5	1.5	1.0
男性	144	20.1	31.3	28.5	18.1	2.1

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「あまりしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

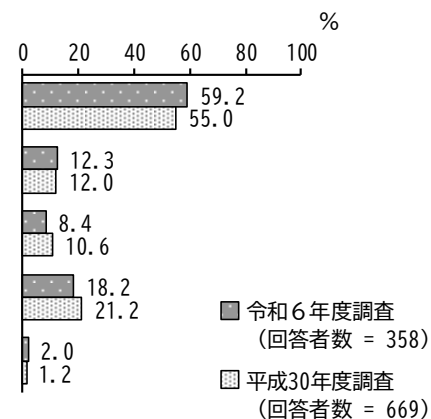
区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全体	358	54.2	22.6	13.7	8.1	1.4
10歳代	1	—	—	100.0	—	—
20歳代	22	27.3	18.2	36.4	18.2	—
30歳代	21	52.4	38.1	9.5	—	—
40歳代	32	68.8	15.6	6.3	9.4	—
50歳代	71	62.0	18.3	14.1	4.2	1.4
60歳代	70	58.6	21.4	10.0	8.6	1.4
70歳以上	133	47.4	26.3	14.3	9.8	2.3

エ 洗濯

「よくしている」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「ほとんどしていない」の割合が 18.2%、「時々している」の割合が 12.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

よくしている
時々している
あまりしていない
ほとんどしていない
無回答



【性別】

性別にみると、女性で「よくしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく している	時々 している	あまり していない	いほ んどして いな	無回 答
全体	358	59.2	12.3	8.4	18.2	2.0
女性	201	86.6	7.0	4.0	1.5	1.0
男性	144	20.8	19.4	14.6	42.4	2.8

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「ほとんどしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく している	時々 している	あまり していない	いほ んどして いな	無回 答
全体	358	59.2	12.3	8.4	18.2	2.0
10歳代	1	—	100.0	—	—	—
20歳代	22	18.2	27.3	13.6	40.9	—
30歳代	21	57.1	23.8	4.8	14.3	—
40歳代	32	68.8	12.5	3.1	12.5	3.1
50歳代	71	73.2	12.7	5.6	7.0	1.4
60歳代	70	61.4	8.6	5.7	22.9	1.4
70歳以上	133	55.6	9.0	12.8	20.3	2.3

オ ごみ出し

「よくしている」の割合が 57.0%と最も高く、
次いで「ほとんどしていない」の割合が 17.3%、
「時々している」の割合が 15.1%となっています。

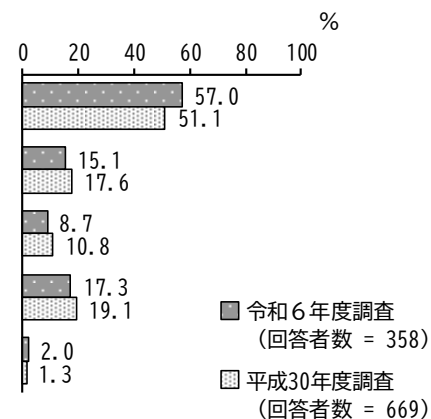
平成 30 年度調査と比較すると、「よくしている」あまりしていない
の割合が増加しています。

よくしている

時々している

ほとんどしていない

無回答



【性別】

性別にみると、女性で「よくしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全体	358	57.0	15.1	8.7	17.3	2.0
女性	201	67.7	10.4	8.0	11.9	2.0
男性	144	40.3	21.5	9.7	26.4	2.1

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「ほとんどしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

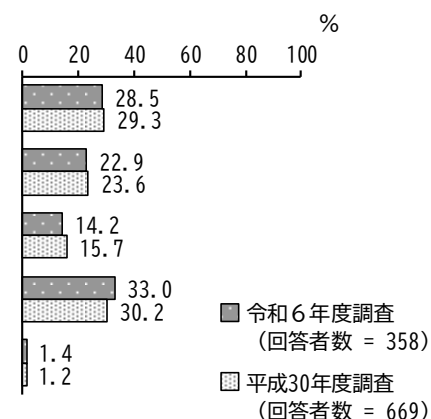
区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全体	358	57.0	15.1	8.7	17.3	2.0
10歳代	1	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	13.6	13.6	13.6	59.1	—
30歳代	21	52.4	9.5	19.0	19.0	—
40歳代	32	53.1	21.9	9.4	15.6	—
50歳代	71	66.2	8.5	8.5	14.1	2.8
60歳代	70	58.6	20.0	5.7	14.3	1.4
70歳以上	133	59.4	15.0	8.3	14.3	3.0

カ 町会や自治会活動などへの参加

「ほとんどしていない」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「よくしている」の割合が 28.5%、「時々している」の割合が 22.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

よくしている
時々している
あまりしていない
ほとんどしていない
無回答



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全体	358	28.5	22.9	14.2	33.0	1.4
女性	201	28.9	22.4	14.4	32.8	1.5
男性	144	27.8	25.7	13.2	32.6	0.7

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「ほとんどしていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全体	358	28.5	22.9	14.2	33.0	1.4
10歳代	1	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	—	4.5	9.1	86.4	—
30歳代	21	4.8	9.5	23.8	61.9	—
40歳代	32	31.3	18.8	12.5	37.5	—
50歳代	71	22.5	25.4	19.7	31.0	1.4
60歳代	70	31.4	25.7	12.9	27.1	2.9
70歳以上	133	38.3	27.8	12.0	21.1	0.8

キ 子どもの世話やしつけ（教育）

「よくしている」の割合が 36.0%と最も高く、
次いで「ほとんどしていない」の割合が 23.2%、
「時々している」の割合が 14.2%となっています。

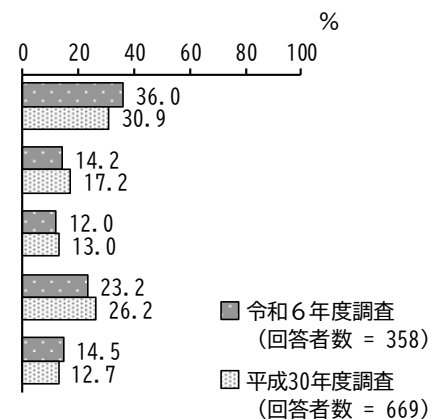
平成 30 年度調査と比較すると、「よくしている」あまりしていない
の割合が増加しています。

よくしている

時々している

ほとんどしていない

無回答



【性別】

性別にみると、女性で「よくしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よく している	時々 している	あまり してい ない	いほ んど してい ない	無回 答
全体	358	36.0	14.2	12.0	23.2	14.5
女性	201	52.2	5.5	3.0	26.9	12.4
男性	144	10.4	27.1	25.0	19.4	18.1

【年齢別】

年齢別にみると、40 歳代で「よくしている」の割合が高くなっています。

単位：％

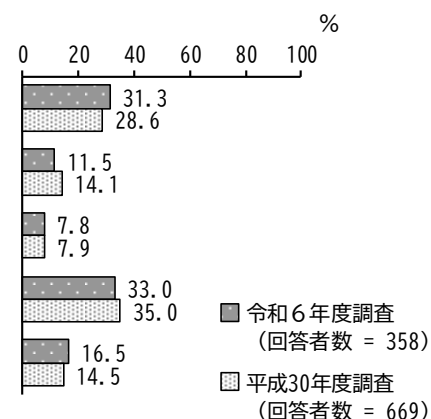
区分	回答者数 (件)	よく している	時々 している	あまり してい ない	いほ んど してい ない	無回 答
全体	358	36.0	14.2	12.0	23.2	14.5
10歳代	1	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	18.2	4.5	13.6	50.0	13.6
30歳代	21	57.1	4.8	—	38.1	—
40歳代	32	65.6	9.4	6.3	12.5	6.3
50歳代	71	56.3	19.7	2.8	15.5	5.6
60歳代	70	31.4	20.0	14.3	20.0	14.3
70歳以上	133	18.8	13.5	18.8	24.8	24.1

ク 子どもの学校行事への参加

「ほとんどしていない」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「よくしている」の割合が 31.3%、「時々している」の割合が 11.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

よくしている
時々している
あまりしていない
ほとんどしていない
無回答



【性別】

性別にみると、女性で「よくしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全体	358	31.3	11.5	7.8	33.0	16.5
女性	201	46.3	5.5	3.0	30.8	14.4
男性	144	8.3	20.1	14.6	36.8	20.1

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「ほとんどしていない」の割合が高くなっています。

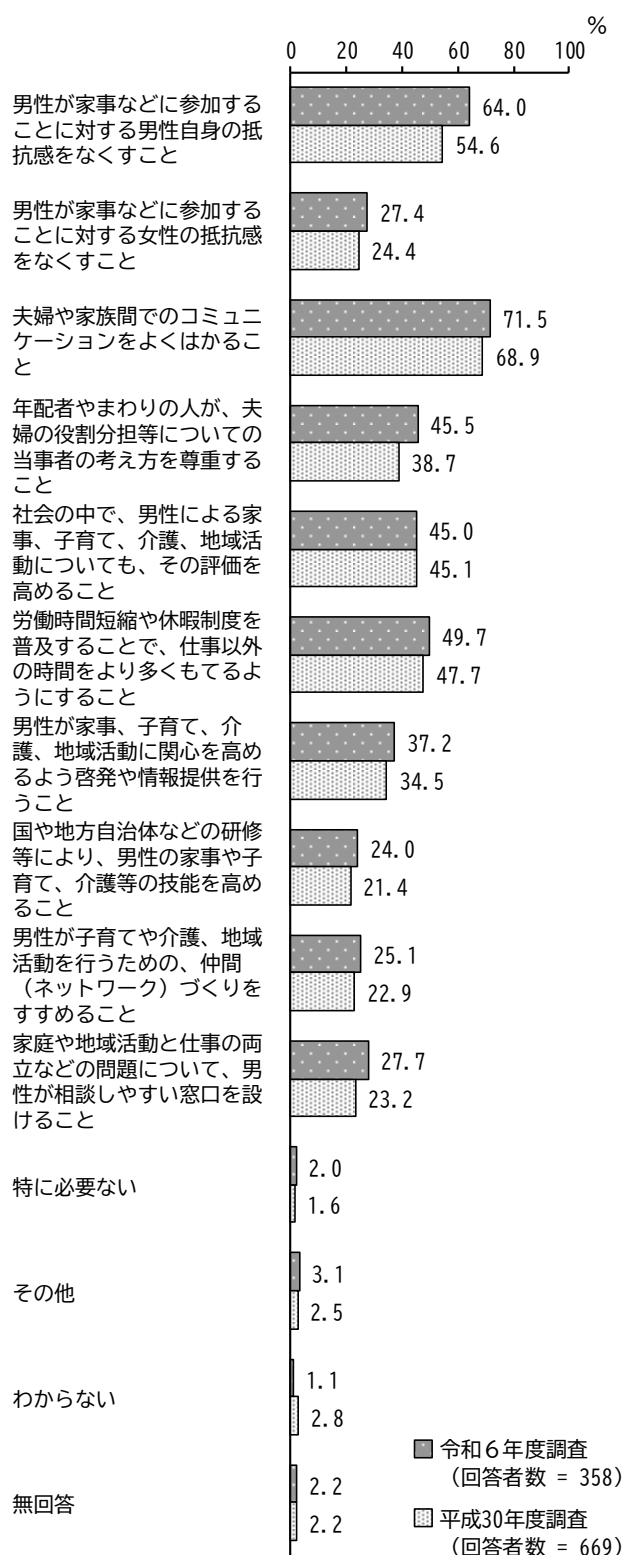
単位：％

区分	回答者数 (件)	よくしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない	無回答
全体	358	31.3	11.5	7.8	33.0	16.5
10歳代	1	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	13.6	4.5	4.5	63.6	13.6
30歳代	21	52.4	4.8	—	38.1	4.8
40歳代	32	56.3	12.5	9.4	15.6	6.3
50歳代	71	50.7	16.9	4.2	23.9	4.2
60歳代	70	24.3	17.1	2.9	34.3	21.4
70歳以上	133	17.3	8.3	13.5	35.3	25.6

問 10 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」の割合が71.5%と最も高く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の割合が64.0%、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること」の割合が49.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること	労働時間短縮や休暇制度を普及すること、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと	国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	特に必要ない	その他	わからない	無回答
全体	358	64.0	27.4	71.5	45.5	45.0	49.7	37.2	24.0	25.1	27.7	2.0	3.1	1.1	2.2
女性	201	72.6	29.4	74.1	49.8	50.2	47.3	42.8	27.9	28.4	29.4	2.5	2.5	0.5	2.0
男性	144	53.5	24.3	66.7	39.6	38.9	53.5	29.9	19.4	20.8	23.6	—	4.2	2.1	2.8

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと」「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること」の割合が高くなっています。

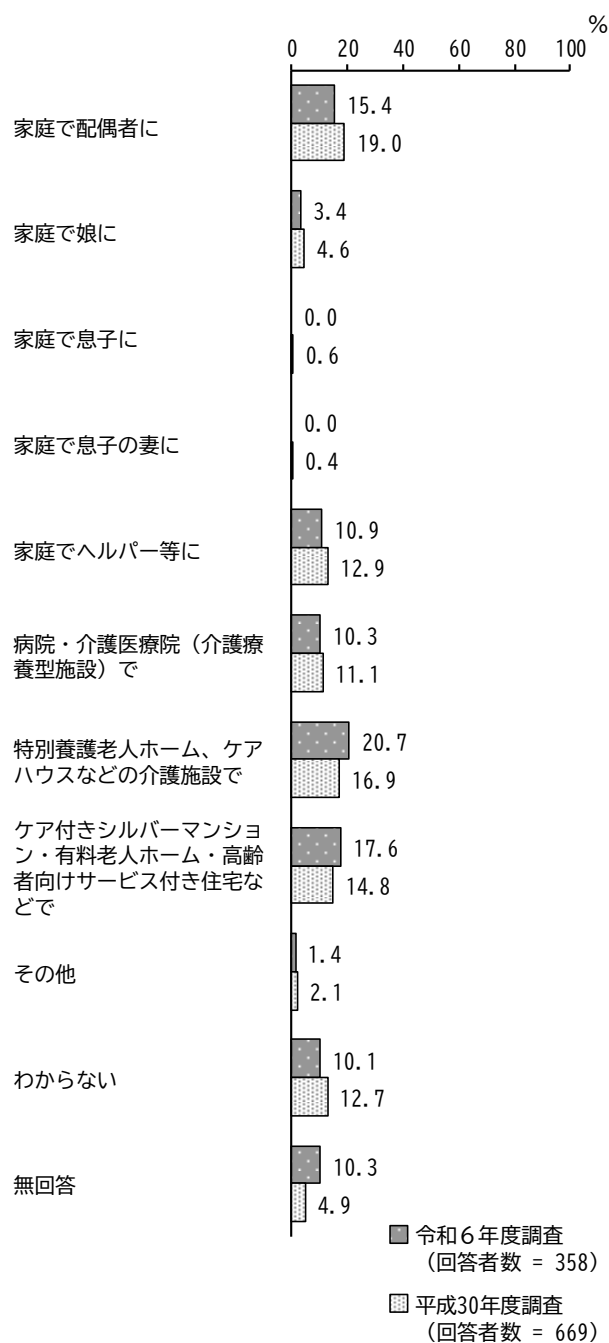
単位：％

区分	回答者数（件）	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること	労働時間短縮や休暇制度を普及すること、仕事以外の時間をより多くもてるようにすること	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと	国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	特に必要ない	その他	わからない	無回答
全体	358	64.0	27.4	71.5	45.5	45.0	49.7	37.2	24.0	25.1	27.7	2.0	3.1	1.1	2.2
10歳代	1	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	22	50.0	45.5	81.8	63.6	54.5	63.6	18.2	31.8	22.7	31.8	4.5	13.6	—	—
30歳代	21	57.1	19.0	71.4	47.6	57.1	61.9	38.1	23.8	28.6	38.1	—	9.5	—	—
40歳代	32	56.3	21.9	65.6	59.4	40.6	56.3	31.3	34.4	28.1	28.1	3.1	6.3	3.1	—
50歳代	71	67.6	22.5	63.4	45.1	40.8	50.7	39.4	19.7	25.4	26.8	1.4	2.8	—	2.8
60歳代	70	70.0	21.4	75.7	45.7	45.7	48.6	42.9	18.6	21.4	22.9	—	1.4	1.4	1.4
70歳以上	133	65.4	31.6	72.2	38.3	44.4	44.4	37.6	25.6	26.3	27.1	2.3	0.8	1.5	3.8

問 11 あなた自身に介護が必要となった場合、どこで・誰に介護をしてほしいですか。
現在の状況にかかわらず、ご希望をお答えください。(○は1つ)

「特別養護老人ホーム、ケアハウスなどの介護施設で」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「ケア付きシルバーマンション・有料老人ホーム・高齢者向けサービス付き住宅などで」の割合が 17.6%、「家庭で配偶者に」の割合が 15.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性で「家庭で配偶者に」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家庭で配偶者に	家庭で娘に	家庭で息子に	家庭で息子の妻に	家庭でヘルパー等に	病院・介護医療院（介護療養型施設）で	特別養護老人ホーム、ケアハウスなどの介護施設で	ケア付きシルバーマンション・有料老人ホーム・高齢者向けサービス付き住宅などで	その他	わからない	無回答
全体	358	15.4	3.4	—	—	10.9	10.3	20.7	17.6	1.4	10.1	10.3
女性	201	6.5	4.5	—	—	10.0	10.4	21.4	23.4	2.0	10.9	10.9
男性	144	28.5	1.4	—	—	11.8	8.3	19.4	11.1	—	9.7	9.7

【年齢別】

年齢別にみると、40歳代で「ケア付きシルバーマンション・有料老人ホーム・高齢者向けサービス付き住宅などで」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家庭で配偶者に	家庭で娘に	家庭で息子に	家庭で息子の妻に	家庭でヘルパー等に	病院・介護医療院（介護療養型施設）で	特別養護老人ホーム、ケアハウスなどの介護施設で	ケア付きシルバーマンション・有料老人ホーム・高齢者向けサービス付き住宅などで	その他	わからない	無回答
全体	358	15.4	3.4	—	—	10.9	10.3	20.7	17.6	1.4	10.1	10.3
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	9.1	—	—	—	4.5	9.1	18.2	31.8	—	22.7	4.5
30歳代	21	14.3	—	—	—	—	—	19.0	23.8	4.8	19.0	19.0
40歳代	32	9.4	6.3	—	—	3.1	9.4	18.8	37.5	3.1	9.4	3.1
50歳代	71	8.5	2.8	—	—	11.3	8.5	23.9	12.7	1.4	15.5	15.5
60歳代	70	11.4	1.4	—	—	12.9	14.3	27.1	14.3	—	12.9	5.7
70歳以上	133	24.1	4.5	—	—	13.5	9.0	17.3	15.0	1.5	3.0	12.0

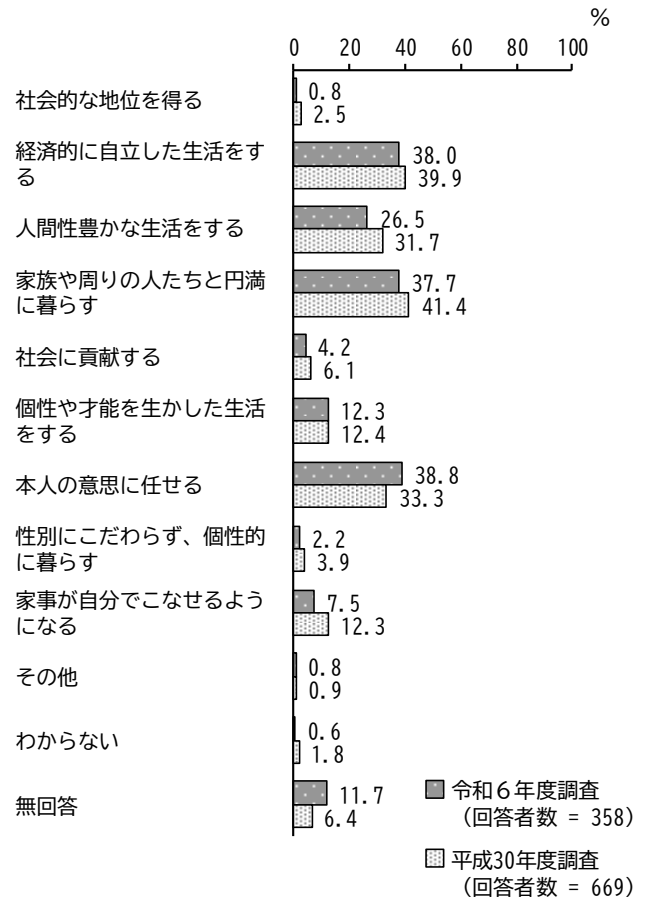
4 教育について

問 12 あなたは、ご自分の子どもに将来どのような生き方をしてほしいと思われますか。女の子、男の子について、それぞれお聞かせください。子どものいない方も、仮にいたと想定して、お答えください。（それぞれ〇は2つまで）

女の子（〇は2つ）

「本人の意思に任せる」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「経済的に自立した生活をする」の割合が 38.0%、「家族や周りの人たちと円満に暮らす」の割合が 37.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「本人の意思に任せる」の割合が増加しています。一方、「人間性豊かな生活をする」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「個性や才能を生かした生活をする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	社会的地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	個性や才能を生かした生活をする	本人の意思に任せる	性別にこだわらず、個性的に暮らす	家事が自分でこなせるようになる	その他	わからない	無回答
全体	358	0.8	38.0	26.5	37.7	4.2	12.3	38.8	2.2	7.5	0.8	0.6	11.7
女性	201	0.5	36.8	27.9	36.8	4.5	8.0	42.8	1.5	7.0	1.0	1.0	12.9
男性	144	1.4	38.2	25.7	40.3	4.2	18.1	31.3	2.8	8.3	0.7	—	11.1

【年齢別】

年齢別にみると、40歳代で「人間性豊かな生活をする」の割合が高くなっています。

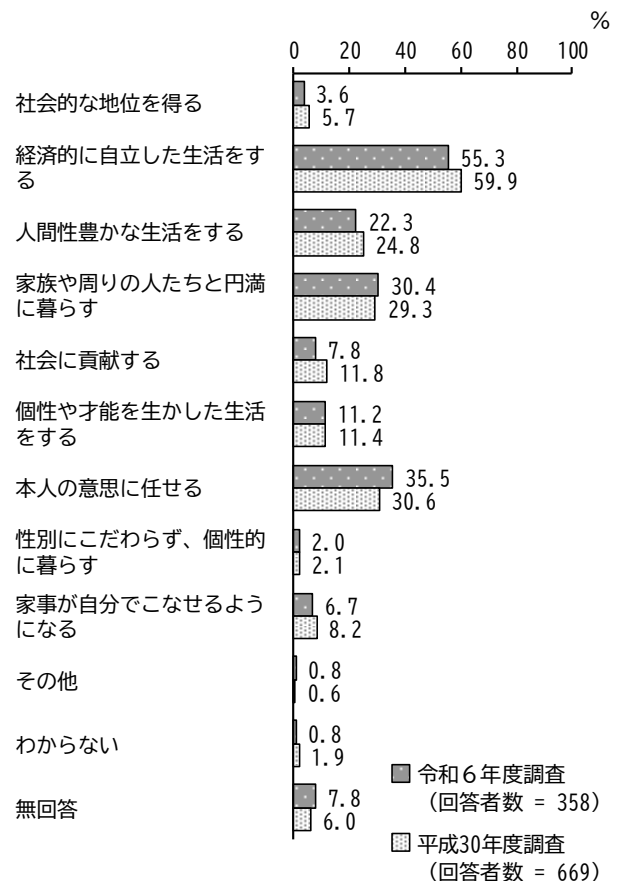
単位：％

区分	回答者数 (件)	社会的な地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	個性や才能を生かした生活をする	本人の意思に任せる	性別にこだわらず、个性的に暮らす	家事が自分でこなせるようになる	その他	わからない	無回答
全体	358	0.8	38.0	26.5	37.7	4.2	12.3	38.8	2.2	7.5	0.8	0.6	11.7
10歳代	1	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	22	—	40.9	31.8	31.8	4.5	4.5	36.4	4.5	13.6	—	—	9.1
30歳代	21	4.8	23.8	19.0	38.1	4.8	19.0	42.9	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8
40歳代	32	—	40.6	40.6	37.5	3.1	12.5	28.1	—	9.4	3.1	—	9.4
50歳代	71	—	42.3	19.7	42.3	4.2	11.3	45.1	1.4	5.6	1.4	—	11.3
60歳代	70	—	35.7	31.4	41.4	5.7	11.4	41.4	1.4	5.7	—	—	10.0
70歳以上	133	1.5	37.6	24.8	34.6	3.8	13.5	33.8	2.3	9.0	—	0.8	15.8

男子（〇は2つ）

「経済的に自立した生活をする」の割合が55.3%と最も高く、次いで「本人の意思に任せる」の割合が35.5%、「家族や周りの人たちと円満に暮らす」の割合が30.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	社会的な地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	個性や才能を生かした生活をする	本人の意思に任せる	性別にこだわらず、個性的に暮らす	家事が自分でこなせるようになる	その他	わからない	無回答
全体	358	3.6	55.3	22.3	30.4	7.8	11.2	35.5	2.0	6.7	0.8	0.8	7.8
女性	201	3.0	55.2	23.4	30.8	6.0	8.5	39.8	1.0	7.5	1.0	1.0	8.0
男性	144	4.2	54.9	20.8	31.3	11.1	15.3	29.2	2.8	5.6	0.7	0.7	7.6

【年齢別】

年齢別にみると、40歳代で「人間性豊かな生活をする」の割合が高くなっています。

単位：％

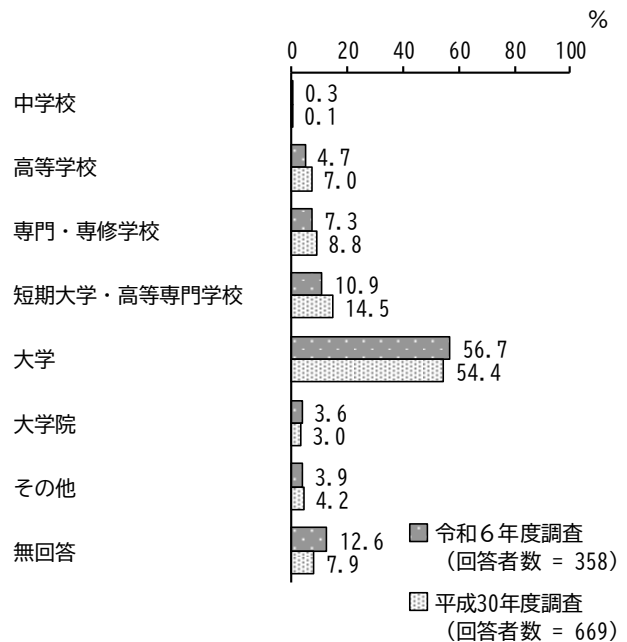
区分	回答者数 (件)	社会的な地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	個性や才能を生かした生活をする	本人の意思に任せる	性別にこだわらず、個性的に暮らす	家事が自分でこなせるようになる	その他	わからない	無回答
全体	358	3.6	55.3	22.3	30.4	7.8	11.2	35.5	2.0	6.7	0.8	0.8	7.8
10歳代	1	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	22	4.5	59.1	27.3	40.9	4.5	9.1	31.8	4.5	4.5	—	—	—
30歳代	21	9.5	23.8	19.0	28.6	4.8	19.0	38.1	4.8	9.5	4.8	4.8	9.5
40歳代	32	3.1	53.1	37.5	34.4	6.3	12.5	21.9	3.1	—	3.1	3.1	6.3
50歳代	71	1.4	50.7	16.9	33.8	7.0	18.3	45.1	1.4	4.2	—	—	8.5
60歳代	70	4.3	55.7	25.7	32.9	5.7	8.6	44.3	—	5.7	—	—	5.7
70歳以上	133	3.8	63.2	18.8	24.8	11.3	8.3	28.6	2.3	9.8	0.8	0.8	9.8

問 13 あなたは、ご自分の子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思われますか。女の子、男の子について、それぞれお聞かせください。子どものいない方も、仮にいたと想定して、お答えください。(それぞれ○は1つ)

女の子 (○は1つ)

「大学」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「短期大学・高等専門学校」の割合が 10.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校	高等学校	専門・専修学校	短期大学・高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
全体	358	0.3	4.7	7.3	10.9	56.7	3.6	3.9	12.6
女性	201	—	4.0	6.5	12.9	54.2	3.5	4.0	14.9
男性	144	0.7	6.3	8.3	7.6	59.7	3.5	3.5	10.4

【年齢別】

年齢別にみると、50 歳代で「大学」の割合が高くなっています。

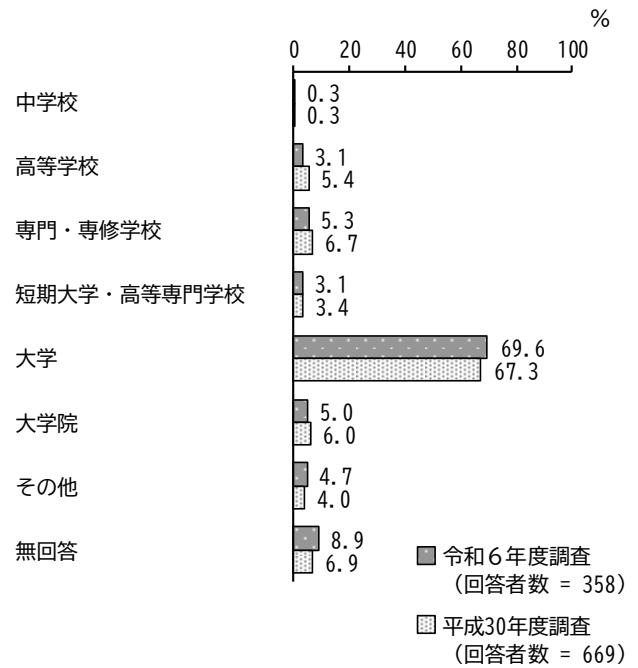
単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校	高等学校	専門・専修学校	短期大学・高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
全体	358	0.3	4.7	7.3	10.9	56.7	3.6	3.9	12.6
10歳代	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	—	18.2	4.5	4.5	54.5	—	4.5	13.6
30歳代	21	—	—	4.8	14.3	57.1	—	14.3	9.5
40歳代	32	—	9.4	9.4	6.3	59.4	3.1	3.1	9.4
50歳代	71	1.4	4.2	2.8	5.6	64.8	5.6	4.2	11.3
60歳代	70	—	1.4	7.1	12.9	58.6	4.3	4.3	11.4
70歳以上	133	—	4.5	10.5	12.8	50.4	3.8	2.3	15.8

男の子（〇は1つ）

「大学」の割合が 69.6%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校	高等学校	専門・専修学校	短期大学・高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
全体	358	0.3	3.1	5.3	3.1	69.6	5.0	4.7	8.9
女性	201	—	2.0	4.5	4.5	68.2	6.0	5.5	9.5
男性	144	0.7	4.9	6.3	1.4	70.8	4.2	3.5	8.3

【年齢別】

年齢別にみると、40 歳代で「大学」の割合が高くなっています。

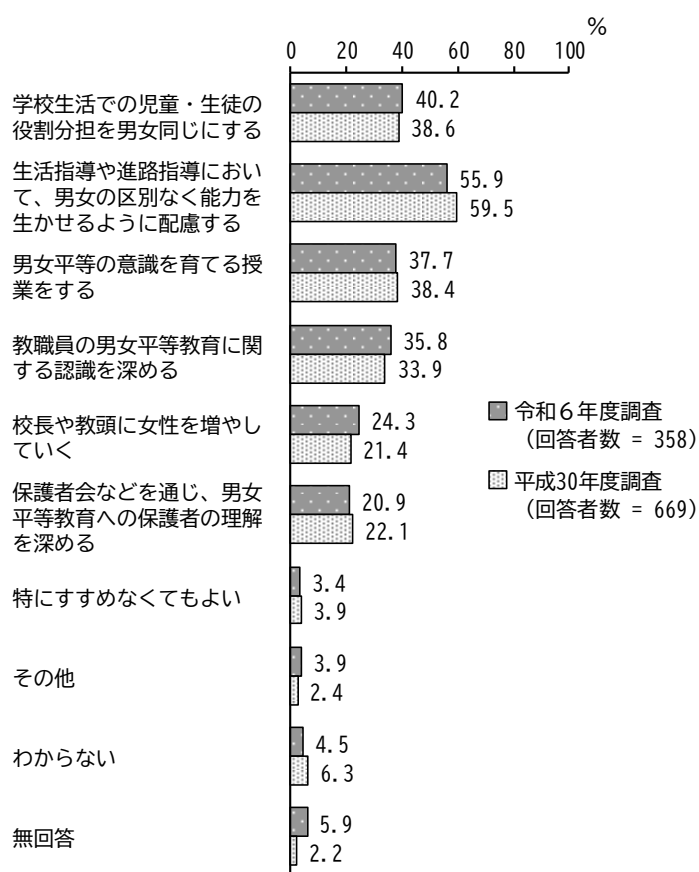
単位：％

区分	回答者数 (件)	中学校	高等学校	専門・専修学校	短期大学・高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
全体	358	0.3	3.1	5.3	3.1	69.6	5.0	4.7	8.9
10歳代	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—
20歳代	22	—	13.6	9.1	4.5	63.6	—	4.5	4.5
30歳代	21	—	—	—	—	71.4	—	14.3	14.3
40歳代	32	—	3.1	6.3	—	75.0	3.1	3.1	9.4
50歳代	71	1.4	4.2	5.6	1.4	69.0	7.0	4.2	7.0
60歳代	70	—	—	5.7	5.7	71.4	4.3	5.7	7.1
70歳以上	133	—	3.0	5.3	3.8	66.9	6.8	3.8	10.5

問 14 学校教育の中で男女平等をすすめるために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する」の割合が55.9%と最も高く、次いで「学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする」の割合が40.2%、「男女平等の意識を育てる授業をする」の割合が37.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する	男女平等の意識を育てる授業をする	教職員の男女平等教育に関する認識を深める	校長や教頭に女性を増やしていく	保護者会などを通じ、男女平等教育への保護者の理解を深める	特にすすめなくてもよい	その他	わからない	無回答
全体	358	40.2	55.9	37.7	35.8	24.3	20.9	3.4	3.9	4.5	5.9
女性	201	43.3	55.2	39.3	33.3	23.9	21.9	2.5	1.5	5.5	6.0
男性	144	36.8	59.7	35.4	38.9	25.7	18.1	4.2	6.3	2.8	4.2

【年齢別】

年齢別にみると、60歳代で「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する」の割合が高くなっています。

単位：％

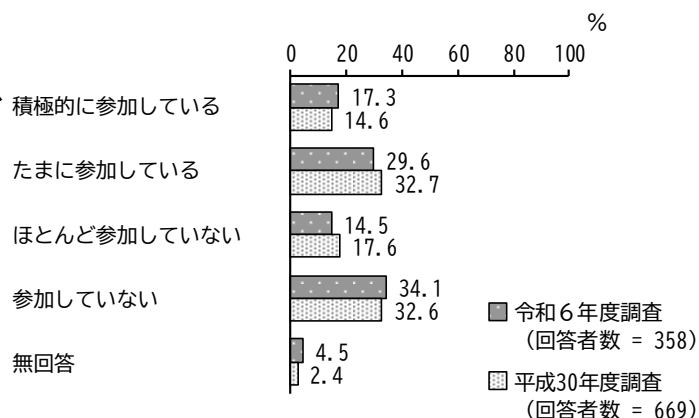
区分	回答者数（件）	学校生活での児童・生徒の役割分担を男女同じにする	生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する	男女平等の意識を育てる授業をする	教職員の男女平等教育に関する認識を深める	校長や教頭に女性を増やしていく	保護者会などを通じ、男女平等教育への保護者の理解を深める	特にすすめなくてもよい	その他	わからない	無回答
全体	358	40.2	55.9	37.7	35.8	24.3	20.9	3.4	3.9	4.5	5.9
10歳代	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	22	45.5	59.1	40.9	18.2	27.3	18.2	9.1	9.1	4.5	—
30歳代	21	28.6	52.4	33.3	23.8	28.6	19.0	4.8	14.3	4.8	—
40歳代	32	43.8	53.1	31.3	34.4	34.4	18.8	—	9.4	12.5	—
50歳代	71	33.8	40.8	42.3	35.2	25.4	12.7	5.6	2.8	8.5	7.0
60歳代	70	47.1	70.0	34.3	37.1	24.3	28.6	1.4	1.4	2.9	2.9
70歳以上	133	40.6	60.2	39.8	40.6	21.8	21.8	3.0	1.5	0.8	8.3

5 社会活動について

問 15 あなたは社会的な活動に参加されていますか。(○は1つ)

「参加していない」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「たまに参加している」の割合が 29.6%、「積極的に参加している」の割合が 17.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	積極的に 参加して いる	たまに 参加して いる	ほとんど 参加して いない	参加して いない	無回 答
全体	358	17.3	29.6	14.5	34.1	4.5
女性	201	13.9	29.9	14.4	37.3	4.5
男性	144	22.2	31.3	14.6	29.2	2.8

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「参加していない」の割合が高くなっています。

単位：％

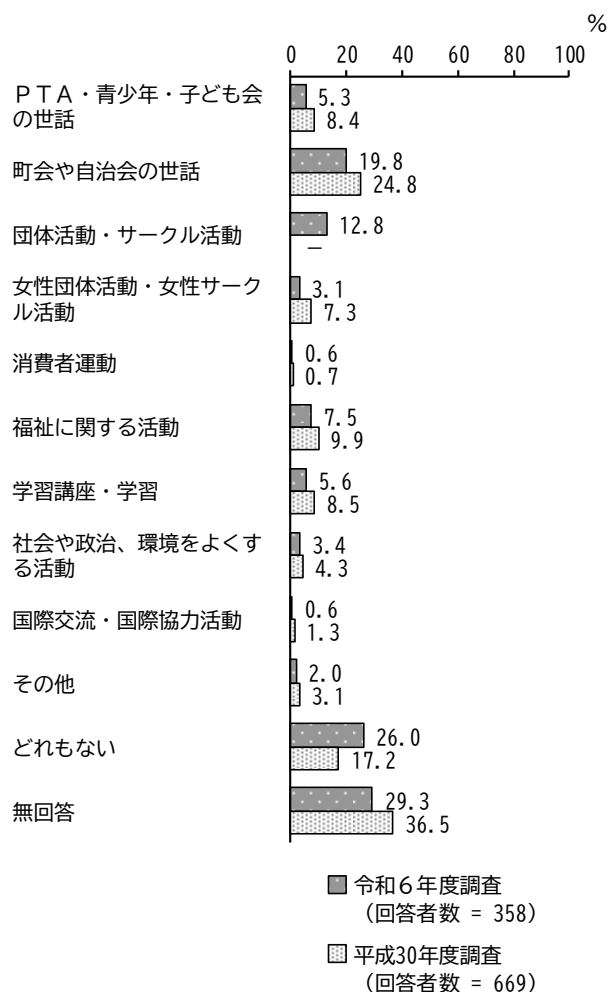
区分	回答者数 (件)	積極的に 参加して いる	たまに 参加して いる	ほとんど 参加して いない	参加して いない	無回 答
全体	358	17.3	29.6	14.5	34.1	4.5
10歳代	1	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	4.5	—	18.2	77.3	—
30歳代	21	4.8	4.8	19.0	71.4	—
40歳代	32	15.6	28.1	18.8	37.5	—
50歳代	71	11.3	32.4	21.1	29.6	5.6
60歳代	70	22.9	40.0	10.0	27.1	—
70歳以上	133	23.3	33.1	12.0	24.8	6.8

問 16 次にあげている活動の中で、最近 1 年間にあなたが参加されたもの、さらに今後参加したい、引続き参加したいものがあればお聞かせください。
(それぞれ○は 1 つ)

最近 1 年間に参加した

「どれもない」の割合が 26.0%と最も高く、次いで「町会や自治会の世話」の割合が 19.8%、「団体活動・サークル活動」の割合が 12.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「どれもない」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「町会や自治会の世話」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	PTA・青少年・子ども会の世話	町会や自治会の世話	団体活動・サークル活動	女性団体活動・女性サークル活動	消費者運動	福祉に関する活動	学習講座・学習	社会や政治、環境をよくする活動	国際交流・国際協力活動	その他	どれもない	無回答
全体	358	5.3	19.8	12.8	3.1	0.6	7.5	5.6	3.4	0.6	2.0	26.0	29.3
女性	201	6.0	17.4	12.9	5.5	—	7.5	8.0	1.5	0.5	2.0	27.4	30.8
男性	144	3.5	25.0	13.2	—	0.7	8.3	2.8	5.6	0.7	2.1	23.6	26.4

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「どれもない」の割合が高くなっています。

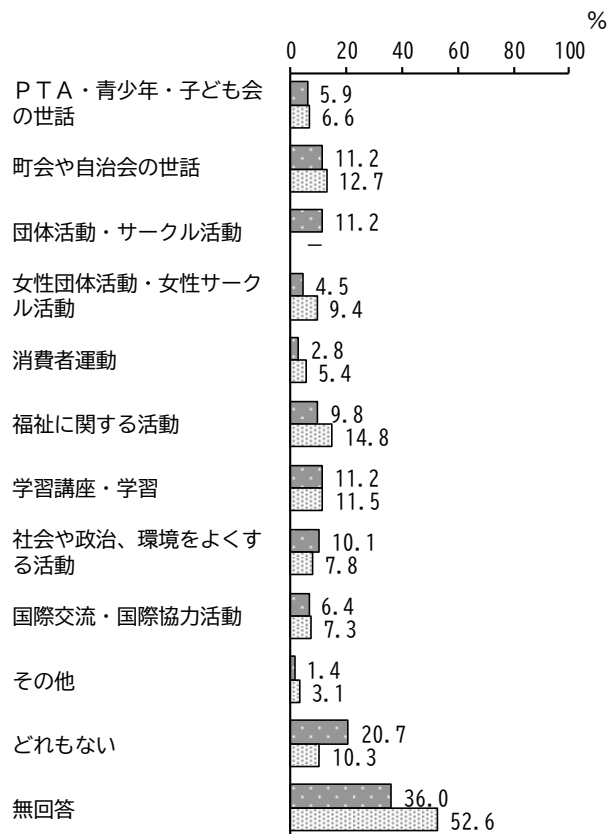
単位：％

区分	回答者数 (件)	PTA・青少年・子ども会の世話	町会や自治会の世話	団体活動・サークル活動	女性団体活動・女性サークル活動	消費者運動	福祉に関する活動	学習講座・学習	社会や政治、環境をよくする活動	国際交流・国際協力活動	その他	どれもない	無回答
全体	358	5.3	19.8	12.8	3.1	0.6	7.5	5.6	3.4	0.6	2.0	26.0	29.3
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
20歳代	22	4.5	—	4.5	—	—	4.5	4.5	—	—	—	40.9	45.5
30歳代	21	9.5	—	—	—	—	—	—	4.8	—	—	33.3	52.4
40歳代	32	18.8	9.4	18.8	—	—	3.1	6.3	6.3	3.1	—	34.4	18.8
50歳代	71	7.0	23.9	5.6	1.4	1.4	8.5	7.0	2.8	—	4.2	32.4	23.9
60歳代	70	2.9	27.1	12.9	2.9	—	4.3	8.6	—	—	4.3	31.4	22.9
70歳以上	133	0.8	24.1	19.5	6.0	0.8	12.0	4.5	4.5	0.8	0.8	15.0	29.3

今後参加したい 引続き参加したい

「どれもない」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「町会や自治会の世話」、「団体活動・サークル活動」、「学習講座・学習」の割合が 11.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「どれもない」の割合が増加しています。



■ 令和6年度調査
(回答者数 = 358)

▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 669)

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	PTA・青少年・子ども会の世話	町会や自治会の世話	団体活動・サークル活動	女性団体活動・女性サークル活動	消費者運動	福祉に関する活動	学習講座・学習	社会や政治、環境をよくする活動	国際交流・国際協力活動	その他	どれもない	無回答
全体	358	5.9	11.2	11.2	4.5	2.8	9.8	11.2	10.1	6.4	1.4	20.7	36.0
女性	201	6.0	9.0	11.9	7.0	3.0	8.5	14.4	8.5	8.0	0.5	22.4	37.8
男性	144	5.6	15.3	10.4	1.4	2.1	12.5	6.9	13.2	4.9	2.8	18.1	32.6

【年齢別】

年齢別にみると、30歳代で「どれもない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	PTA・青少年・子ども会の世話	町会や自治会の世話	団体活動・サークル活動	女性団体活動・女性サークル活動	消費者運動	福祉に関する活動	学習講座・学習	社会や政治、環境をよくする活動	国際交流・国際協力活動	その他	どれもない	無回答
全体	358	5.9	11.2	11.2	4.5	2.8	9.8	11.2	10.1	6.4	1.4	20.7	36.0
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	18.2	18.2	31.8	18.2	18.2	18.2	27.3	22.7	18.2	—	31.8	27.3
30歳代	21	9.5	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	14.3	9.5	4.8	—	52.4	14.3
40歳代	32	12.5	6.3	12.5	3.1	3.1	12.5	21.9	9.4	18.8	3.1	25.0	25.0
50歳代	71	5.6	11.3	4.2	4.2	2.8	8.5	8.5	11.3	7.0	2.8	21.1	33.8
60歳代	70	2.9	15.7	11.4	2.9	1.4	8.6	14.3	11.4	2.9	2.9	25.7	24.3
70歳以上	133	3.0	9.8	12.8	3.8	0.8	10.5	6.0	7.5	3.8	—	9.8	48.9

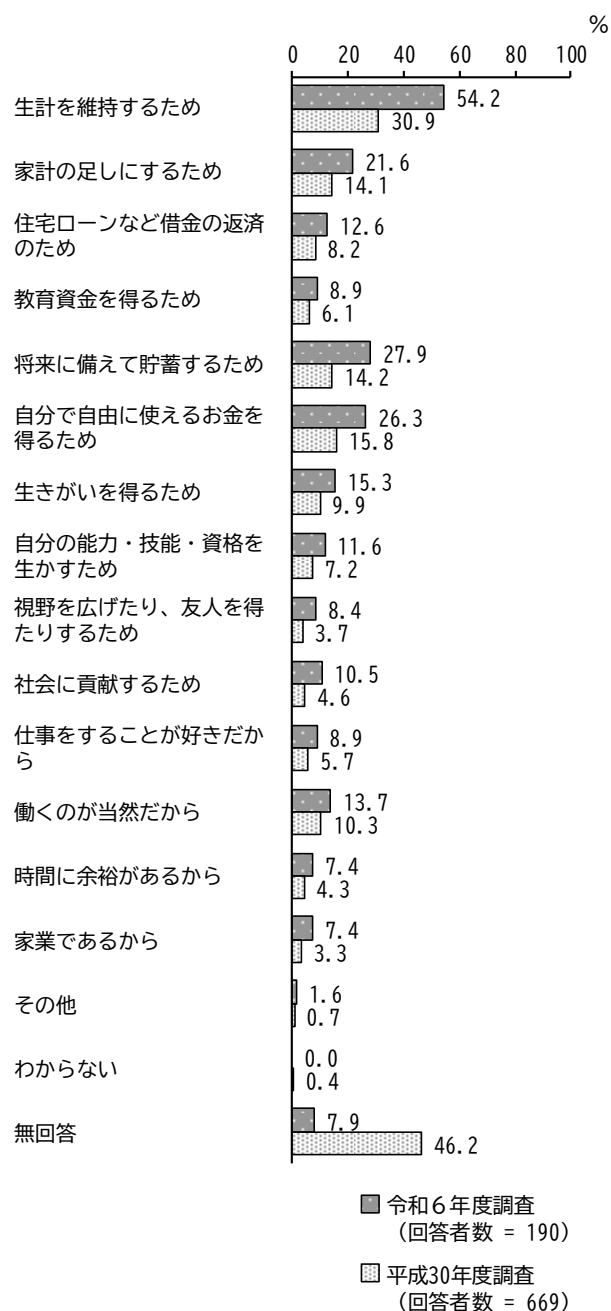
6 就労について

現在働いている人にお聞きします。

問 17 働いている理由を教えてください。(〇は3つまで)

「生計を維持するため」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「将来に備えて貯蓄するため」の割合が 27.9%、「自分で自由に使えるお金を得るため」の割合が 26.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「生計を維持するため」「家計の足しにするため」「将来に備えて貯蓄するため」「自分で自由に使えるお金を得るため」「生きがいを得るため」「社会に貢献するため」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「生計を維持するため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	生計を維持するため	家計の足しにするため	住宅ローンなど借金の返済のため	教育資金を得るため	将来に備えて貯蓄するため	自分で自由に使えるお金を得るため	生きがいを得るため	自分の能力・技能・資格を生かすため	視野を広げたり、友人を得たりするため	社会に貢献するため	仕事をするのが好きだから	働くのが当然だから	時間に余裕があるから	家業であるから	その他	わからない	無回答
全体	190	54.2	21.6	12.6	8.9	27.9	26.3	15.3	11.6	8.4	10.5	8.9	13.7	7.4	7.4	1.6	—	7.9
女性	97	40.2	27.8	13.4	10.3	32.0	34.0	12.4	14.4	12.4	7.2	11.3	9.3	10.3	8.2	2.1	—	7.2
男性	89	68.5	15.7	12.4	7.9	24.7	19.1	19.1	9.0	4.5	14.6	6.7	18.0	4.5	6.7	1.1	—	9.0

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「自分で自由に使えるお金を得るため」の割合が高くなっています。

単位：％

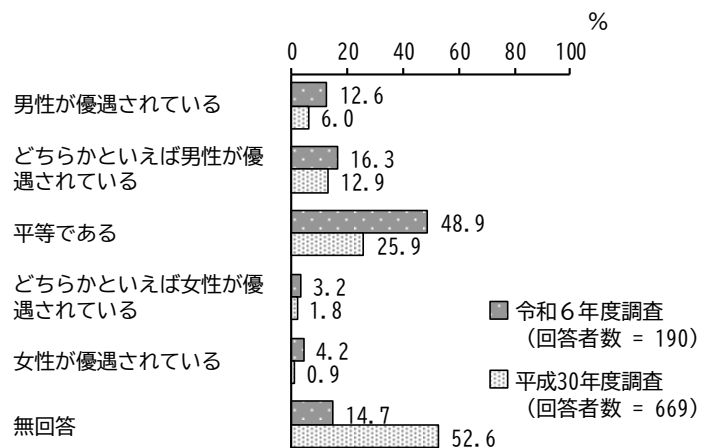
区分	回答者数（件）	生計を維持するため	家計の足しにするため	住宅ローンなど借金の返済のため	教育資金を得るため	将来に備えて貯蓄するため	自分で自由に使えるお金を得るため	生きがいを得るため	自分の能力・技能・資格を生かすため	視野を広げたり、友人を得たりするため	社会に貢献するため	仕事をするのが好きだから	働くのが当然だから	時間に余裕があるから	家業であるから	その他	わからない	無回答
全体	190	54.2	21.6	12.6	8.9	27.9	26.3	15.3	11.6	8.4	10.5	8.9	13.7	7.4	7.4	1.6	—	7.9
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	61.5	7.7	15.4	30.8	30.8	53.8	—	15.4	—	7.7	—	30.8	—	—	7.7	—	7.7
30歳代	18	55.6	38.9	11.1	—	33.3	22.2	—	11.1	5.6	—	5.6	5.6	5.6	—	5.6	—	11.1
40歳代	26	57.7	15.4	11.5	34.6	19.2	23.1	19.2	19.2	3.8	15.4	15.4	11.5	3.8	3.8	—	—	—
50歳代	56	57.1	17.9	12.5	7.1	44.6	32.1	16.1	8.9	10.7	16.1	5.4	16.1	5.4	3.6	1.8	—	5.4
60歳代	44	56.8	36.4	18.2	—	20.5	29.5	20.5	11.4	9.1	11.4	13.6	11.4	15.9	4.5	—	—	—
70歳以上	33	39.4	9.1	6.1	—	12.1	6.1	18.2	9.1	12.1	3.0	9.1	12.1	6.1	27.3	—	—	27.3

問 18 あなたの職場で男女の格差があると思うのは何ですか。(それぞれ○は1つ)

ア 募集・採用の仕方

「平等である」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 16.3%、「男性が優遇されている」の割合が 12.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	12.6	16.3	48.9	3.2	4.2	14.7
女性	97	9.3	13.4	49.5	4.1	7.2	16.5
男性	89	15.7	19.1	49.4	2.2	—	13.5

【年齢別】

年齢別にみると、30 歳代で「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

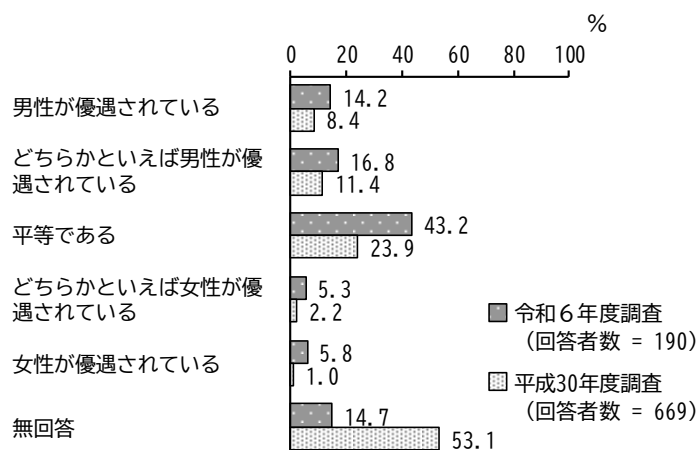
単位：％

区分	回答者数(件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	12.6	16.3	48.9	3.2	4.2	14.7
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	15.4	7.7	61.5	7.7	7.7	—
30歳代	18	16.7	33.3	38.9	—	11.1	—
40歳代	26	23.1	7.7	57.7	7.7	3.8	—
50歳代	56	3.6	21.4	57.1	5.4	5.4	7.1
60歳代	44	13.6	13.6	52.3	—	2.3	18.2
70歳以上	33	15.2	12.1	24.2	—	—	48.5

イ 採用数

「平等である」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 16.8%、「男性が優遇されている」の割合が 14.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	14.2	16.8	43.2	5.3	5.8	14.7
女性	97	9.3	12.4	43.3	7.2	10.3	17.5
男性	89	19.1	22.5	42.7	2.2	1.1	12.4

【年齢別】

年齢別にみると、40 歳代で「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

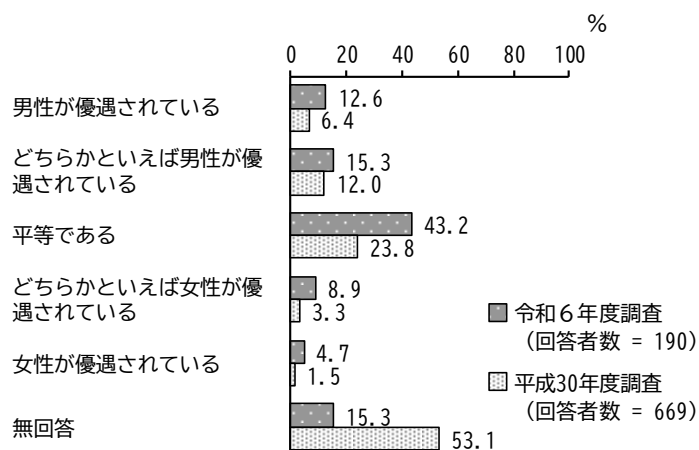
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	14.2	16.8	43.2	5.3	5.8	14.7
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	7.7	23.1	53.8	—	15.4	—
30歳代	18	16.7	22.2	33.3	16.7	11.1	—
40歳代	26	30.8	7.7	53.8	7.7	—	—
50歳代	56	7.1	14.3	55.4	5.4	10.7	7.1
60歳代	44	9.1	25.0	45.5	2.3	2.3	15.9
70歳以上	33	21.2	12.1	12.1	3.0	—	51.5

ウ 配置される職場

「平等である」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 15.3%、「男性が優遇されている」の割合が 12.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」「平等である」「どちらかといえば女性が優遇されている」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「平等である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	12.6	15.3	43.2	8.9	4.7	15.3
女性	97	9.3	11.3	48.5	7.2	7.2	16.5
男性	89	15.7	19.1	38.2	10.1	2.2	14.6

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

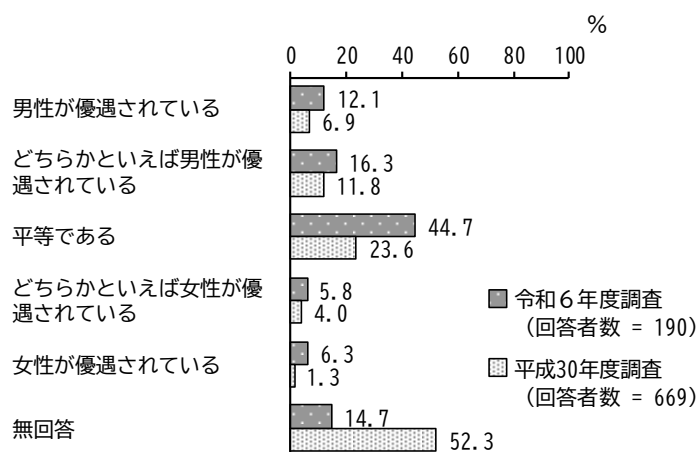
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	12.6	15.3	43.2	8.9	4.7	15.3
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	15.4	—	61.5	15.4	7.7	—
30歳代	18	22.2	22.2	27.8	11.1	16.7	—
40歳代	26	19.2	15.4	57.7	7.7	—	—
50歳代	56	5.4	12.5	55.4	10.7	8.9	7.1
60歳代	44	11.4	15.9	43.2	6.8	—	22.7
70歳以上	33	15.2	21.2	12.1	6.1	—	45.5

エ 仕事の内容

「平等である」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 16.3%、「男性が優遇されている」の割合が 12.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「平等である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	12.1	16.3	44.7	5.8	6.3	14.7
女性	97	7.2	12.4	50.5	5.2	8.2	16.5
男性	89	16.9	20.2	39.3	6.7	3.4	13.5

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

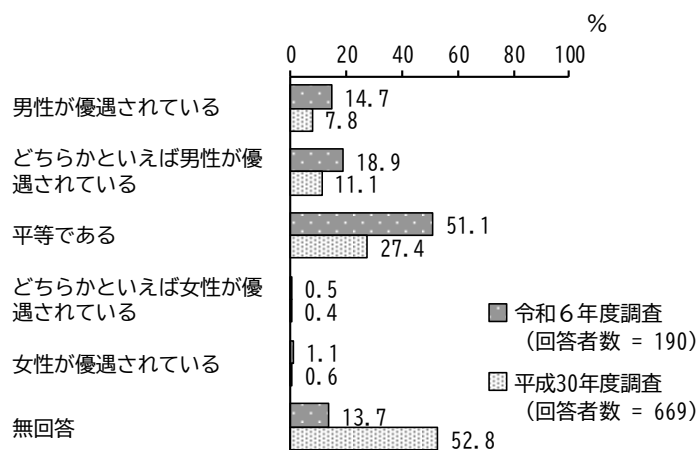
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	12.1	16.3	44.7	5.8	6.3	14.7
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	15.4	7.7	69.2	7.7	—	—
30歳代	18	16.7	16.7	38.9	5.6	22.2	—
40歳代	26	15.4	23.1	53.8	3.8	3.8	—
50歳代	56	5.4	17.9	55.4	5.4	8.9	7.1
60歳代	44	11.4	13.6	45.5	6.8	4.5	18.2
70歳以上	33	18.2	15.2	12.1	6.1	—	48.5

オ 賃金

「平等である」の割合が51.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が18.9%、「男性が優遇されている」の割合が14.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	14.7	18.9	51.1	0.5	1.1	13.7
女性	97	14.4	17.5	52.6	—	2.1	13.4
男性	89	14.6	20.2	50.6	—	—	14.6

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

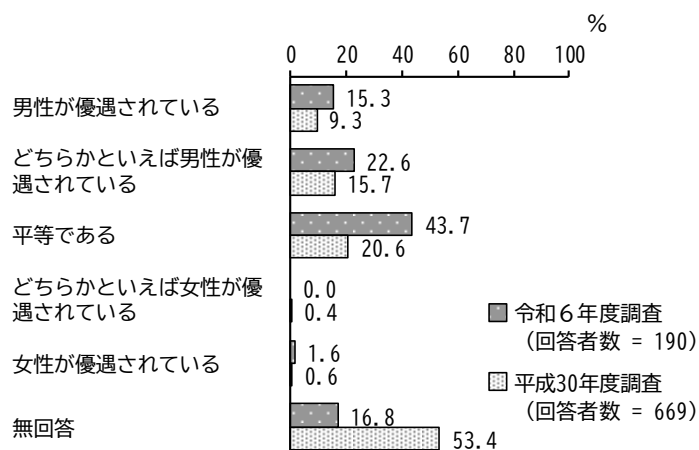
単位：％

区分	回答者数(件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	14.7	18.9	51.1	0.5	1.1	13.7
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	—	—	100.0	—	—	—
30歳代	18	16.7	33.3	44.4	—	5.6	—
40歳代	26	26.9	23.1	46.2	3.8	—	—
50歳代	56	7.1	14.3	67.9	—	1.8	8.9
60歳代	44	20.5	20.5	43.2	—	—	15.9
70歳以上	33	15.2	21.2	21.2	—	—	42.4

カ 昇進・昇給

「平等である」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 22.6%、「男性が優遇されている」の割合が 15.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	15.3	22.6	43.7	—	1.6	16.8
女性	97	16.5	16.5	47.4	—	2.1	17.5
男性	89	13.5	29.2	40.4	—	—	16.9

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

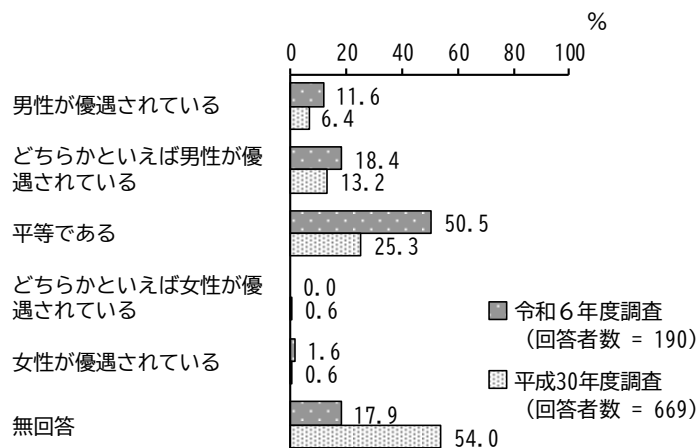
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	15.3	22.6	43.7	—	1.6	16.8
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	—	7.7	92.3	—	—	—
30歳代	18	33.3	27.8	33.3	—	5.6	—
40歳代	26	26.9	26.9	42.3	—	3.8	—
50歳代	56	7.1	25.0	55.4	—	1.8	10.7
60歳代	44	13.6	25.0	40.9	—	—	20.5
70歳以上	33	18.2	15.2	15.2	—	—	51.5

キ 能力評価（業績評価・人事考課等）

「平等である」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 18.4%、「男性が優遇されている」の割合が 11.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	11.6	18.4	50.5	—	1.6	17.9
女性	97	11.3	15.5	51.5	—	2.1	19.6
男性	89	11.2	21.3	50.6	—	—	16.9

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

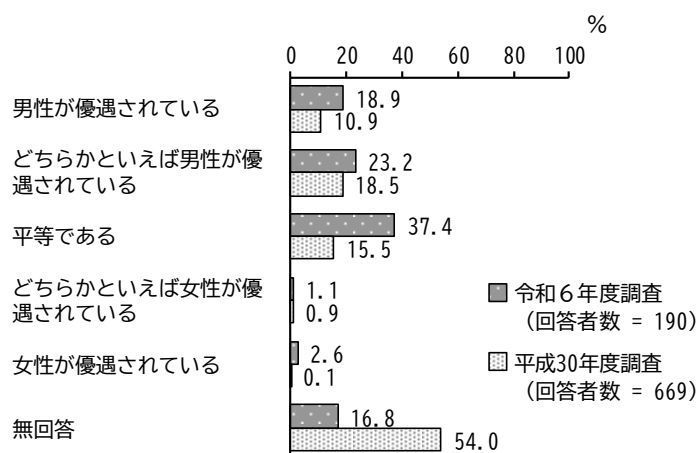
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	11.6	18.4	50.5	—	1.6	17.9
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	—	7.7	92.3	—	—	—
30歳代	18	22.2	33.3	38.9	—	5.6	—
40歳代	26	15.4	26.9	53.8	—	3.8	—
50歳代	56	7.1	16.1	64.3	—	1.8	10.7
60歳代	44	13.6	18.2	43.2	—	—	25.0
70歳以上	33	12.1	12.1	24.2	—	—	51.5

ク 管理職への登用

「平等である」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 23.2%、「男性が優遇されている」の割合が 18.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	18.9	23.2	37.4	1.1	2.6	16.8
女性	97	19.6	18.6	41.2	1.0	2.1	17.5
男性	89	18.0	28.1	33.7	1.1	2.2	16.9

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

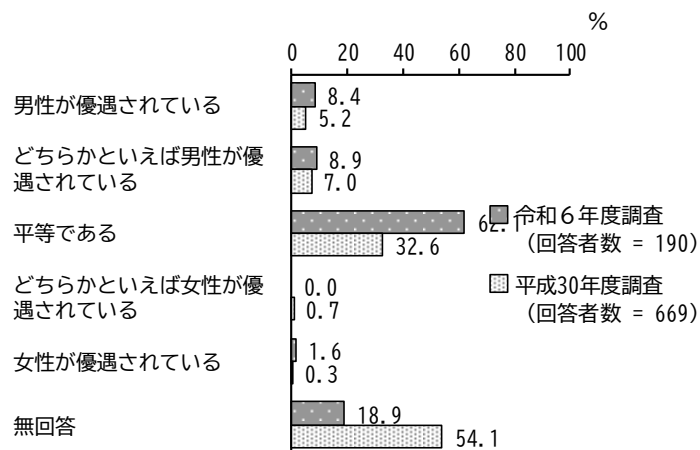
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	18.9	23.2	37.4	1.1	2.6	16.8
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	—	15.4	84.6	—	—	—
30歳代	18	27.8	33.3	22.2	5.6	11.1	—
40歳代	26	26.9	30.8	38.5	—	3.8	—
50歳代	56	17.9	25.0	46.4	—	1.8	8.9
60歳代	44	22.7	20.5	31.8	—	2.3	22.7
70歳以上	33	12.1	15.2	18.2	3.0	—	51.5

ケ 研修の頻度や内容

「平等である」の割合が62.1%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	8.4	8.9	62.1	—	1.6	18.9
女性	97	7.2	6.2	64.9	—	2.1	19.6
男性	89	9.0	11.2	60.7	—	—	19.1

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

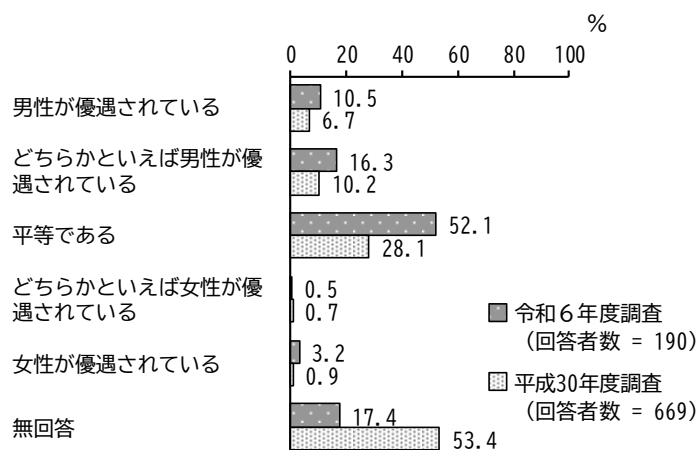
単位：％

区分	回答者数(件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	8.4	8.9	62.1	—	1.6	18.9
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	—	7.7	92.3	—	—	—
30歳代	18	22.2	22.2	50.0	—	5.6	—
40歳代	26	3.8	11.5	80.8	—	3.8	—
50歳代	56	5.4	3.6	76.8	—	1.8	12.5
60歳代	44	11.4	6.8	56.8	—	—	25.0
70歳以上	33	9.1	12.1	24.2	—	—	54.5

コ 定年まで続けやすい雰囲気

「平等である」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 16.3%、「男性が優遇されている」の割合が 10.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「どちらかといえば男性が優遇されている」「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	10.5	16.3	52.1	0.5	3.2	17.4
女性	97	8.2	11.3	55.7	—	5.2	19.6
男性	89	12.4	21.3	49.4	1.1	—	15.7

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

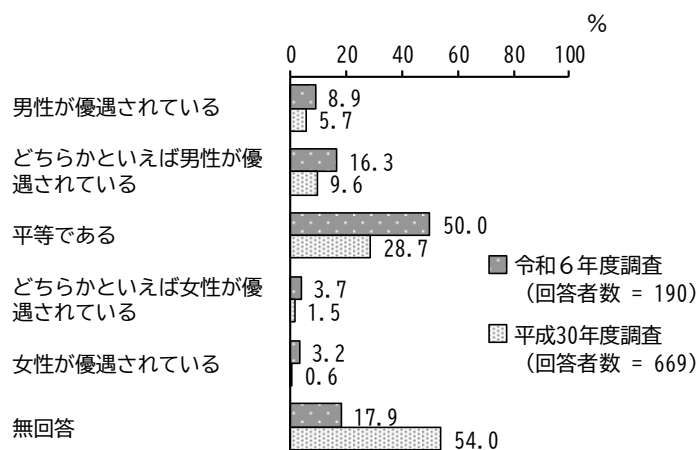
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	10.5	16.3	52.1	0.5	3.2	17.4
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	—	—	100.0	—	—	—
30歳代	18	11.1	33.3	44.4	—	5.6	5.6
40歳代	26	7.7	15.4	69.2	3.8	3.8	—
50歳代	56	8.9	16.1	60.7	—	5.4	8.9
60歳代	44	18.2	15.9	43.2	—	2.3	20.5
70歳以上	33	9.1	15.2	21.2	—	—	54.5

サ 再雇用

「平等である」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 16.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「どちらかといえば男性が優遇されている」「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	8.9	16.3	50.0	3.7	3.2	17.9
女性	97	6.2	14.4	51.5	3.1	5.2	19.6
男性	89	11.2	18.0	49.4	4.5	—	16.9

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「平等である」の割合が高くなっています。

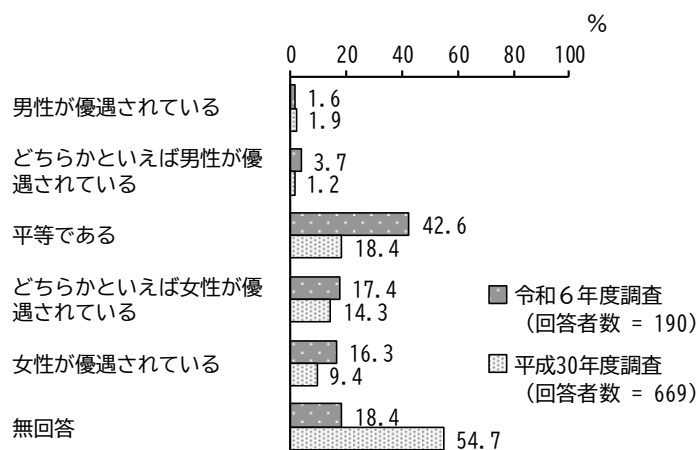
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	8.9	16.3	50.0	3.7	3.2	17.9
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	7.7	—	92.3	—	—	—
30歳代	18	—	44.4	44.4	—	5.6	5.6
40歳代	26	7.7	30.8	53.8	3.8	3.8	—
50歳代	56	7.1	10.7	62.5	5.4	5.4	8.9
60歳代	44	18.2	9.1	43.2	4.5	2.3	22.7
70歳以上	33	6.1	15.2	21.2	3.0	—	54.5

シ 育児・介護休暇など休暇の取得

「平等である」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば女性が優遇されている」の割合が 17.4%、「女性が優遇されている」の割合が 16.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「平等である」「女性が優遇されている」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「どちらかといえば女性が優遇されている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	1.6	3.7	42.6	17.4	16.3	18.4
女性	97	2.1	4.1	45.4	12.4	15.5	20.6
男性	89	1.1	2.2	41.6	22.5	15.7	16.9

【年齢別】

年齢別にみると、30 歳代で「女性が優遇されている」の割合が高くなっています。

単位：％

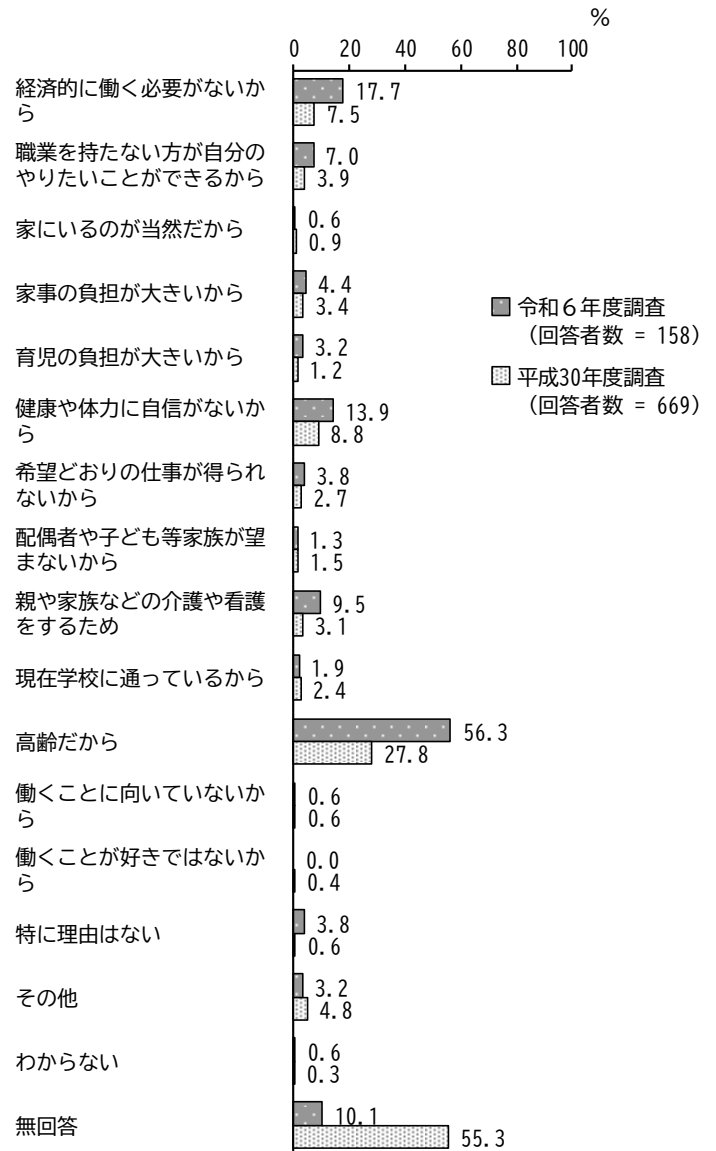
区分	回答者数 (件)	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	無回答
全体	190	1.6	3.7	42.6	17.4	16.3	18.4
10歳代	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	13	—	—	61.5	30.8	7.7	—
30歳代	18	—	16.7	27.8	5.6	44.4	5.6
40歳代	26	—	—	53.8	15.4	30.8	—
50歳代	56	1.8	1.8	53.6	21.4	8.9	12.5
60歳代	44	4.5	4.5	38.6	13.6	18.2	20.5
70歳以上	33	—	3.0	21.2	18.2	3.0	54.5

現在働いていない人にお聞きします。

問 19 働いていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「高齢だから」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「経済的に働く必要がないから」の割合が 17.7%、「健康や体力に自信がないから」の割合が 13.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「経済的に働く必要がないから」「健康や体力に自信がないから」「親や家族などの介護や看護をするため」「高齢だから」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「高齢だから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	経済的に働く必要がないから	職業を持たない方が自分のやりたいことができるから	家にいるのが当然だから	家事的負担が大きいから	育児の負担が大きいから	健康や体力に自信がないから	希望どおりの仕事を得られないから	配偶者や子ども等家族が望まないから	親や家族などの介護や看護をするため	現在学校に通っているから	高齢だから	働くことに向いていないから	働くことが好きではないから	特に理由はない	その他	わからない	無回答
全体	158	17.7	7.0	0.6	4.4	3.2	13.9	3.8	1.3	9.5	1.9	56.3	0.6	－	3.8	3.2	0.6	10.1
女性	103	21.4	5.8	1.0	5.8	4.9	16.5	3.9	1.9	13.6	2.9	48.5	－	－	4.9	3.9	1.0	7.8
男性	54	11.1	9.3	－	1.9	－	9.3	3.7	－	1.9	－	72.2	1.9	－	1.9	－	－	14.8

【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上で「高齢だから」の割合が高くなっています。

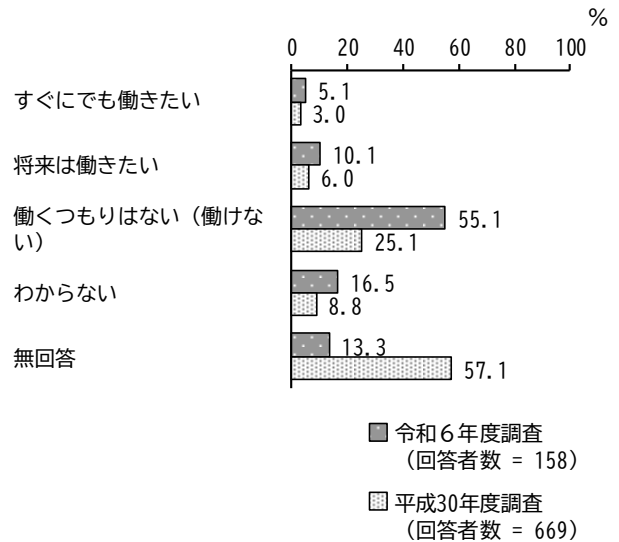
単位：％

区分	回答者数（件）	経済的に働く必要がないから	職業を持たない方が自分のやりたいことができるから	家にいるのが当然だから	家事的負担が大きいから	育児の負担が大きいから	健康や体力に自信がないから	希望どおりの仕事を得られないから	配偶者や子ども等家族が望まないから	親や家族などの介護や看護をするため	現在学校に通っているから	高齢だから	働くことに向いていないから	働くことが好きではないから	特に理由はない	その他	わからない	無回答
全体	158	17.7	7.0	0.6	4.4	3.2	13.9	3.8	1.3	9.5	1.9	56.3	0.6	－	3.8	3.2	0.6	10.1
10歳代	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－
20歳代	9	－	－	－	－	11.1	－	－	－	－	22.2	－	11.1	－	－	11.1	－	44.4
30歳代	3	33.3	－	－	33.3	66.7	－	33.3	－	－	－	－	－	－	－	－	33.3	－
40歳代	5	－	－	－	20.0	20.0	40.0	－	20.0	－	－	－	－	－	－	－	－	20.0
50歳代	15	33.3	13.3	－	6.7	6.7	26.7	6.7	－	46.7	－	－	－	－	13.3	6.7	－	6.7
60歳代	26	34.6	3.8	－	3.8	－	23.1	11.5	－	15.4	－	34.6	－	－	11.5	11.5	－	3.8
70歳以上	99	13.1	8.1	1.0	3.0	－	10.1	1.0	1.0	4.0	－	80.8	－	－	1.0	－	－	9.1

問 20 これから仕事に就きたいとお考えですか。(○は1つ)

「働くつもりはない（働けない）」の割合が55.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が16.5%、「将来は働きたい」の割合が10.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「働くつもりはない（働けない）」「わからない」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	すぐにでも働きた い	将来は働きた い	働くつもりはな い（働けない）	わからない	無回 答
全体	158	5.1	10.1	55.1	16.5	13.3
女性	103	3.9	14.6	56.3	15.5	9.7
男性	54	7.4	1.9	53.7	16.7	20.4

【年齢別】

年齢別にみると、50歳代で「わからない」の割合が高くなっています。

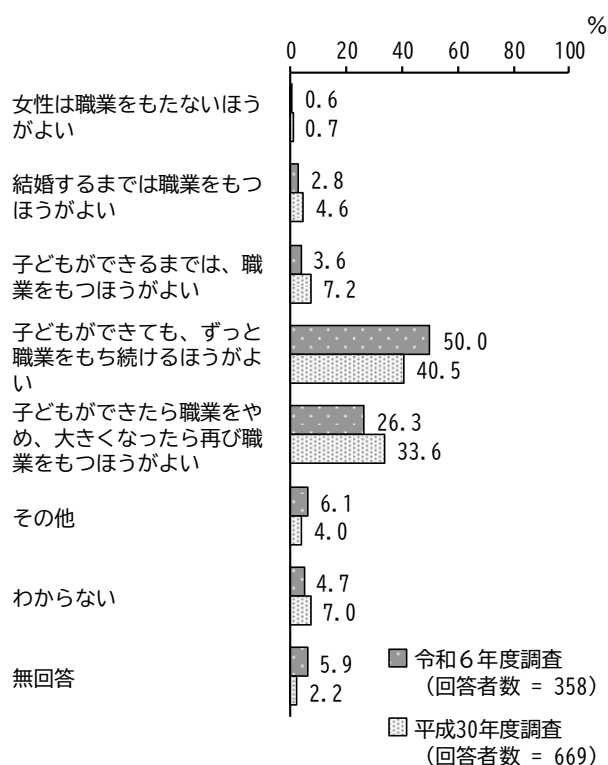
単位：％

区分	回答者数 (件)	すぐにでも働きた い	将来は働きた い	働くつもりはな い（働けない）	わからない	無回 答
全体	158	5.1	10.1	55.1	16.5	13.3
10歳代	1	—	100.0	—	—	—
20歳代	9	—	44.4	—	11.1	44.4
30歳代	3	—	100.0	—	—	—
40歳代	5	—	40.0	20.0	20.0	20.0
50歳代	15	6.7	20.0	26.7	46.7	—
60歳代	26	19.2	7.7	46.2	19.2	7.7
70歳以上	99	2.0	1.0	70.7	12.1	14.1

問 21 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

「子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい」の割合が50.0%と最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」の割合が26.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい」の割合が増加しています。一方、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	女性職業をもたないほうがよい	結婚するまでは職業をもつほうがよい	子どもができるまでは、職業をもつほうがよい	子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい	子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい	その他	わからない	無回答
全体	358	0.6	2.8	3.6	50.0	26.3	6.1	4.7	5.9
女性	201	0.5	3.5	4.5	50.7	26.9	6.5	4.0	3.5
男性	144	0.7	2.1	2.8	50.0	26.4	4.9	4.9	8.3

【年齢別】

年齢別にみると、40歳代で「子どもができて、ずっと職業をもち続けるほうがよい」の割合が高くなっています。

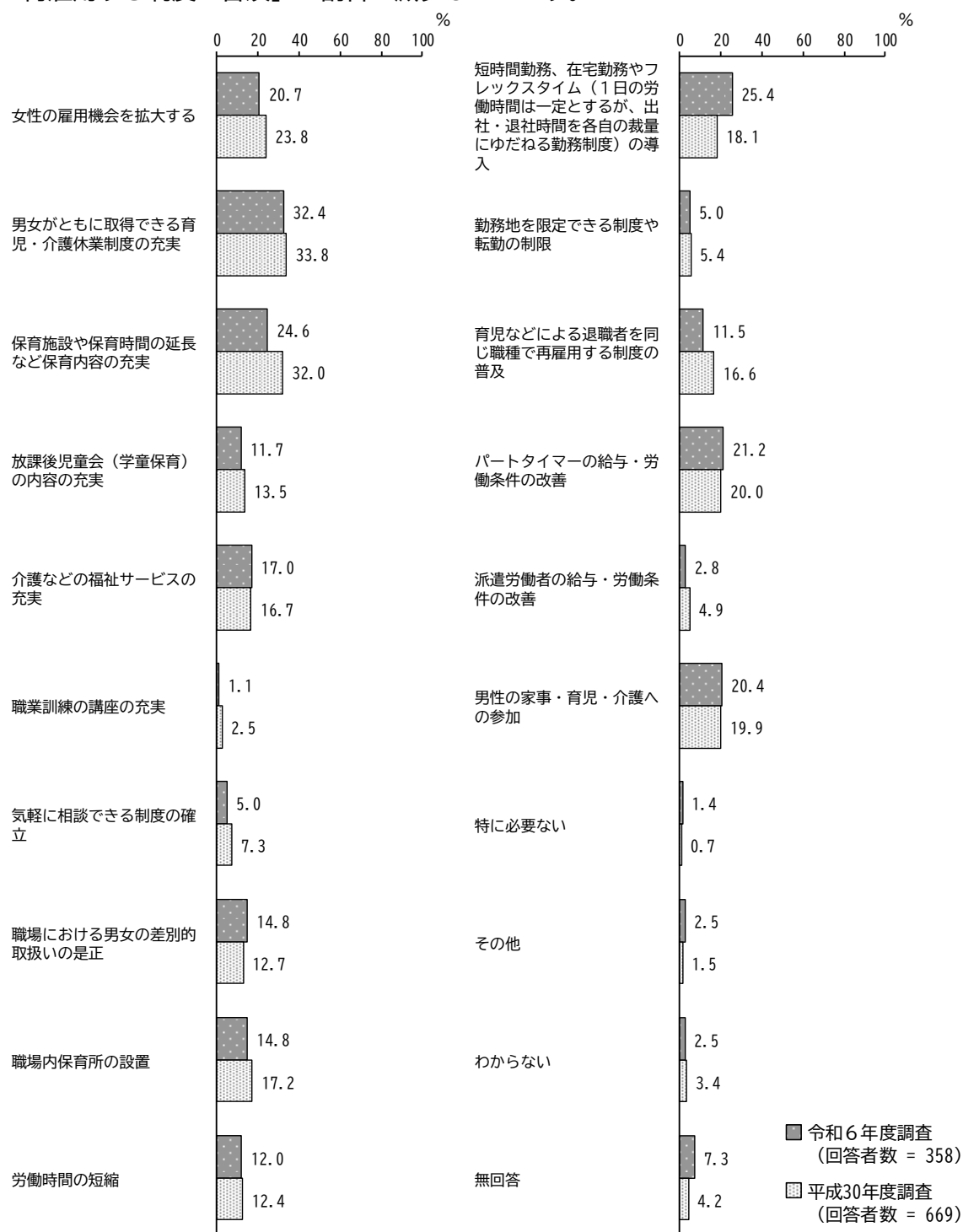
単位：％

区分	回答者数 (件)	女性は職業をもたない ほうがよい	結婚するまでは職業をも つほうがよい	子どもができるまでは、職 業をもつほうがよい	子どもができて、ずっと 職業をもち続けるほうがよ い	子どもができて、仕事をや め、大きくなったら再び職 業をもつほうがよい	その他	わからない	無回答
全体	358	0.6	2.8	3.6	50.0	26.3	6.1	4.7	5.9
10歳代	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	—	4.5	4.5	54.5	22.7	—	—	13.6
30歳代	21	4.8	—	—	33.3	28.6	14.3	14.3	4.8
40歳代	32	—	—	3.1	59.4	15.6	3.1	12.5	6.3
50歳代	71	—	—	2.8	56.3	23.9	11.3	2.8	2.8
60歳代	70	1.4	1.4	5.7	55.7	22.9	7.1	2.9	2.9
70歳以上	133	—	6.0	3.8	43.6	32.3	3.8	3.8	6.8

問 22 女性が活躍するために、今後どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

「男女がともに取得できる育児・介護休業制度の充実」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「短時間勤務、在宅勤務やフレックスタイム（1日の労働時間は一定とするが、出社・退社時間を各自の裁量にゆだねる勤務制度）の導入」の割合が 25.4%、「保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実」の割合が 24.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「短時間勤務、在宅勤務やフレックスタイム（1日の労働時間は一定とするが、出社・退社時間を各自の裁量にゆだねる勤務制度）の導入」の割合が増加しています。一方、「保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実」「育児などによる退職者を同じ職種で再雇用する制度の普及」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「女性の雇用機会を拡大する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	女性の雇用機会を拡大する	男女がともに取得できる育児・介護休業制度の充実	保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実	放課後児童会（学童保育）の内容の充実	介護などの福祉サービスの充実	職業訓練の講座の充実	気軽に相談できる制度の確立	職場における男女の差別的取扱いの是正	職場内保育所の設置	労働時間の短縮
全体	358	20.7	32.4	24.6	11.7	17.0	1.1	5.0	14.8	14.8	12.0
女性	201	12.4	34.8	22.4	14.9	19.4	1.5	4.0	12.9	12.9	12.9
男性	144	32.6	31.3	27.8	6.3	13.9	0.7	6.3	16.7	16.0	11.1

区分	短時間勤務、在宅勤務やフレックスタイム（1日の労働時間は一定とするが、出社・退社時間を各目の裁量にゆだねる勤務制度）の導入	勤務地を限定できる制度や転勤の制限	育児などによる退職者を同じ職種で再雇用する制度の普及	パートタイマーの給与・労働条件の改善	派遣労働者の給与・労働条件の改善	男性の家事・育児・介護への参加	特に必要ない	その他	わからない	無回答
全体	25.4	5.0	11.5	21.2	2.8	20.4	1.4	2.5	2.5	7.3
女性	27.9	3.5	13.4	22.4	3.5	21.9	2.0	1.5	2.0	7.0
男性	22.2	6.9	9.7	20.1	2.1	18.8	0.7	2.8	2.8	7.6

【年齢別】

年齢別にみると、30歳代で「パートタイマーの給与・労働条件の改善」の割合が高くなっています。

単位：％

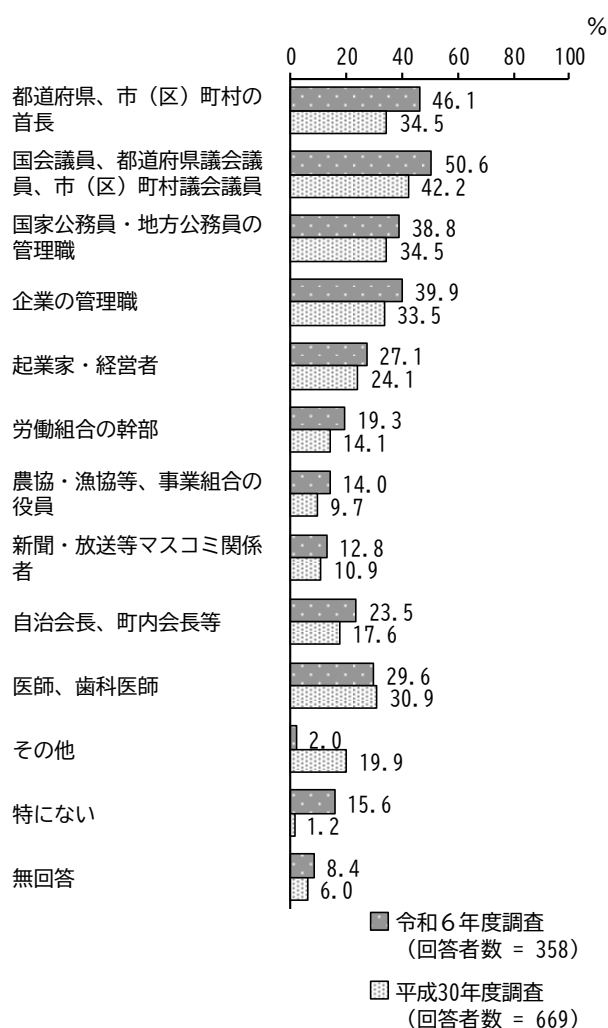
区分	回答者数（件）	女性の雇用機会を拡大する	男女がともに取得できる育児・介護休業制度の充実	保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実	放課後児童会（学童保育）の内容の充実	介護などの福祉サービスの充実	職業訓練の講座の充実	気軽に相談できる制度の確立	職場における男女の差別的取扱いの是正	職場内保育所の設置	労働時間の短縮
全体	358	20.7	32.4	24.6	11.7	17.0	1.1	5.0	14.8	14.8	12.0
10歳代	1	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—
20歳代	22	13.6	27.3	22.7	—	4.5	—	9.1	13.6	27.3	27.3
30歳代	21	9.5	23.8	19.0	19.0	4.8	—	4.8	—	14.3	14.3
40歳代	32	18.8	15.6	31.3	15.6	18.8	—	3.1	15.6	12.5	12.5
50歳代	71	14.1	40.8	29.6	12.7	18.3	—	5.6	16.9	16.9	14.1
60歳代	70	22.9	31.4	34.3	15.7	14.3	1.4	2.9	15.7	12.9	12.9
70歳以上	133	25.6	36.1	17.3	9.0	22.6	2.3	4.5	14.3	12.8	7.5

区分	短時間勤務、在宅勤務やフレックスタイム（1日の労働時間は一定とするが、出社・退社時間を各自の裁量にゆだねる勤務制度）の導入	勤務地を限定できる制度や転勤の制限	育児などによる退職者を同じ職種で再雇用する制度の普及	パートタイマーの給与・労働条件の改善	派遣労働者の給与・労働条件の改善	男性の家事・育児・介護への参加	特に必要ない	その他	わからない	無回答
全体	25.4	5.0	11.5	21.2	2.8	20.4	1.4	2.5	2.5	7.3
10歳代	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	22.7	18.2	13.6	31.8	—	13.6	4.5	—	4.5	4.5
30歳代	33.3	4.8	4.8	38.1	—	23.8	—	9.5	—	19.0
40歳代	34.4	6.3	9.4	15.6	6.3	21.9	—	9.4	—	9.4
50歳代	29.6	2.8	9.9	19.7	2.8	29.6	—	2.8	1.4	4.2
60歳代	17.1	5.7	14.3	28.6	5.7	15.7	1.4	—	—	2.9
70歳以上	23.3	3.0	12.8	15.8	1.5	18.0	2.3	0.8	4.5	9.8

問 23 次にあげるような職業や役職において、今後女性が増える方がよいと思うのはどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

「国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「都道府県、市（区）町村の首長」の割合が 46.1%、「企業の管理職」の割合が 39.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「都道府県、市（区）町村の首長」「国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員」「企業の管理職」「労働組合の幹部」「自治会長、町内会長等」「特にない」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「自治会長、町内会長等」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	都道府県、市（区）町村の首長	国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員	国家公務員・地方公務員の管理職	企業の管理職	起業家・経営者	労働組合の幹部	農協・漁協等、事業組合の役員	新聞・放送等マスコミ関係者	自治会長、町内会長等	医師、歯科医師	その他	特にない	無回答
全体	358	46.1	50.6	38.8	39.9	27.1	19.3	14.0	12.8	23.5	29.6	2.0	15.6	8.4
女性	201	41.8	44.3	33.8	36.8	27.4	18.4	11.4	11.9	15.9	28.4	0.5	19.9	9.0
男性	144	52.1	59.0	44.4	44.4	27.1	20.1	17.4	13.2	33.3	29.9	3.5	9.7	8.3

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「農協・漁協等、事業組合の役員」の割合が高くなっています。

単位：％

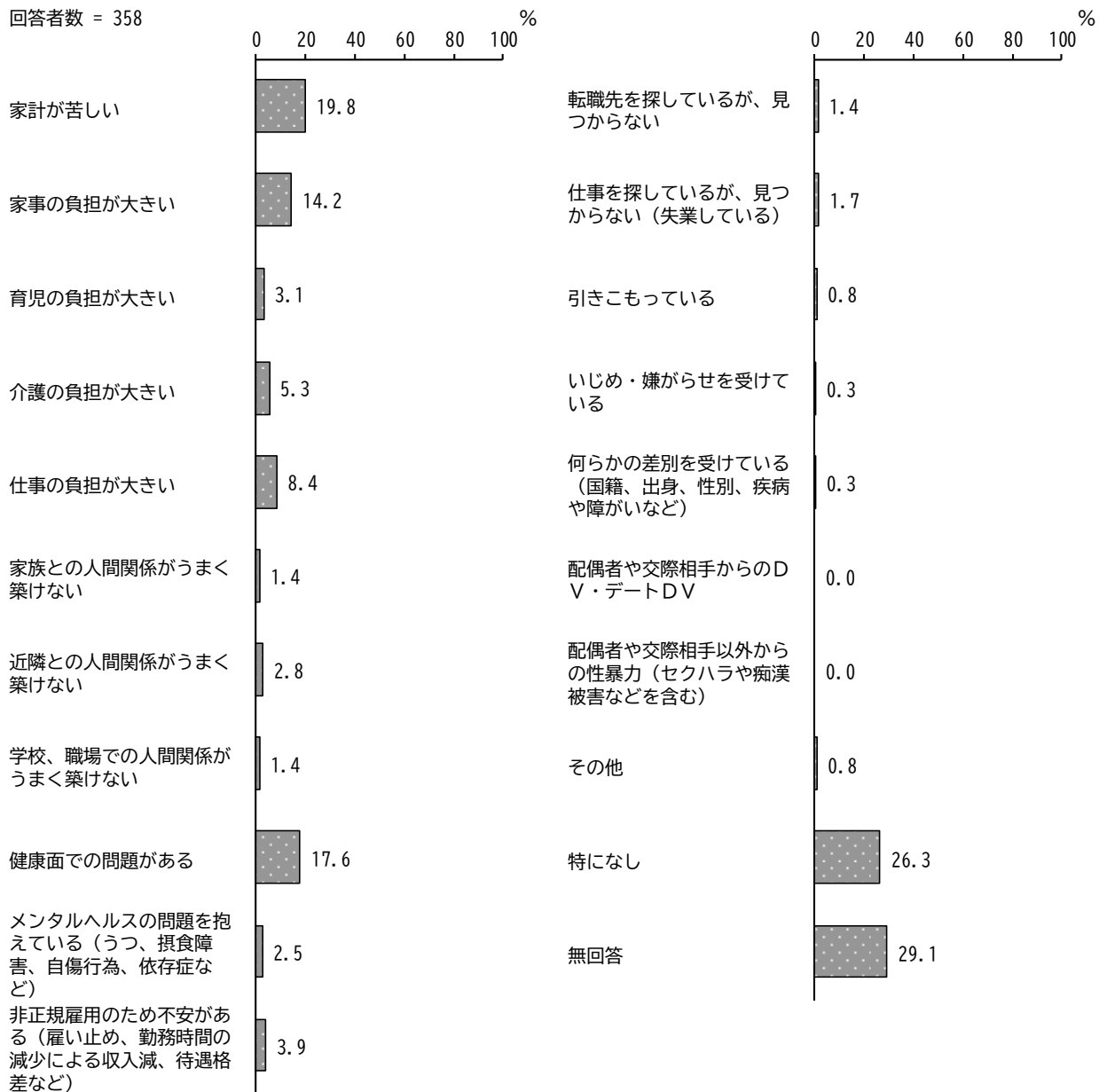
区分	回答者数 (件)	長 都道府県、市(区) 町村の首 長	国 会議員、都道府県議会議 員、市(区) 町村議会議員	国 家公務員・地方公務員の 管理職	企 業の管理職	起 業家・経営者	労 働組合の幹部	農 協・漁協等、事業組合の役 員	新 聞・放送等マスコミ関係 者	自 治会長、町内会長等	医 師、歯科医師	そ の他	特 にない	無 回 答
全体	358	46.1	50.6	38.8	39.9	27.1	19.3	14.0	12.8	23.5	29.6	2.0	15.6	8.4
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	40.9	45.5	27.3	36.4	31.8	22.7	31.8	9.1	18.2	40.9	4.5	22.7	4.5
30歳代	21	47.6	42.9	28.6	33.3	33.3	28.6	14.3	4.8	19.0	14.3	4.8	23.8	9.5
40歳代	32	46.9	50.0	43.8	53.1	40.6	25.0	21.9	15.6	34.4	40.6	6.3	9.4	—
50歳代	71	54.9	53.5	40.8	43.7	26.8	22.5	9.9	19.7	16.9	26.8	1.4	21.1	4.2
60歳代	70	50.0	50.0	41.4	42.9	30.0	20.0	15.7	15.7	28.6	31.4	—	15.7	10.0
70歳以上	133	40.6	51.1	37.6	35.3	21.1	14.3	10.5	8.3	23.3	27.1	1.5	10.5	12.8

7 困りごとや相談について

問 24 現在、日常生活をするうえで次のようなことで困っていますか。
(あなた自身、家族・近親者、近隣の方それぞれ〇はいくつでも)

あなた自身が困っている

「特になし」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「家計が苦しい」の割合が 19.8%、「健康面での問題がある」の割合が 17.6%となっています。



【性別】

性別にみると、女性で「家事の負担が大きい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家計が苦しい	家事の負担が大きい	育児の負担が大きい	介護の負担が大きい	仕事の負担が大きい	家族との人間関係がうまく築けない	近隣との人間関係がうまく築けない	学校、職場での人間関係がうまく築けない	健康面での問題がある	メンタルヘルスの問題を抱えている（うつ、摂食障害、自傷行為、依存症など）
全体	358	19.8	14.2	3.1	5.3	8.4	1.4	2.8	1.4	17.6	2.5
女性	201	18.9	19.4	3.5	6.5	7.5	0.5	3.5	0.5	16.9	2.5
男性	144	20.8	5.6	1.4	2.8	8.3	2.1	2.1	2.8	18.1	2.8

区分	非正規雇用のため不安がある（雇い止め、勤務時間の減少による収入減、待遇格差など）	転職先を探しているが、見つからない	仕事を探しているが、見つからない（失業している）	引きこもっている	いじめ・嫌がらせを受けている	何らかの差別を受けている（国籍、出身、性別、疾病や障がいなど）	配偶者や交際相手からのDV・デートDV	配偶者や交際相手以外からの性暴力（セクハラや痴漢被害などを含む）	その他	特になし	無回答
全体	3.9	1.4	1.7	0.8	0.3	0.3	－	－	0.8	26.3	29.1
女性	4.0	0.5	0.5	1.0	－	0.5	－	－	1.0	27.9	25.9
男性	2.8	2.8	2.8	0.7	0.7	－	－	－	0.7	25.7	33.3

【年齢別】

年齢別にみると、30歳代で「家計が苦しい」の割合が高くなっています。

単位：％

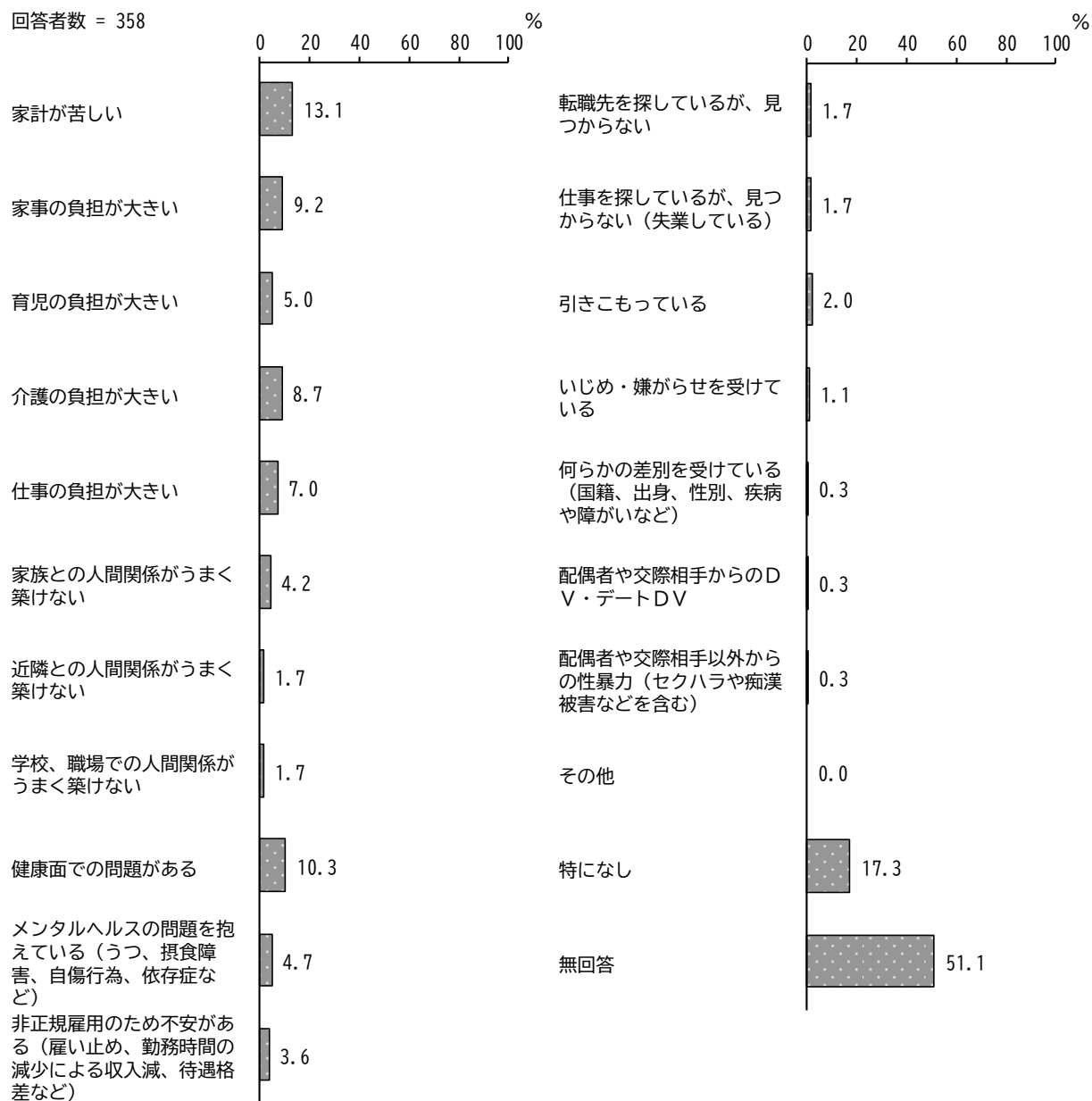
区分	回答者数(件)	家計が苦しい	家事の負担が大きい	育児の負担が大きい	介護の負担が大きい	仕事の負担が大きい	家族との人間関係がうまく築けない	近隣との人間関係がうまく築けない	学校、職場での人間関係がうまく築けない	健康面での問題がある	メンタルヘルスの問題を抱えている(うつ、摂食障害、自傷行為、依存症など)
全体	358	19.8	14.2	3.1	5.3	8.4	1.4	2.8	1.4	17.6	2.5
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	22	27.3	—	—	4.5	9.1	—	—	4.5	—	9.1
30歳代	21	47.6	28.6	14.3	4.8	19.0	4.8	4.8	9.5	19.0	14.3
40歳代	32	25.0	31.3	15.6	3.1	15.6	3.1	9.4	3.1	9.4	9.4
50歳代	71	12.7	9.9	—	8.5	11.3	—	1.4	—	5.6	—
60歳代	70	22.9	15.7	—	7.1	8.6	—	1.4	—	22.9	—
70歳以上	133	16.5	11.3	0.8	2.3	2.3	1.5	3.0	0.8	25.6	0.8

区分	非正規雇用のため不安がある(雇い止め、勤務時間の減少による収入減、待遇格差など)	転職先を探しているが、見つからない	仕事を探しているが、見つからない(失業している)	引きこもっている	いじめ・嫌がらせを受けている	何らかの差別を受けている(国籍、出身、性別、疾病や障がいなど)	配偶者や交際相手からのDV・デートDV	配偶者や交際相手以外からの性暴力(セクハラや痴漢被害などを含む)	その他	特になし	無回答
全体	3.9	1.4	1.7	0.8	0.3	0.3	—	—	0.8	26.3	29.1
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
20歳代	9.1	—	4.5	—	—	—	—	—	—	31.8	22.7
30歳代	19.0	—	4.8	—	—	—	—	—	—	23.8	—
40歳代	6.3	3.1	—	3.1	—	3.1	—	—	3.1	28.1	18.8
50歳代	1.4	1.4	—	1.4	—	—	—	—	1.4	36.6	32.4
60歳代	5.7	2.9	2.9	—	—	—	—	—	—	30.0	21.4
70歳以上	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	—	—	—	0.8	18.8	39.1

家族・近親者が困っている

「特になし」の割合が 17.3%と最も高く、次いで「家計が苦しい」の割合が 13.1%、「健康面での問題がある」の割合が 10.3%となっています。

回答者数 = 358



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	家計が苦しい	家事の負担が大きい	育児の負担が大きい	介護の負担が大きい	仕事の負担が大きい	家族との人間関係がうまく築けない	近隣との人間関係がうまく築けない	学校、職場での人間関係がうまく築けない	健康面での問題がある	メンタルヘルスの問題を抱えている（うつ、摂食障害、自傷行為、依存症など）
全体	358	13.1	9.2	5.0	8.7	7.0	4.2	1.7	1.7	10.3	4.7
女性	201	10.9	6.5	4.0	9.0	5.5	4.0	2.5	3.0	9.5	4.5
男性	144	16.7	12.5	6.3	8.3	9.0	4.2	0.7	－	11.8	5.6

区分	非正規雇用のため不安がある（雇い止め、勤務時間の減少による収入減、待遇格差など）	転職先を探しているが、見つからない	仕事を探しているが、見つからない（失業している）	引きこもっている	いじめ・嫌がらせを受けている	何らかの差別を受けている（国籍、出身、性別、疾病や障がいなど）	配偶者や交際相手からのDV・デートDV	配偶者や交際相手以外からの性暴力（セクハラや痴漢被害などを含む）	その他	特になし	無回答
全体	3.6	1.7	1.7	2.0	1.1	0.3	0.3	0.3	－	17.3	51.1
女性	3.0	1.5	1.0	2.5	2.0	0.5	－	－	－	16.4	54.2
男性	4.2	2.1	2.8	1.4	－	－	0.7	0.7	－	18.8	46.5

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「家計が苦しい」の割合が高くなっています。

単位：％

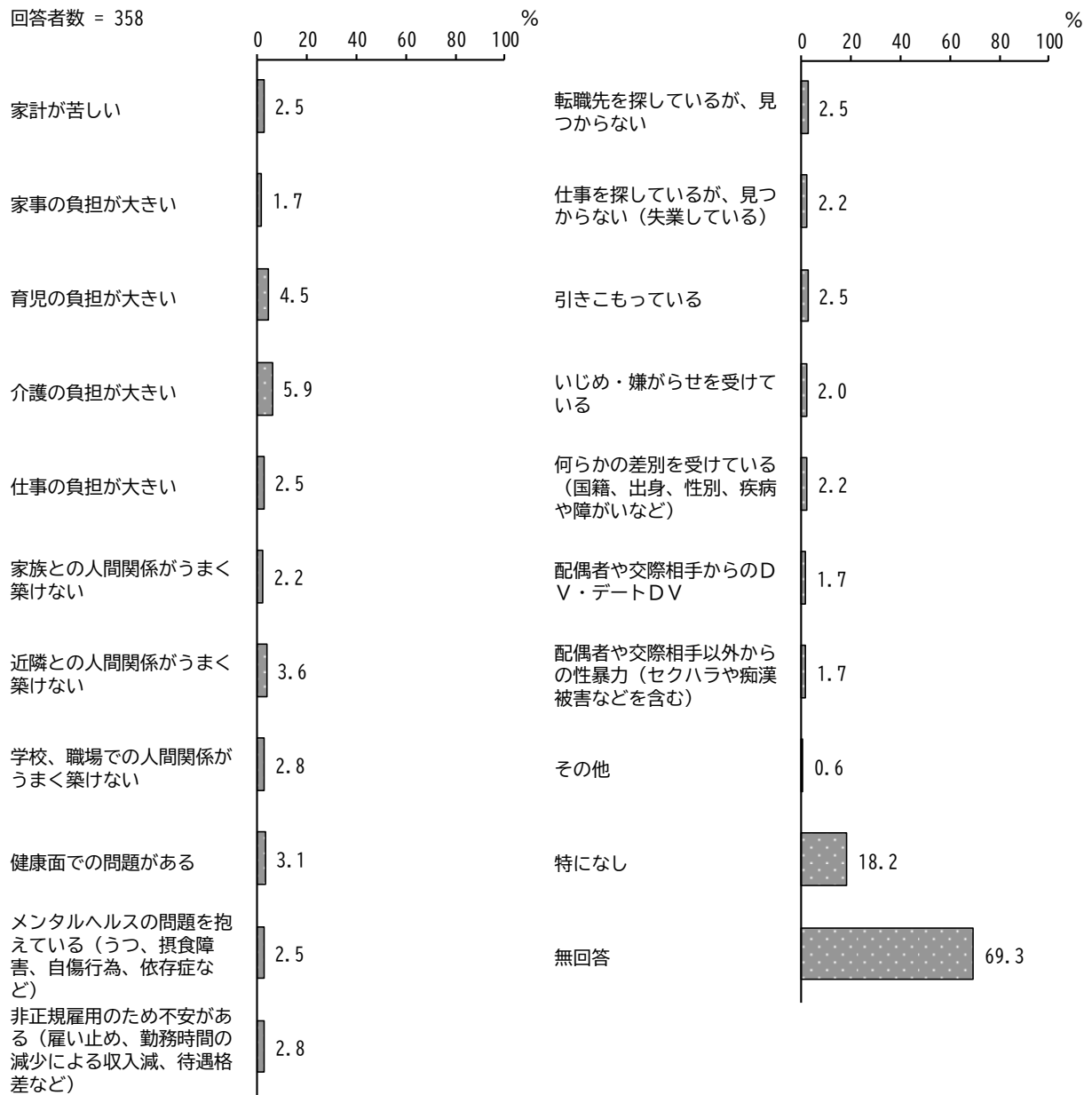
区分	回答者数（件）	家計が苦しい	家事の負担が大きい	育児の負担が大きい	介護の負担が大きい	仕事の負担が大きい	家族との人間関係がうまく築けない	近隣との人間関係がうまく築けない	学校、職場での人間関係がうまく築けない	健康面での問題がある	メンタルヘルスの問題を抱えている（うつ、摂食障害、自傷行為、依存症など）
全体	358	13.1	9.2	5.0	8.7	7.0	4.2	1.7	1.7	10.3	4.7
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	22	36.4	36.4	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	22.7	4.5
30歳代	21	14.3	14.3	—	9.5	14.3	4.8	4.8	—	—	—
40歳代	32	12.5	9.4	9.4	15.6	9.4	9.4	3.1	3.1	15.6	6.3
50歳代	71	11.3	2.8	—	12.7	5.6	4.2	—	2.8	14.1	9.9
60歳代	70	14.3	7.1	8.6	5.7	10.0	1.4	—	1.4	5.7	2.9
70歳以上	133	9.8	7.5	3.0	4.5	3.8	3.0	1.5	—	9.0	3.8

区分	非正規雇用のため不安がある（雇い止め、勤務時間の減少による収入減、待遇格差など）	転職先を探しているが、見つからない	仕事を探しているが、見つからない（失業している）	引きこもっている	いじめ・嫌がらせを受けている	何らかの差別を受けている（国籍、出身、性別、疾病や障がいなど）	配偶者や交際相手からのDV・デートDV	配偶者や交際相手以外からの性暴力（セクハラや痴漢被害などを含む）	その他	特になし	無回答
全体	3.6	1.7	1.7	2.0	1.1	0.3	0.3	0.3	—	17.3	51.1
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
20歳代	4.5	—	—	—	4.5	—	—	—	—	18.2	22.7
30歳代	—	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	—	—	—	14.3	52.4
40歳代	3.1	6.3	3.1	9.4	3.1	—	—	—	—	28.1	40.6
50歳代	2.8	—	—	—	—	—	1.4	1.4	—	25.4	39.4
60歳代	5.7	2.9	4.3	2.9	—	—	—	—	—	15.7	52.9
70歳以上	3.8	0.8	0.8	0.8	0.8	—	—	—	—	12.0	63.2

近隣の方が困っている

「特になし」の割合が18.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 358



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	家計が苦しい	家事の負担が大きい	育児の負担が大きい	介護の負担が大きい	仕事の負担が大きい	家族との人間関係がうまく築けない	近隣との人間関係がうまく築けない	学校、職場での人間関係がうまく築けない	健康面での問題がある	メンタルヘルスの問題を抱えている（うつ、摂食障害、自傷行為、依存症など）
全体	358	2.5	1.7	4.5	5.9	2.5	2.2	3.6	2.8	3.1	2.5
女性	201	1.5	1.5	4.0	5.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.5
男性	144	4.2	2.1	4.9	6.9	4.2	2.8	6.9	4.9	4.2	2.8

区分	非正規雇用のため不安がある（雇い止め、勤務時間の減少による収入減、待遇格差など）	転職先を探しているが、見つからない	仕事を探しているが、見つからない（失業している）	引きこもっている	いじめ・嫌がらせを受けている	何らかの差別を受けている（国籍、出身、性別、疾病や障がいなど）	配偶者や交際相手からのDV・デートDV	配偶者や交際相手以外からの性暴力（セクハラや痴漢被害などを含む）	その他	特になし	無回答
全体	2.8	2.5	2.2	2.5	2.0	2.2	1.7	1.7	0.6	18.2	69.3
女性	1.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	2.0	—	17.9	71.1
男性	4.9	2.8	2.8	2.8	2.8	3.5	1.4	1.4	1.4	19.4	66.0

【年齢別】

年齢別にみると、40歳代で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

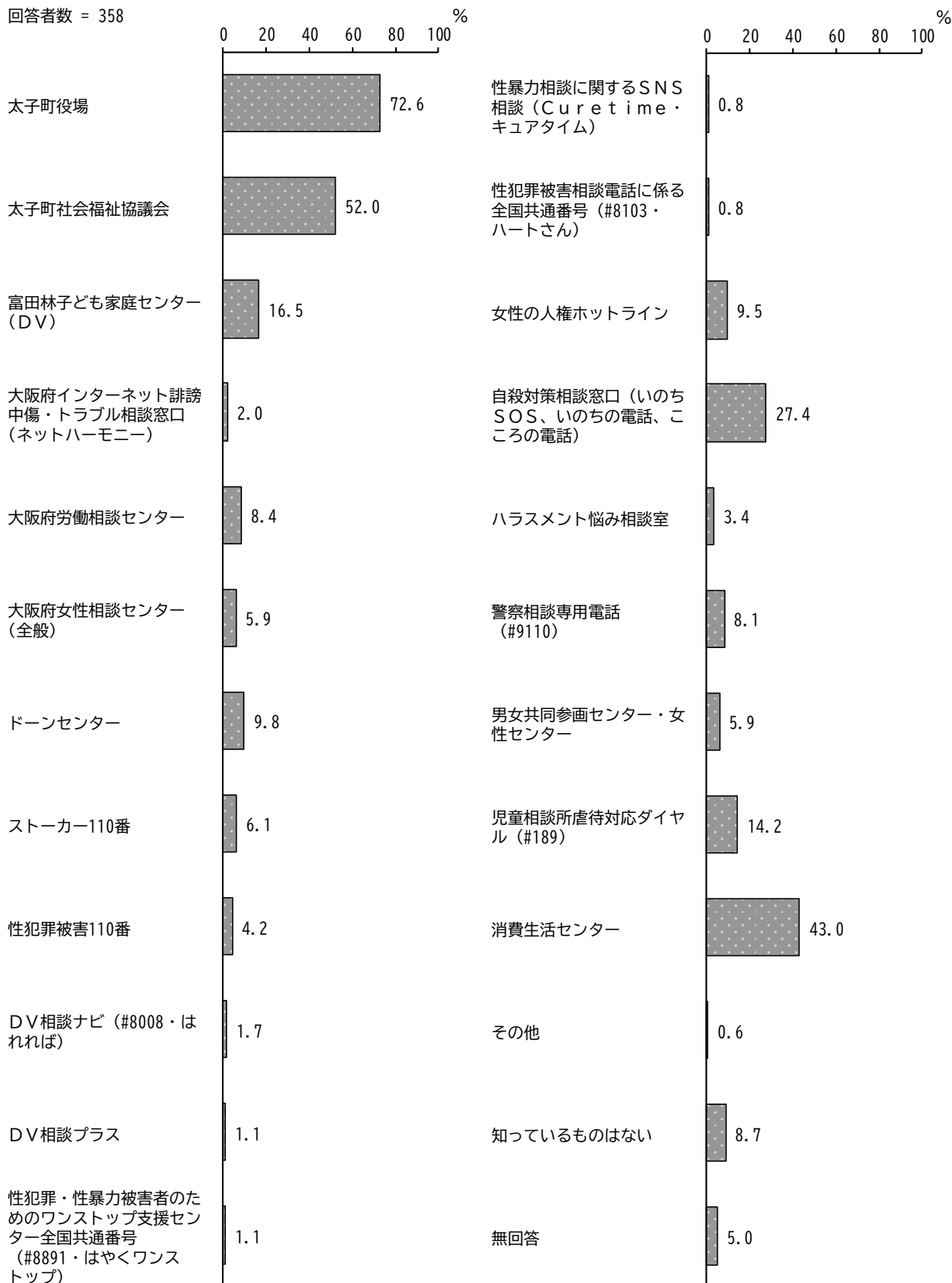
区分	回答者数（件）	家計が苦しい	家事の負担が大きい	育児の負担が大きい	介護の負担が大きい	仕事の負担が大きい	家族との人間関係がうまく築けない	近隣との人間関係がうまく築けない	学校、職場での人間関係がうまく築けない	健康面での問題がある	メンタルヘルスの問題を抱えている（うつ、摂食障害、自傷行為、依存症など）
全体	358	2.5	1.7	4.5	5.9	2.5	2.2	3.6	2.8	3.1	2.5
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30歳代	21	4.8	—	9.5	4.8	—	—	—	—	—	—
40歳代	32	6.3	6.3	3.1	9.4	3.1	3.1	6.3	6.3	9.4	9.4
50歳代	71	2.8	2.8	8.5	11.3	5.6	5.6	5.6	5.6	4.2	5.6
60歳代	70	1.4	—	4.3	5.7	1.4	2.9	2.9	1.4	2.9	1.4
70歳以上	133	2.3	1.5	2.3	3.8	2.3	0.8	3.8	2.3	2.3	0.8

区分	非正規雇用のため不安がある（雇い止め、勤務時間の減少による収入減、待遇格差など）	転職先を探しているが、見つからない	仕事を探しているが、見つからない（失業している）	引きこもっている	いじめ・嫌がらせを受けている	何らかの差別を受けている（国籍、出身、性別、疾病や障がいなど）	配偶者や交際相手からのDV・デートDV	配偶者や交際相手以外からの性暴力（セクハラや痴漢被害などを含む）	その他	特になし	無回答
全体	2.8	2.5	2.2	2.5	2.0	2.2	1.7	1.7	0.6	18.2	69.3
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
20歳代	—	4.5	4.5	—	—	—	—	—	—	27.3	68.2
30歳代	—	4.8	—	—	—	—	4.8	4.8	—	19.0	71.4
40歳代	6.3	—	3.1	6.3	6.3	6.3	—	—	—	31.3	50.0
50歳代	4.2	5.6	5.6	7.0	5.6	5.6	5.6	5.6	1.4	28.2	56.3
60歳代	2.9	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	11.4	74.3
70歳以上	2.3	1.5	0.8	0.8	—	0.8	—	—	—	12.0	77.4

問 25 以下の相談窓口について、知っている相談窓口を全てあげてください。
(〇はいくつでも)

「太子町役場」の割合が 72.6%と最も高く、次いで「太子町社会福祉協議会」の割合が 52.0%、「消費生活センター」の割合が 43.0%となっています。

回答者数 = 358



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	太子町役場	太子町社会福祉協議会	富田林子ども家庭センター（DV）	大阪府インターネット誹謗中傷・トラブル相談窓口（ネットハーモニー）	大阪府労働相談センター	大阪府女性相談センター（全般）	ドーンセンター	ストーカー20番	性犯罪被害20番	DV相談ナビ（#8008・はれば）	DV相談プラス	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター全国共通番号（#881・はやくワンストップ）
全体	358	72.6	52.0	16.5	2.0	8.4	5.9	9.8	6.1	4.2	1.7	1.1	1.1
女性	201	74.6	50.7	17.9	1.0	8.0	6.5	8.5	7.0	5.0	1.5	1.0	1.0
男性	144	68.8	51.4	13.2	2.8	9.0	4.9	11.1	4.9	2.8	1.4	0.7	0.7

区分	性暴力相談に関するSNS相談（Curetime・キュアタイム）	性犯罪被害相談電話に係る全国共通番号（#8103・ハートさん）	女性の人権ホットライン	自殺対策相談窓口（いのちのSOS、いのちの電話、この電話）	ハラスメント悩み相談室	警察相談専用電話（#110）	男女共同参画センター・女性センター	児童相談所虐待対応ダイヤル（#189）	消費生活センター	その他	知っているものはない	無回答
全体	0.8	0.8	9.5	27.4	3.4	8.1	5.9	14.2	43.0	0.6	8.7	5.0
女性	0.5	0.5	12.4	31.3	4.0	5.0	4.0	17.4	46.8	1.0	5.5	4.0
男性	0.7	0.7	5.6	20.1	2.1	11.1	7.6	9.7	38.2	—	13.9	6.9

【年齢別】

年齢別にみると、50歳代で「自殺対策相談窓口（いのちSOS、いのちの電話、こころの電話）」の割合が高くなっています。

単位：％

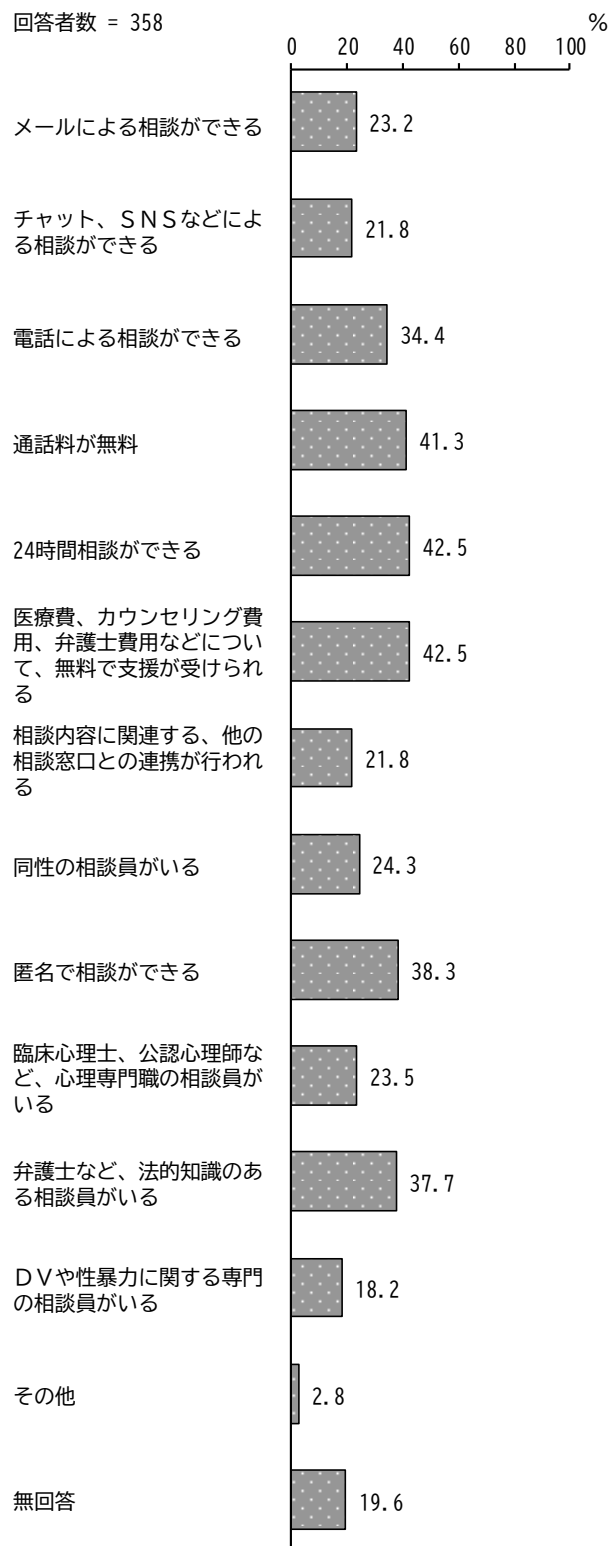
区分	回答者数（件）	太子町役場	太子町社会福祉協議会	富田林子ども家庭センター（DV）	大阪府インターネット誹謗中傷・トラブル相談窓口（ネットハーモニー）	大阪府労働相談センター	大阪府女性相談センター（全般）	ドーンセンター	ストーカー20番	性犯罪被害20番	DV相談ナビ（＃8008・はれば）	DV相談プラス	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター全国共通番号（＃881・はやくワンストップ）
全体	358	72.6	52.0	16.5	2.0	8.4	5.9	9.8	6.1	4.2	1.7	1.1	1.1
10歳代	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	22	68.2	18.2	9.1	9.1	9.1	4.5	—	—	—	—	—	—
30歳代	21	47.6	19.0	9.5	—	4.8	—	—	4.8	—	—	—	—
40歳代	32	65.6	34.4	9.4	—	15.6	6.3	6.3	3.1	3.1	—	—	—
50歳代	71	74.6	49.3	31.0	2.8	12.7	11.3	16.9	11.3	8.5	2.8	1.4	2.8
60歳代	70	72.9	58.6	17.1	1.4	5.7	4.3	10.0	8.6	2.9	1.4	—	—
70歳以上	133	75.9	63.9	11.3	0.8	6.0	4.5	9.0	3.8	3.8	1.5	1.5	0.8

区分	性暴力相談に関するSNS相談（Curetime・キュアタイム）	性犯罪被害相談電話に係る全国共通番号（＃8103・ハートさん）	女性の人権ホットライン	自殺対策相談窓口（いのちSOS、いのちの電話、こころの電話）	ハラスメント悩み相談室	警察相談専用電話（＃110）	男女共同参画センター・女性センター	児童相談所虐待対応ダイヤル（＃89）	消費生活センター	その他	知っているものはない	無回答
全体	0.8	0.8	9.5	27.4	3.4	8.1	5.9	14.2	43.0	0.6	8.7	5.0
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	—	—	13.6	36.4	—	18.2	—	22.7	45.5	—	27.3	—
30歳代	—	—	14.3	23.8	4.8	4.8	4.8	14.3	14.3	—	28.6	4.8
40歳代	—	3.1	18.8	34.4	6.3	15.6	—	21.9	46.9	3.1	9.4	3.1
50歳代	1.4	—	16.9	42.3	5.6	4.2	8.5	26.8	49.3	1.4	7.0	4.2
60歳代	—	—	5.7	41.4	1.4	7.1	4.3	11.4	54.3	—	7.1	—
70歳以上	0.8	0.8	3.8	8.3	2.3	6.8	7.5	6.0	37.6	—	4.5	9.8

問 26 あなたは、暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「24 時間相談ができる」、「医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などについて、無料で支援が受けられる」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「通話料が無料」の割合が 41.3%となっています。

回答者数 = 358



【性別】

性別にみると、女性で「同性の相談員がいる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	メールによる相談ができる	チャット、SNSなどによる相談ができる	電話による相談ができる	通話料が無料	24時間相談ができる	医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などについて、無料で支援が受けられる	相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる	同性の相談員がいる	匿名で相談ができる	臨床心理士、公認心理師など、心理専門職の相談員がいる	弁護士など、法的知識のある相談員がいる	DVや性暴力に関する専門の相談員がいる	その他	無回答
全体	358	23.2	21.8	34.4	41.3	42.5	42.5	21.8	24.3	38.3	23.5	37.7	18.2	2.8	19.6
女性	201	24.4	24.4	32.3	46.3	46.3	45.8	23.9	31.8	40.8	28.9	38.8	21.4	1.0	18.4
男性	144	21.5	18.8	37.5	36.8	38.9	38.2	19.4	13.9	36.1	17.4	38.2	13.9	4.9	21.5

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「チャット、SNSなどによる相談ができる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	メールによる相談ができる	チャット、SNSなどによる相談ができる	電話による相談ができる	通話料が無料	24時間相談ができる	医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などについて、無料で支援が受けられる	相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる	同性の相談員がいる	匿名で相談ができる	臨床心理士、公認心理師など、心理専門職の相談員がいる	弁護士など、法的知識のある相談員がいる	DVや性暴力に関する専門の相談員がいる	その他	無回答
全体	358	23.2	21.8	34.4	41.3	42.5	42.5	21.8	24.3	38.3	23.5	37.7	18.2	2.8	19.6
10歳代	1	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
20歳代	22	50.0	63.6	31.8	68.2	59.1	77.3	45.5	54.5	77.3	54.5	50.0	50.0	9.1	4.5
30歳代	21	28.6	47.6	19.0	57.1	61.9	52.4	28.6	42.9	42.9	33.3	28.6	28.6	4.8	19.0
40歳代	32	37.5	43.8	31.3	46.9	53.1	59.4	34.4	40.6	59.4	34.4	53.1	40.6	3.1	12.5
50歳代	71	16.9	22.5	26.8	43.7	45.1	47.9	23.9	29.6	47.9	29.6	43.7	18.3	1.4	18.3
60歳代	70	28.6	21.4	50.0	54.3	60.0	42.9	21.4	24.3	38.6	24.3	44.3	17.1	1.4	4.3
70歳以上	133	13.5	6.0	33.8	26.3	24.1	27.8	12.8	10.5	21.1	11.3	27.8	6.8	2.3	33.1

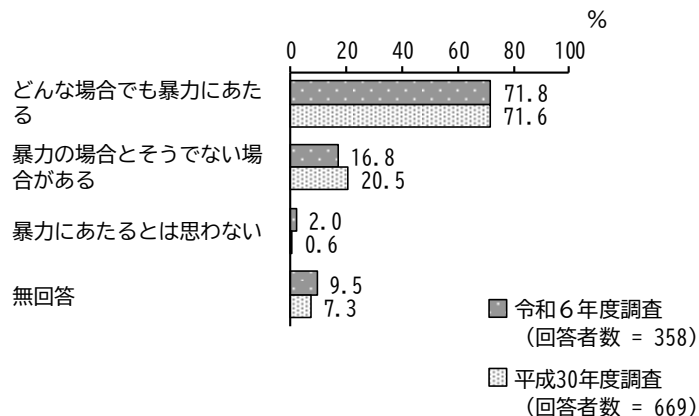
8 暴力（ドメスティック・バイオレンス）について

問 27 配偶者や元配偶者、パートナー、親しい異性（恋人等）から次の行為を受けたとき、暴力だと思いますか。（それぞれ○は1つ）

ア 平手でうつ

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 71.8%と最も高く、次いで「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が 16.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	71.8	16.8	2.0	9.5
女性	201	76.1	13.4	2.0	8.5
男性	144	66.0	20.8	2.1	11.1

【年齢別】

年齢別にみると、30 歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

単位：％

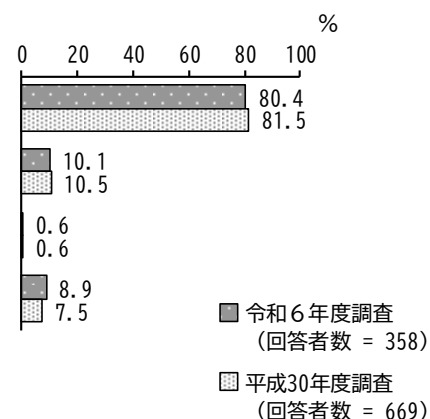
区分	回答者数 (件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	71.8	16.8	2.0	9.5
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	77.3	22.7	—	—
30歳代	21	81.0	4.8	9.5	4.8
40歳代	32	75.0	21.9	—	3.1
50歳代	71	77.5	18.3	—	4.2
60歳代	70	75.7	20.0	—	4.3
70歳以上	133	63.2	14.3	3.8	18.8

イ 足でける

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が80.4%と最も高く、次いで「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が10.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

どんな場合でも暴力にあたる
暴力の場合とそうでない場合がある
暴力にあたるとは思わない
無回答



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	80.4	10.1	0.6	8.9
女性	201	82.6	8.5	0.5	8.5
男性	144	76.4	13.2	0.7	9.7

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。

単位：％

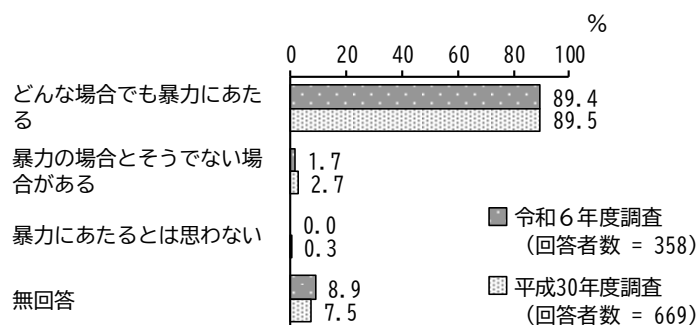
区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	80.4	10.1	0.6	8.9
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	81.8	18.2	—	—
30歳代	21	81.0	9.5	4.8	4.8
40歳代	32	87.5	9.4	—	3.1
50歳代	71	84.5	11.3	—	4.2
60歳代	70	85.7	11.4	—	2.9
70歳以上	133	72.9	8.3	0.8	18.0

ウ 身体を傷つける可能性のあるものでなぐる

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が

89.4%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	89.4	1.7	—	8.9
女性	201	90.0	1.5	—	8.5
男性	144	87.5	2.1	—	10.4

【年齢別】

年齢別にみると、60 歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

単位：％

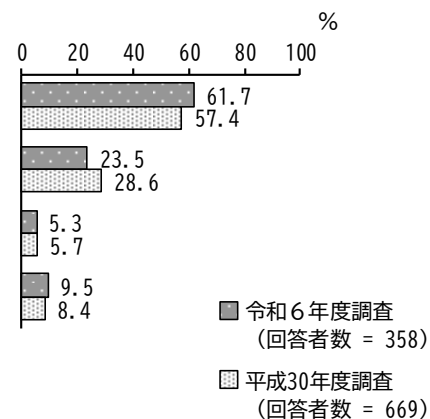
区分	回答者数 (件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	89.4	1.7	—	8.9
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	95.5	4.5	—	—
30歳代	21	90.5	4.8	—	4.8
40歳代	32	93.8	3.1	—	3.1
50歳代	71	93.0	1.4	—	5.6
60歳代	70	97.1	—	—	2.9
70歳以上	133	80.5	1.5	—	18.0

エ なぐるふりをして脅す

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が61.7%と最も高く、次いで「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が23.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が減少しています。

どんな場合でも暴力にあたる
暴力の場合とそうでない場合がある
暴力にあたるとは思わない
無回答



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	61.7	23.5	5.3	9.5
女性	201	65.2	21.4	5.0	8.5
男性	144	56.3	27.1	5.6	11.1

【年齢別】

年齢別にみると、30歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

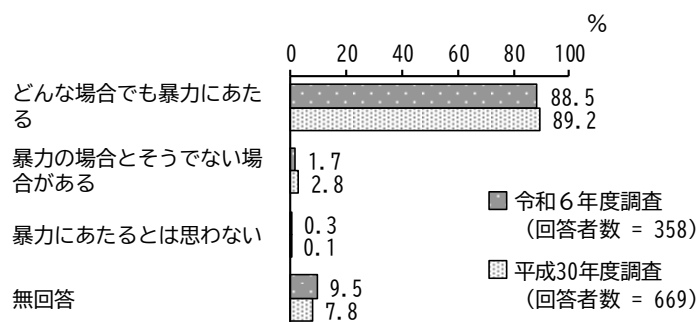
単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	61.7	23.5	5.3	9.5
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	72.7	27.3	—	—
30歳代	21	76.2	19.0	—	4.8
40歳代	32	71.9	21.9	—	6.3
50歳代	71	71.8	19.7	4.2	4.2
60歳代	70	68.6	22.9	5.7	2.9
70歳以上	133	45.9	27.1	8.3	18.8

オ 刃物などを突きつけて脅す

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が
88.5%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	88.5	1.7	0.3	9.5
女性	201	90.0	1.0	0.5	8.5
男性	144	86.1	2.8	—	11.1

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

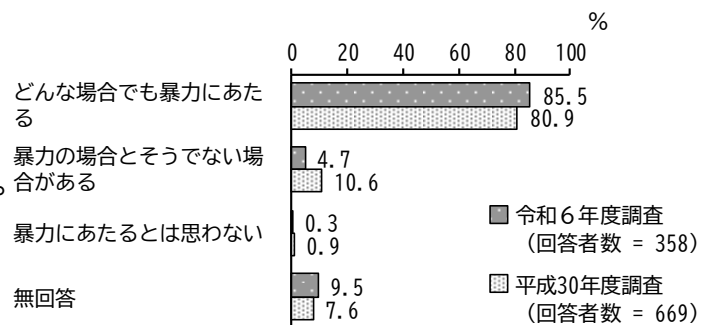
単位：％

区分	回答者数 (件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	88.5	1.7	0.3	9.5
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	100.0	—	—	—
30歳代	21	90.5	4.8	—	4.8
40歳代	32	93.8	3.1	—	3.1
50歳代	71	94.4	1.4	—	4.2
60歳代	70	94.3	1.4	—	4.3
70歳以上	133	78.9	1.5	0.8	18.8

カ 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が
85.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「暴力の場合と
そうでない場合がある」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	85.5	4.7	0.3	9.5
女性	201	86.1	5.0	0.5	8.5
男性	144	84.0	4.9	—	11.1

【年齢別】

年齢別にみると、40歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

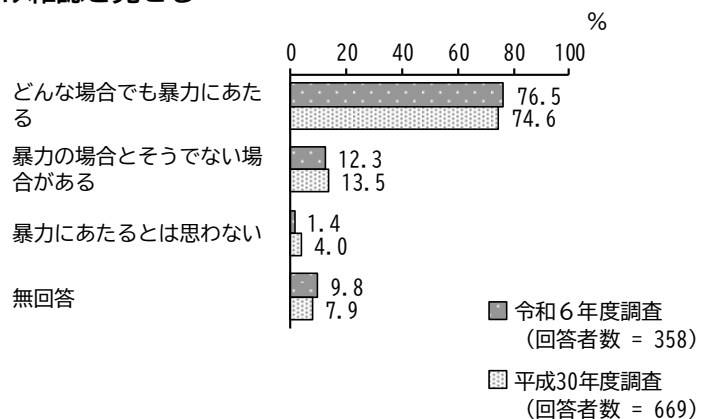
単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	85.5	4.7	0.3	9.5
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	95.5	4.5	—	—
30歳代	21	95.2	—	—	4.8
40歳代	32	96.9	—	—	3.1
50歳代	71	88.7	7.0	—	4.2
60歳代	70	92.9	2.9	—	4.3
70歳以上	133	73.7	6.8	0.8	18.8

キ 相手が嫌がっているのにアダルトビデオや成人向け雑誌を見せる

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が76.5%と最も高く、次いで「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が12.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	76.5	12.3	1.4	9.8
女性	201	77.6	12.4	1.5	8.5
男性	144	73.6	13.2	1.4	11.8

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

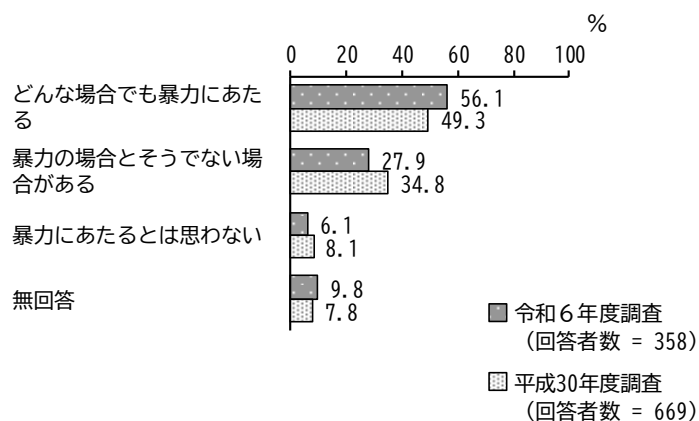
単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	76.5	12.3	1.4	9.8
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	95.5	4.5	—	—
30歳代	21	81.0	9.5	4.8	4.8
40歳代	32	84.4	12.5	—	3.1
50歳代	71	81.7	14.1	—	4.2
60歳代	70	85.7	8.6	1.4	4.3
70歳以上	133	62.4	15.8	2.3	19.5

ク 何を言っても長時間無視し続ける

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が56.1%と最も高く、次いで「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が27.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が増加しています。一方、「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	56.1	27.9	6.1	9.8
女性	201	57.2	26.9	6.5	9.5
男性	144	54.9	28.5	6.3	10.4

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。

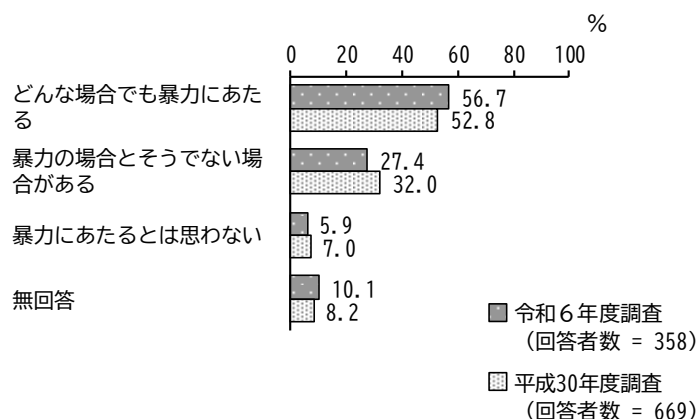
単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	56.1	27.9	6.1	9.8
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	59.1	40.9	—	—
30歳代	21	52.4	23.8	19.0	4.8
40歳代	32	56.3	37.5	3.1	3.1
50歳代	71	60.6	33.8	1.4	4.2
60歳代	70	60.0	28.6	7.1	4.3
70歳以上	133	51.1	21.1	8.3	19.5

ケ 相手の交友関係や電話を細かく監視する

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が56.7%と最も高く、次いで「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が27.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	56.7	27.4	5.9	10.1
女性	201	59.2	24.9	7.0	9.0
男性	144	51.4	31.9	4.9	11.8

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

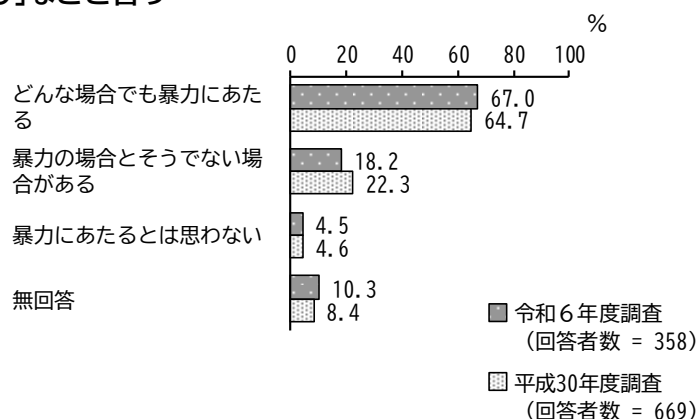
単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	56.7	27.4	5.9	10.1
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	77.3	22.7	—	—
30歳代	21	66.7	23.8	4.8	4.8
40歳代	32	62.5	34.4	—	3.1
50歳代	71	53.5	35.2	7.0	4.2
60歳代	70	54.3	32.9	7.1	5.7
70歳以上	133	51.9	21.1	7.5	19.5

コ 「誰のおかげで生活できるのだ」や「かいしょうなし」などと言う

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が 18.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性で「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	67.0	18.2	4.5	10.3
女性	201	71.1	14.9	5.0	9.0
男性	144	59.0	24.3	4.2	12.5

【年齢別】

年齢別にみると、40 歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

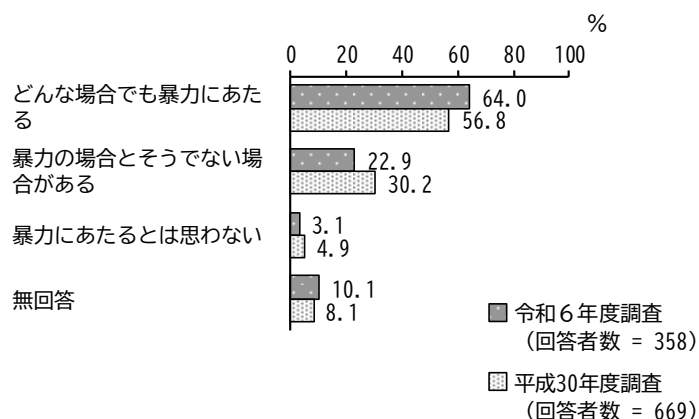
単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	67.0	18.2	4.5	10.3
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	77.3	18.2	4.5	—
30歳代	21	71.4	4.8	19.0	4.8
40歳代	32	84.4	12.5	—	3.1
50歳代	71	80.3	14.1	1.4	4.2
60歳代	70	65.7	24.3	5.7	4.3
70歳以上	133	52.6	21.8	4.5	21.1

サ 大声でどなる

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が64.0%と最も高く、次いで「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が22.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が増加しています。一方、「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	64.0	22.9	3.1	10.1
女性	201	66.2	20.4	3.0	10.4
男性	144	60.4	26.4	3.5	9.7

【年齢別】

年齢別にみると、50歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

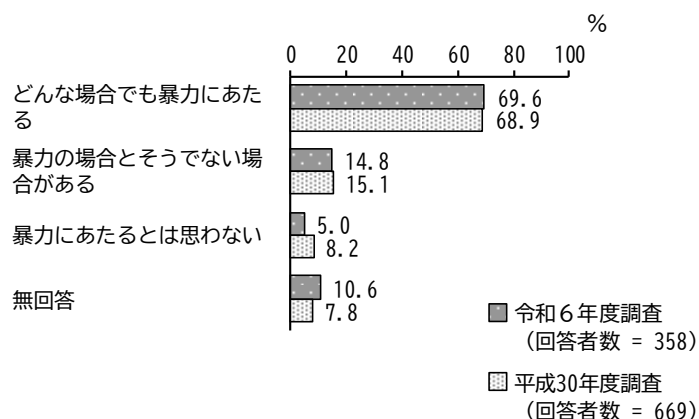
単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	64.0	22.9	3.1	10.1
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	68.2	31.8	—	—
30歳代	21	71.4	19.0	4.8	4.8
40歳代	32	75.0	21.9	—	3.1
50歳代	71	78.9	16.9	—	4.2
60歳代	70	62.9	30.0	2.9	4.3
70歳以上	133	51.1	22.6	6.0	20.3

シ 家に生活費を入れない

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が69.6%と最も高く、次いで「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が14.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性で「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	69.6	14.8	5.0	10.6
女性	201	76.1	10.0	4.0	10.0
男性	144	60.4	21.5	6.3	11.8

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	69.6	14.8	5.0	10.6
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	63.6	27.3	9.1	—
30歳代	21	66.7	19.0	9.5	4.8
40歳代	32	78.1	18.8	—	3.1
50歳代	71	81.7	11.3	2.8	4.2
60歳代	70	71.4	18.6	5.7	4.3
70歳以上	133	61.7	11.3	5.3	21.8

ス 物を投げる、物を壊す

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が
79.9%と最も高くなっています。

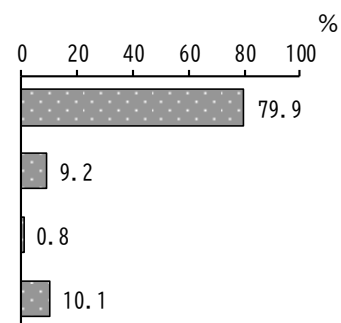
回答者数 = 358

どんな場合でも暴力にあたる

暴力の場合とそうでない場合がある

暴力にあたるとは思わない

無回答



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	79.9	9.2	0.8	10.1
女性	201	81.6	8.5	0.5	9.5
男性	144	77.8	9.7	1.4	11.1

【年齢別】

年齢別にみると、30歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

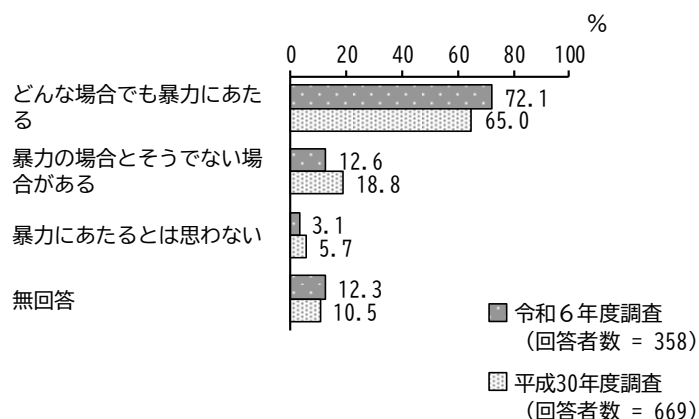
単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	79.9	9.2	0.8	10.1
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	77.3	22.7	—	—
30歳代	21	95.2	—	—	4.8
40歳代	32	75.0	21.9	—	3.1
50歳代	71	87.3	8.5	—	4.2
60歳代	70	82.9	12.9	—	4.3
70歳以上	133	73.7	3.8	2.3	20.3

セ 子どもが上記（ア～ス）の行為を見聞きする

「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が72.1%と最も高く、次いで「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が12.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が増加しています。一方、「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「暴力の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	72.1	12.6	3.1	12.3
女性	201	79.1	7.0	3.0	10.9
男性	144	61.8	20.1	3.5	14.6

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「どんな場合でも暴力にあたる」の割合が高くなっています。

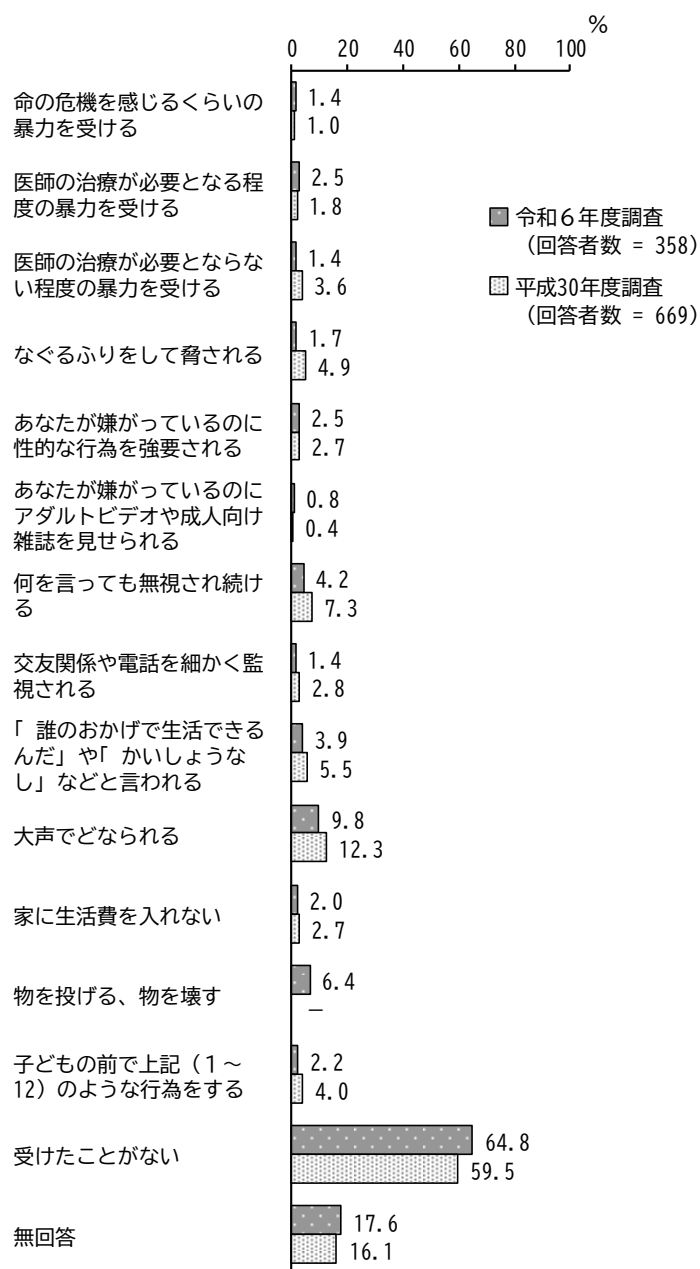
単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合でも暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体	358	72.1	12.6	3.1	12.3
10歳代	1	100.0	—	—	—
20歳代	22	86.4	9.1	4.5	—
30歳代	21	85.7	9.5	—	4.8
40歳代	32	71.9	25.0	—	3.1
50歳代	71	83.1	11.3	1.4	4.2
60歳代	70	84.3	7.1	4.3	4.3
70歳以上	133	54.9	14.3	4.5	26.3

問 28 配偶者や元配偶者、パートナー、親しい異性（恋人等）から次のような行為を一度でも受けたことがありますか。（〇はいくつでも）

「受けたことがない」の割合が 64.8%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「受けたことがない」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	命の危機を感じるくらいの暴力を受ける	医師の治療が必要となる程度の暴力を受ける	医師の治療が必要とならない程度の暴力を受ける	なぐるふりをして脅される	あなたが嫌がっているのに性的な行為を強要される	あなたが嫌がっているのにアダルトビデオや成人向け雑誌を見せられる	何を言っても無視され続ける	交友関係や電話を細かく監視される	「誰のおかげで生活できるんだ」「や」「か」「い」「し」「や」「な」「し」「な」「ど」「と」「言」「わ」「れ」「る」	大声でとられる	家に生活費を入れない	物を投げる、物を壊す	子どもの前で上記（１～１２）のような行為をする	受けたことがない	無回答
全体	358	1.4	2.5	1.4	1.7	2.5	0.8	4.2	1.4	3.9	9.8	2.0	6.4	2.2	64.8	17.6
女性	201	1.5	3.0	2.0	2.5	3.0	1.5	2.0	1.5	4.0	11.4	3.0	8.0	2.0	65.2	15.9
男性	144	1.4	2.1	0.7	—	1.4	—	6.3	0.7	2.8	6.3	—	4.2	1.4	64.6	20.8

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「受けたことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

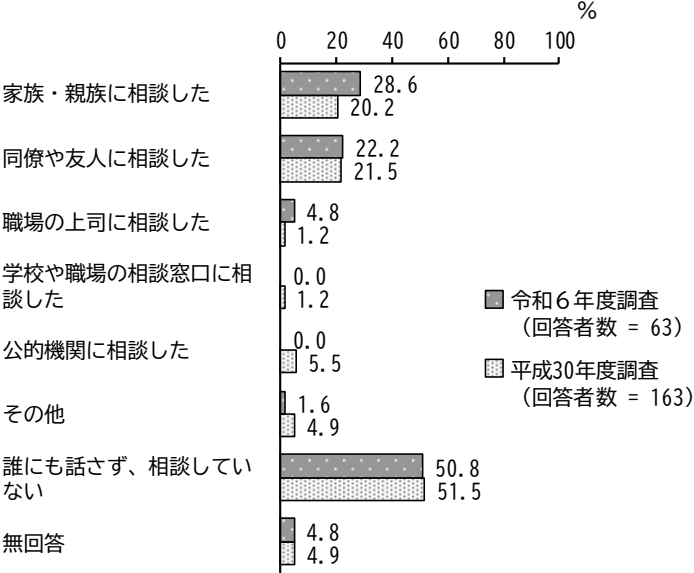
区分	回答者数（件）	命の危機を感じるくらいの暴力を受ける	医師の治療が必要となる程度の暴力を受ける	医師の治療が必要とならない程度の暴力を受ける	なぐるふりをして脅される	あなたが嫌がっているのに性的な行為を強要される	あなたが嫌がっているのにアダルトビデオや成人向け雑誌を見せられる	何を言っても無視され続ける	交友関係や電話を細かく監視される	「誰のおかげで生活できるんだ」「や」「か」「い」「し」「や」「な」「し」「な」「ど」「と」「言」「わ」「れ」「る」	大声でとられる	家に生活費を入れない	物を投げる、物を壊す	子どもの前で上記（１～１２）のような行為をする	受けたことがない	無回答
全体	358	1.4	2.5	1.4	1.7	2.5	0.8	4.2	1.4	3.9	9.8	2.0	6.4	2.2	64.8	17.6
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	—	—	4.5	—	—	—	4.5	—	4.5	4.5	—	4.5	—	81.8	9.1
30歳代	21	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	—	9.5	4.8	4.8	19.0	4.8	9.5	9.5	66.7	4.8
40歳代	32	—	3.1	3.1	6.3	3.1	—	3.1	3.1	3.1	15.6	6.3	12.5	3.1	59.4	12.5
50歳代	71	—	1.4	—	—	1.4	—	2.8	—	5.6	8.5	—	2.8	2.8	64.8	19.7
60歳代	70	1.4	2.9	1.4	2.9	4.3	1.4	4.3	1.4	4.3	5.7	4.3	8.6	2.9	67.1	14.3
70歳以上	133	2.3	3.0	0.8	0.8	2.3	1.5	4.5	1.5	2.3	9.8	0.8	5.3	—	61.7	23.3

問 28 で「1. 命の危機を感じるくらいの暴力を受ける」～「13. 子どもの前で上記（「1. 命の危機を感じるくらいの暴力を受ける」～「12. 物を投げる、物を壊す」）のような行為をする」を選んだ方にお聞きします。（行為を受けたことがある方）

問 29 何らかの行為を受けたことについて、誰かに話したり相談したりしましたか。
（〇はいくつでも）

「誰にも話さず、相談していない」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「家族・親族に相談した」の割合が 28.6%、「同僚や友人に相談した」の割合が 22.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「家族・親族に相談した」の割合が増加しています。一方、「公的機関に相談した」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「誰にも話さず、相談していない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族・親族に相談した	同僚や友人に相談した	職場の上司に相談した	学校や職場の相談窓口相談した	公的機関に相談した	その他	誰にも話さず、相談していない	無回答
全体	63	28.6	22.2	4.8	—	—	1.6	50.8	4.8
女性	38	34.2	23.7	2.6	—	—	2.6	42.1	7.9
男性	21	19.0	14.3	9.5	—	—	—	71.4	—

【年齢別】

年齢別にみると、60 歳代で「家族・親族に相談した」の割合が高くなっています。

単位：％

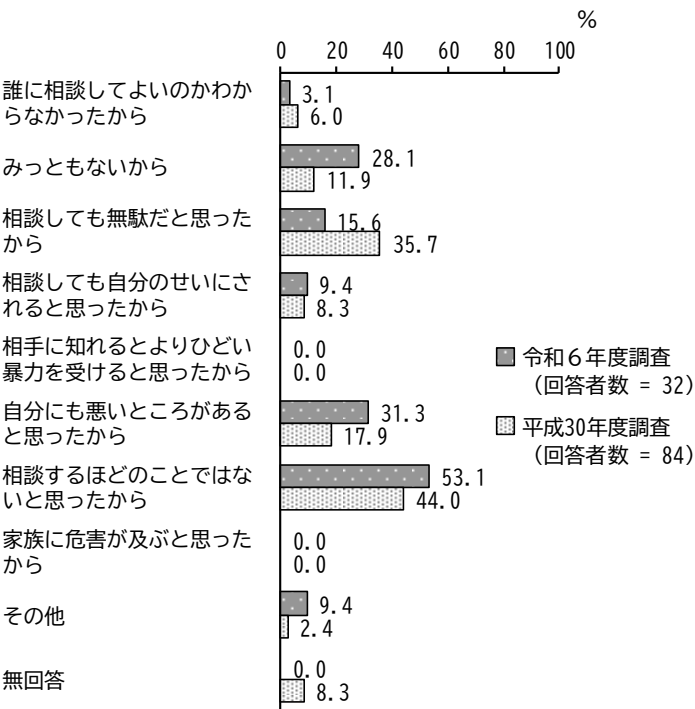
区分	回答者数 (件)	家族・親族に相談した	同僚や友人に相談した	職場の上司に相談した	学校や職場の相談窓口相談した	公的機関に相談した	その他	誰にも話さず、相談していない	無回答
全体	63	28.6	22.2	4.8	—	—	1.6	50.8	4.8
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	2	—	—	—	—	—	—	100.0	—
30歳代	6	33.3	16.7	—	—	—	—	50.0	—
40歳代	9	33.3	33.3	11.1	—	—	—	44.4	—
50歳代	11	9.1	18.2	—	—	—	9.1	54.5	9.1
60歳代	13	38.5	23.1	—	—	—	—	46.2	7.7
70歳以上	20	35.0	20.0	10.0	—	—	—	50.0	5.0

問 29 で「7. 誰にも話さず、相談していない」を選んだ方にお聞きします。(誰にも話さず、相談していない方)

問 30 誰にも話さず、相談しなかったのは、なぜですか。(○はいくつでも)

「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が 31.3%、「みっともないから」の割合が 28.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「みっともないから」「自分にも悪いところがあると思ったから」「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が増加しています。一方、「相談しても無駄だと思ったから」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性で「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	誰に相談してよいのかわからなかったから	みっともないから	相談しても無駄だと思ったから	相談しても自分のせいにされと思ったから	相手に知れるとよりひどい暴力を受けると思ったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	家族に危害が及ぶと思ったから	その他	無回答
全体	32	3.1	28.1	15.6	9.4	—	31.3	53.1	—	9.4	—
女性	16	6.3	25.0	6.3	12.5	—	43.8	62.5	—	12.5	—
男性	15	—	33.3	20.0	6.7	—	20.0	46.7	—	6.7	—

【年齢別】

年齢別にみると、70 歳以上で「みっともないから」の割合が高くなっています。

単位：％

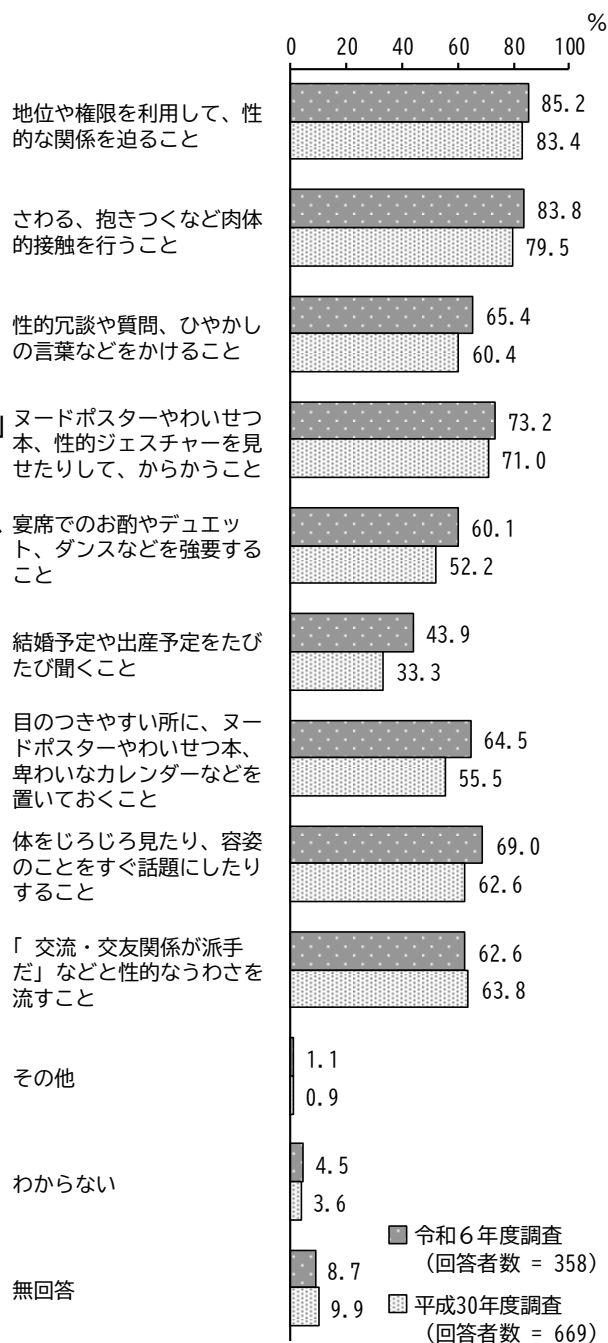
区分	回答者数（件）	誰に相談してよいのかわからなかったから	みっともないから	相談しても無駄だと思ったから	相談しても自分のせいにされと思ったから	相手に知れるとよりひどい暴力を受けると思ったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	家族に危害が及ぶと思ったから	その他	無回答
全体	32	3.1	28.1	15.6	9.4	—	31.3	53.1	—	9.4	—
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	2	—	—	50.0	50.0	—	50.0	50.0	—	—	—
30歳代	3	—	33.3	—	—	—	33.3	66.7	—	33.3	—
40歳代	4	—	—	—	25.0	—	25.0	75.0	—	25.0	—
50歳代	6	16.7	—	16.7	—	—	33.3	66.7	—	16.7	—
60歳代	6	—	66.7	—	—	—	50.0	33.3	—	—	—
70歳以上	10	—	40.0	20.0	10.0	—	20.0	50.0	—	—	—

9 セクシュアル・ハラスメントについて

問 31 次の行為を受けたとき、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ：性的嫌がらせ）だと思いますか。そう思われるものに○をしてください。（○はいくつでも）

「地位や権限を利用して、性的な関係を迫ること」の割合が85.2%と最も高く、次いで「さわる、抱きつくなど肉体的接触を行うこと」の割合が83.8%、「ヌードポスターやわいせつ本、性的ジェスチャーを見せたりして、からかうこと」の割合が73.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「性的冗談や質問、ひやかしの言葉などをかけること」「宴席でのお酌やデュエット、ダンスなどを強要すること」「結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと」「目のつきやすい所に、ヌードポスターやわいせつ本、卑わいなカレンダーなどを置いておくこと」「体をじろじろ見たり、容姿のことをすぐ話題にしたりすること」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	地位や権限を利用して、性的な関係を迫ること	さわる、抱きつくなど肉体的接触を行うこと	性的冗談や質問、ひやかしの言葉などをかけること	ヌードポスターやわいせつ本、性的ジエスチャーを見せたりして、からかうこと	宴席でのお酌やデュエット、ダンスなどを強要すること	結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと	目のつきやすい所に、ヌードポスターやわいせつ本、卑わいなカレンダーなどを置いておくこと	体をじろじろ見たり、容姿のことをすぐ話題にしたりすること	「交流・交友関係が派手だ」などと性的なうわさを流すこと	その他	わからない	無回答
全体	358	85.2	83.8	65.4	73.2	60.1	43.9	64.5	69.0	62.6	1.1	4.5	8.7
女性	201	84.6	84.1	65.2	73.6	58.7	40.8	62.7	71.1	64.2	1.0	4.5	8.0
男性	144	84.7	82.6	66.0	71.5	61.1	46.5	66.7	65.3	59.0	1.4	4.9	10.4

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「宴席でのお酌やデュエット、ダンスなどを強要すること」の割合が高くなっています。

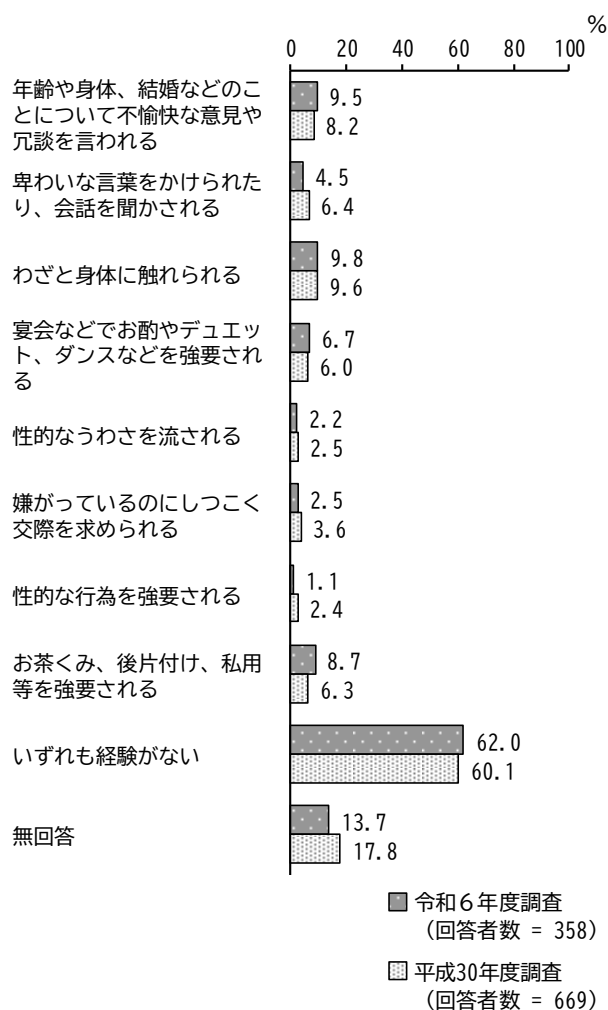
単位：％

区分	回答者数（件）	地位や権限を利用して、性的な関係を迫ること	さわる、抱きつくなど肉体的接触を行うこと	性的冗談や質問、ひやかしの言葉などをかけること	ヌードポスターやわいせつ本、性的ジエスチャーを見せたりして、からかうこと	宴席でのお酌やデュエット、ダンスなどを強要すること	結婚予定や出産予定をたびたび聞くこと	目のつきやすい所に、ヌードポスターやわいせつ本、卑わいなカレンダーなどを置いておくこと	体をじろじろ見たり、容姿のことをすぐ話題にしたりすること	「交流・交友関係が派手だ」などと性的なうわさを流すこと	その他	わからない	無回答
全体	358	85.2	83.8	65.4	73.2	60.1	43.9	64.5	69.0	62.6	1.1	4.5	8.7
10歳代	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—
20歳代	22	95.5	86.4	81.8	86.4	86.4	54.5	81.8	86.4	81.8	—	4.5	—
30歳代	21	95.2	95.2	76.2	71.4	47.6	42.9	66.7	76.2	71.4	—	—	4.8
40歳代	32	93.8	90.6	68.8	87.5	65.6	59.4	68.8	81.3	62.5	3.1	3.1	3.1
50歳代	71	95.8	93.0	80.3	91.5	77.5	49.3	83.1	85.9	78.9	1.4	1.4	1.4
60歳代	70	94.3	94.3	74.3	82.9	67.1	54.3	77.1	78.6	75.7	—	—	4.3
70歳以上	133	68.4	69.2	48.1	52.6	42.9	28.6	44.4	48.1	41.4	1.5	9.8	18.8

問 32 あなたは、職場や学校、地域などにおいて次のようなセクシュアル・ハラスメントの行為をされたことがありますか。(〇はいくつでも)

「いずれも経験がない」の割合が 62.0%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性で「いずれも経験がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	年齢や身体、結婚などのことについて不愉快な意見や冗談を言われる	卑わいな言葉をかけられたり、会話を聞かされる	わざと身体に触れられる	宴会などでお酌やデュエット、ダンスなどを強要される	性的なうわさを流される	嫌がっているのにしつこく交際を求められる	性的な行為を強要される	お茶くみ、後片付け、私用等を強要される	いずれも経験がない	無回答
全体	358	9.5	4.5	9.8	6.7	2.2	2.5	1.1	8.7	62.0	13.7
女性	201	9.5	5.5	15.4	10.4	1.5	3.5	1.5	13.4	57.7	10.0
男性	144	9.7	3.5	1.4	1.4	3.5	1.4	0.7	2.1	68.1	18.8

【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代で「いずれも経験がない」の割合が高くなっています。

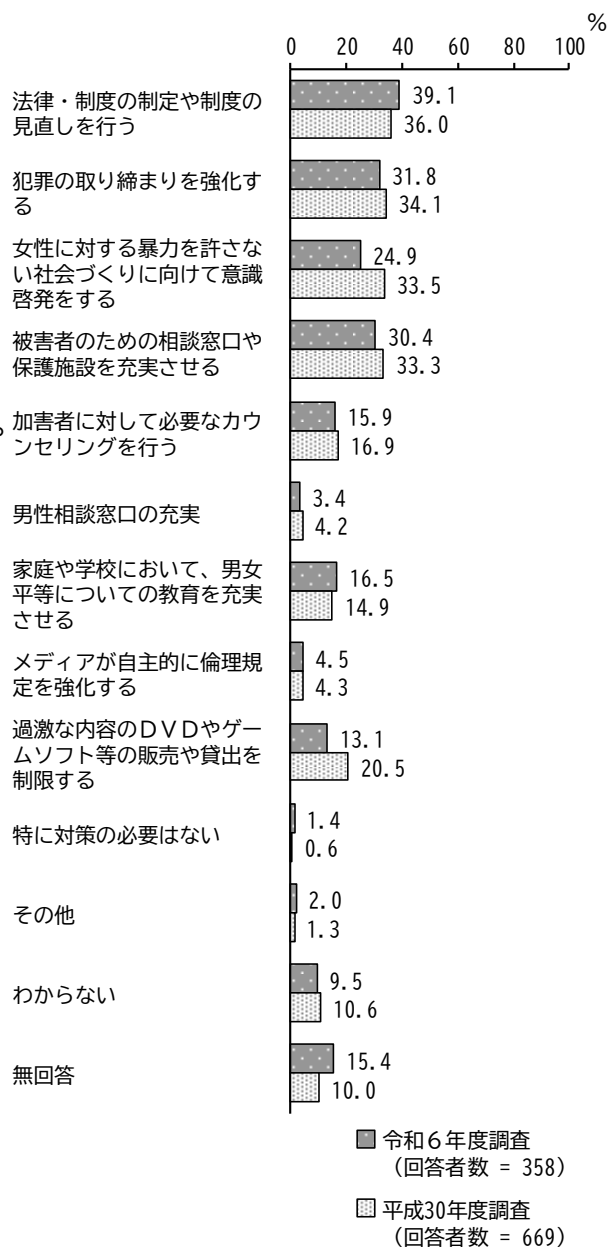
単位：％

区分	回答者数（件）	年齢や身体、結婚などのことについて不愉快な意見や冗談を言われる	卑わいな言葉をかけられたり、会話を聞かされる	わざと身体に触れられる	宴会などでお酌やデュエット、ダンスなどを強要される	性的なうわさを流される	嫌がっているのにしつこく交際を求められる	性的な行為を強要される	お茶くみ、後片付け、私用等を強要される	いずれも経験がない	無回答
全体	358	9.5	4.5	9.8	6.7	2.2	2.5	1.1	8.7	62.0	13.7
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
20歳代	22	13.6	18.2	—	—	4.5	—	—	9.1	77.3	—
30歳代	21	14.3	—	14.3	4.8	—	4.8	4.8	4.8	61.9	4.8
40歳代	32	25.0	9.4	25.0	9.4	6.3	9.4	3.1	25.0	46.9	6.3
50歳代	71	11.3	5.6	12.7	9.9	4.2	4.2	1.4	9.9	60.6	8.5
60歳代	70	11.4	4.3	7.1	12.9	—	1.4	—	5.7	64.3	10.0
70歳以上	133	3.0	1.5	6.0	3.0	1.5	0.8	0.8	6.8	63.2	23.3

問 33 配偶者・パートナー等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性暴力・性犯罪等をなくすために、もっと取組みを進める必要があるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

「法律・制度の制定や制度の見直しを行う」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「犯罪の取り締まりを強化する」の割合が 31.8%、「被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる」の割合が 30.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする」「過激な内容のDVDやゲームソフト等の販売や貸出を制限する」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	法律・制度の制定や制度の見直しを行う	犯罪の取り締まりを強化する	女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする	被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる	加害者に対して必要なカウンセリングを行う	男性相談窓口の充実	家庭や学校において、男女平等についての教育を充実させる	メディアが自主的に倫理規定を強化する	過激な内容のDVDやゲームソフト等の販売や貸出を制限する	特に対策の必要はない	その他	わからない	無回答
全体	358	39.1	31.8	24.9	30.4	15.9	3.4	16.5	4.5	13.1	1.4	2.0	9.5	15.4
女性	201	37.8	30.8	26.4	31.8	17.9	1.5	18.4	4.5	14.4	1.5	1.0	11.4	12.9
男性	144	41.7	33.3	23.6	28.5	13.2	5.6	13.9	4.9	11.8	1.4	2.8	6.9	18.1

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「犯罪の取り締まりを強化する」の割合が高くなっています。

単位：％

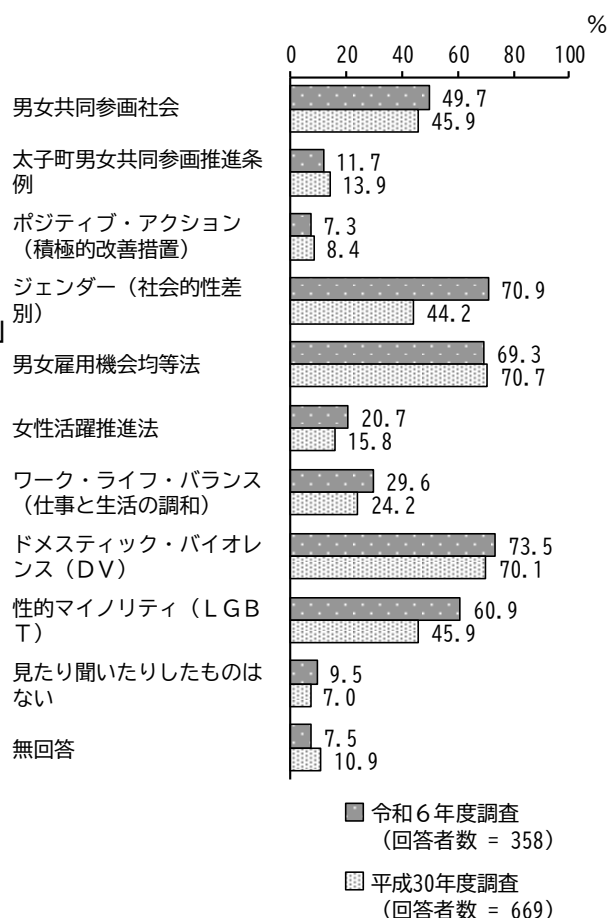
区分	回答者数（件）	法律・制度の制定や制度の見直しを行う	犯罪の取り締まりを強化する	女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする	被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる	加害者に対して必要なカウンセリングを行う	男性相談窓口の充実	家庭や学校において、男女平等についての教育を充実させる	メディアが自主的に倫理規定を強化する	過激な内容のDVDやゲームソフト等の販売や貸出を制限する	特に対策の必要はない	その他	わからない	無回答
全体	358	39.1	31.8	24.9	30.4	15.9	3.4	16.5	4.5	13.1	1.4	2.0	9.5	15.4
10歳代	1	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
20歳代	22	59.1	63.6	22.7	22.7	18.2	18.2	4.5	4.5	4.5	—	—	18.2	—
30歳代	21	47.6	38.1	14.3	23.8	19.0	9.5	9.5	—	9.5	—	4.8	4.8	9.5
40歳代	32	21.9	37.5	15.6	34.4	40.6	6.3	21.9	3.1	3.1	—	3.1	3.1	18.8
50歳代	71	45.1	36.6	22.5	29.6	15.5	2.8	18.3	11.3	12.7	1.4	2.8	9.9	8.5
60歳代	70	52.9	41.4	31.4	48.6	10.0	1.4	10.0	1.4	11.4	1.4	1.4	5.7	10.0
70歳以上	133	28.6	15.8	27.1	21.1	12.8	0.8	20.3	3.8	18.0	2.3	1.5	12.0	24.8

10 男女共同参画の推進について

問 34 以下の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを全てあげてください。(〇はいくつでも)

「ドメスティック・バイオレンス(DV)」の割合が73.5%と最も高く、次いで「ジェンダー(社会的性差別)」の割合が70.9%、「男女雇用機会均等法」の割合が69.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ジェンダー(社会的性差別)」「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」「性的マイノリティ(LGBT)」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	男女共同参画社会	太子町男女共同参画推進条例	ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	ジェンダー (社会的性差別)	男女雇用機会均等法	女性活躍推進法	ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	ドメスティック・バイオレンス (DV)	性的マイノリティ (LGBT)	見たたり聞いたりしたものは ない	無回答
全体	358	49.7	11.7	7.3	70.9	69.3	20.7	29.6	73.5	60.9	9.5	7.5
女性	201	46.8	11.9	8.5	71.6	69.2	19.9	26.4	78.1	62.7	10.9	6.0
男性	144	52.8	11.8	4.9	70.1	69.4	21.5	31.9	66.7	58.3	7.6	9.7

【年齢別】

年齢別にみると、30 歳代で「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の割合が高くなっています。

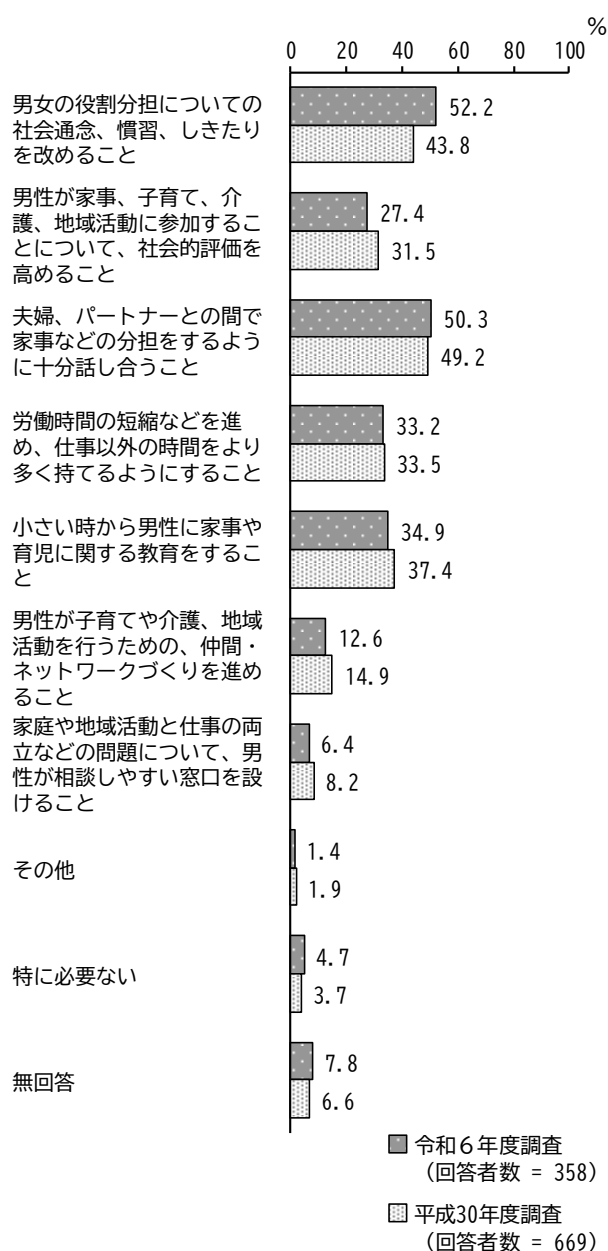
単位：％

区分	回答者数（件）	男女共同参画社会	太子町男女共同参画推進 条例	ポジティブ・アクション （積極的改善措置）	ジェンダー（社会的性差 別）	男女雇用機会均等法	女性活躍推進法	ワーク・ライフ・バランス （仕事と生活の調和）	ドメスティック・バイオレン ス（DV）	性的マイノリティ（LGB T）	見たり聞いたりしたもの はない	無回答
全体	358	49.7	11.7	7.3	70.9	69.3	20.7	29.6	73.5	60.9	9.5	7.5
10歳代	1	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
20歳代	22	50.0	9.1	—	86.4	59.1	18.2	50.0	86.4	68.2	9.1	—
30歳代	21	33.3	4.8	4.8	81.0	57.1	19.0	57.1	76.2	81.0	9.5	4.8
40歳代	32	56.3	12.5	18.8	78.1	75.0	34.4	50.0	81.3	75.0	9.4	3.1
50歳代	71	49.3	14.1	5.6	85.9	81.7	26.8	35.2	88.7	80.3	5.6	2.8
60歳代	70	57.1	7.1	7.1	75.7	80.0	15.7	27.1	88.6	68.6	7.1	1.4
70歳以上	133	47.4	14.3	6.8	55.6	59.4	17.3	14.3	54.1	40.6	12.8	15.8

問 35 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「夫婦、パートナーとの間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」の割合が 50.3%、「小さい時から男性に家事や育児に関する教育をすること」の割合が 34.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「小さい時から男性に家事や育児に関する教育をすること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会的評価を高めること	夫婦、パートナーとの間で家事などの分担をするように十分話し合うこと	労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	小さい時から男性に家事や育児に関する教育をすること	男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間・ネットワークづくりを進めること	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	その他	特に必要ない	無回答
全体	358	52.2	27.4	50.3	33.2	34.9	12.6	6.4	1.4	4.7	7.8
女性	201	53.2	28.9	51.7	31.8	44.3	11.9	4.0	1.5	3.5	5.5
男性	144	50.7	26.4	46.5	36.8	20.8	13.2	9.7	1.4	6.3	11.1

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「夫婦、パートナーとの間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」の割合が高くなっています。

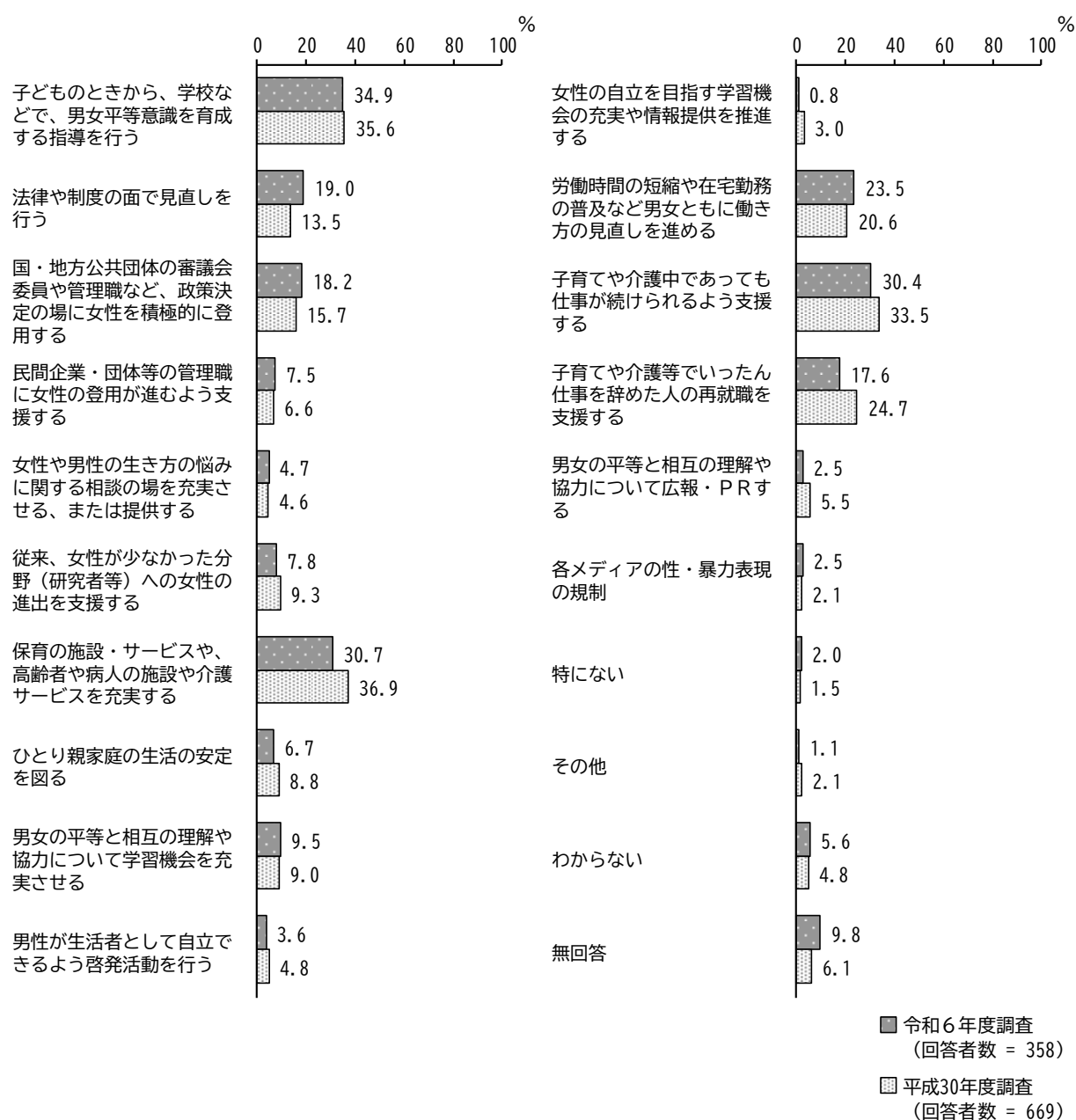
単位：％

区分	回答者数（件）	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会的評価を高めること	夫婦、パートナーとの間で家事などの分担をするように十分話し合うこと	労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	小さい時から男性に家事や育児に関する教育をすること	男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間・ネットワークづくりを進めること	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	その他	特に必要ない	無回答
全体	358	52.2	27.4	50.3	33.2	34.9	12.6	6.4	1.4	4.7	7.8
10歳代	1	—	—	—	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—
20歳代	22	36.4	27.3	81.8	50.0	54.5	13.6	4.5	—	4.5	—
30歳代	21	52.4	23.8	23.8	52.4	42.9	4.8	—	4.8	—	14.3
40歳代	32	56.3	31.3	34.4	25.0	37.5	12.5	9.4	—	3.1	12.5
50歳代	71	52.1	31.0	43.7	35.2	43.7	8.5	5.6	4.2	1.4	5.6
60歳代	70	57.1	30.0	61.4	28.6	40.0	15.7	4.3	1.4	1.4	2.9
70歳以上	133	50.4	24.1	48.9	31.6	21.8	13.5	7.5	—	9.8	11.3

問 36 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「子どものときから、学校などで、男女平等意識を育成する指導を行う」の割合が 34.9%と最も高く、次いで「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」の割合が 30.7%、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」の割合が 30.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「法律や制度の面で見直しを行う」の割合が増加しています。一方、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どものときから、学校などで、男女平等意識を育成する指導を行う	法律や制度の面で見直しを行う	国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する	民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する	女性や男性の生き方の悩みに関する相談の場を充実させる、または提供する	従来、女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	ひとり親家庭の生活の安定を図る	男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実させる	男性が生活者として自立できるよう啓発活動を行う
全体	358	34.9	19.0	18.2	7.5	4.7	7.8	30.7	6.7	9.5	3.6
女性	201	39.8	19.4	14.4	9.0	3.5	5.5	31.8	5.5	9.0	3.0
男性	144	28.5	18.8	24.3	6.3	6.9	11.1	27.8	7.6	9.0	4.9

区分	女性の自立を目指す学習機会の充実や情報提供を推進する	労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする	各メディアの性・暴力表現の規制	特にない	その他	わからない	無回答
全体	0.8	23.5	30.4	17.6	2.5	2.5	2.0	1.1	5.6	9.8
女性	1.0	21.4	36.3	18.9	3.5	2.5	1.5	2.0	5.5	7.5
男性	0.7	27.1	22.2	16.0	1.4	2.8	2.1	—	6.3	12.5

【年齢別】

年齢別にみると、20歳代で「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どものときから、学校などで、男女平等意識を育成する指導を行う	法律や制度の面で見直しを行う	国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する	民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する	女性や男性の生き方の悩みに関する相談の場を充実させる、または提供する	従来、女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	ひとり親家庭の生活の安定を図る	男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実させる	男性が生活者として自立できるよう啓発活動を行う
全体	358	34.9	19.0	18.2	7.5	4.7	7.8	30.7	6.7	9.5	3.6
10歳代	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—
20歳代	22	27.3	36.4	—	4.5	9.1	4.5	27.3	13.6	—	9.1
30歳代	21	19.0	28.6	28.6	—	9.5	9.5	9.5	9.5	14.3	4.8
40歳代	32	31.3	18.8	18.8	9.4	6.3	6.3	25.0	12.5	6.3	3.1
50歳代	71	39.4	22.5	21.1	11.3	1.4	8.5	23.9	1.4	9.9	2.8
60歳代	70	42.9	14.3	17.1	12.9	1.4	11.4	40.0	4.3	8.6	2.9
70歳以上	133	33.1	15.8	18.8	4.5	6.8	6.0	32.3	6.8	9.8	3.8

区分	女性の自立を目指す学習機会の充実や情報提供を推進する	労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする	各メディアの性・暴力表現の規制	特にない	その他	わからない	無回答
全体	0.8	23.5	30.4	17.6	2.5	2.5	2.0	1.1	5.6	9.8
10歳代	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
20歳代	—	54.5	22.7	22.7	—	—	4.5	—	9.1	—
30歳代	—	38.1	33.3	14.3	—	—	—	—	9.5	14.3
40歳代	3.1	21.9	37.5	12.5	3.1	3.1	3.1	—	9.4	6.3
50歳代	—	22.5	28.2	12.7	1.4	7.0	—	4.2	5.6	9.9
60歳代	1.4	15.7	34.3	15.7	2.9	1.4	1.4	—	5.7	8.6
70歳以上	0.8	21.1	27.8	21.1	3.8	1.5	3.0	0.8	3.8	12.8

Ⅲ 自由回答

分類回答	件数
1. 教育、子どもに関することについて	4
2. 若者、子育て世代について	4
3. アンケートについて	6
4. 意識改革について	17
5. 働き方について	4
6. 町全体のこと、町への要望など	20
7. その他	1

【分類別の意見】

1 教育、子どもに関することについて

- ・ 男女平等の意識は世代によっても大きく異なると思う。上の世代を見て育つ次世代の子どもたちが、性別による役割分担が当たり前だという意識を知らぬ間に持ってしまうのは仕方がないとしても、当たり前でないと気付きやすいような環境づくりとして啓発活動や教育が大事だと思う。女性に負担がかかる場面（育児、介護）で、それを支えるサービスが実用性のある充実したものであれば安心できると思う。どんなサービスがあれば便利なのか、子育て世代や現役世代の意見を基にして男女共同参画を進めてもらいたい。
- ・ 子供や親、高齢者にも、共同参画社会の考え方をしっかり伝えるべき！同居の方も多いので大切だと思う。
- ・ 子供が病気（カゼ程度）になった時、保育所が預かってもらえず仕事を休まざるを得ない時がある。看護師さん等を配置して頂き、カゼ程度の発熱であれば、学童、保育所共に預かってもらう事ができるような体制を整えてもらえると有難いと思う。太子町は住みやすい町であると思う。
- ・ 保育園サービスの更なる充実。放課後学童保育の更なる充実。

2 若者、子育て世代について

- ・ 子供を産むとキャリアがなくなってしまうと思って結婚しない、子供を産まないハイキャリアな女性たちが、もっと結婚子育てしやすい社会を目指すべきだと思う。働きたい女性は出産後もキャリアをキープできる環境、ワンオペ育児にならない周りの協力など、子育てをもっと楽しく子供は社会の宝と思って地域の人みんなで子育てできたら良いと思う。男女平等はもちろん大切だが、個々を尊重してどう生きたいか、その暮らしを実現できるような社会が必要と思う。
- ・ 既に家庭では男女平等であり、社会生活での女性の地位向上≡仕事等の女性参画＝職業訓練コースの充実、年齢制限の拡充。

- ・ 太子町に於いて若い人の男女平等、共同参画は勿論大切だが、高齢者、特に男性が、例えば“ぐんぐん体操”“イキイキサロン”等に積極的に参加し、交流することが、孤立や認知症予防に役立つと考えサポーターとして参加している。気軽に参加できる、よい方法はと悩むところ。
- ・ 太子町に新たにファミリー層にどんどん住んでもらい、新しい太子町のニーズに対応する事がベストだと思う。地元の良き部分も大事だが、女が、男がとかは、古き部分の考えの入れ替えも必要だと思う。新たな住人が住みやすい町こそ、これから必要な町のカタチであると思う。

3 アンケートについて

- ・ このアンケート調査をされる際に専門機関や有識者に助言を経ているか？質問自体に調査対象をあまり考慮されずにあげられているものや漠然とした調査内容が散見されるように感じる。令和2年に策定された「推進計画」の進捗状況などを町民に示された上で（単に改訂ありきといった方針によるのではなく）持続的な取りくみとなる計画にしてほしい。
- ・ ご苦労さま。「働く」ことの定義についてはアンケート内に書いた。別件だが、太子町民が生活上で困っていることは、地域の公共交通の不充分さが優先的に取り上げられるべきだと思う。そのアンケートも早急をお願いしたい。
- ・ この実態調査をふまえ、今後の推進計画の策定から実施にむけての具体的プランが、住民にわかりやすくやる気のおこるものになることを願っている。
- ・ 太子町役場での男女共同参画の現状やアンケート結果について、広報誌での啓発活動をお願いしたい。DVについては非常にデリケートな問題。相談したいけどできないなど、身内であるがゆえに表に出にくい面がある。相談窓口の拡充をお願いしたい。
- ・ 問11について。介護が必要になった時点で身体の中のどの部位であるか、軽度→重度によっても変わると思うので、どれか1つに絞るのは難しい。
- ・ 年齢に合った質問が無い。実態調査方法を考えるべき！！

4 意識改革について

- ・ 男女が、不平等だと感じた事がない。それぞれ、男性にむいている事、得意な事、女性にむいている事、得意な事がある。それは平等とか、不平等とかではなく、役割分担であると思う。あまり男だからとか、女だからと意識しなくても良いと思う。その能力のある人間が、都道府県や、市区町村の首長や、国会議員、地方議員などになれば良いのであって、女性の割合を決めて、人数を増やす必要はないと思う。
- ・ 中々男女共同は大変むずかしいと思うが、少しでも子育ての相互理解が深まると良い。
- ・ 最近の若者達は男女平等の考え方が身についているように感じられる。時代とともに！
- ・ 中学校の制服等ジェンダーの問題で変更している地域が多いのに太子町の対応はすごく遅い。他の事でもよく思う。昔から暮らす住民の意見ばかり大切にして新しい風を取り入れるチャンスを生かしていないように感じすごく残念。古きよき太子町はもう必要ない。
- ・ 具体的な推進に期待する。
- ・ 我々の世代で受けたことはセクハラ等通常行為（教育）と思って生活して来た。現在細部に立ち入りすぎそのことが問題を大きくしている。

- ・ 老人は、自分の健康管理に気をつけ、若人にお世話して頂く間をみじかく出来る事、自分の体は自分で守る事の大切さに気付ける様に、指導して欲しい。「老人あつめてただ楽しくだけではだめ。」（ノーマニーで）老人のお金は老人の若返りのためにつかわしてやれ。
- ・ 私はLGBT当事者（T）だが、太子町ではマイノリティに関してどのような取り組みをされているのか知りたい。
- ・ まだまだ男は働いて、女は家庭をと考えている昭和世代が多い。この世代がいなくなれば世の中も変わってくるのではないかと思う。
- ・ 町会活動のトップに女性がつける環境、雰囲気を作ること。
- ・ そもそも女性が活躍していない。職業や社会的地位を与えないといけないという前提をやめるべき。古くから家庭内においては活躍してきた。家庭内での活躍も含め女性の活躍であるという価値観も認めるべき。現状の男女平等や女性の活躍は、個性を認めず価値観を押しつけているように感じ、息苦しい社会になってきたと思う。
- ・ 男女平等というとして「規制だ」「男女同数だ」と短絡的な思考に陥りがちだが、従来の文化的、社会的背景を基にした「男らしさ」「女らしさ」で自己実現を図ろうとする人々をも尊重していただきたい。性差による思考、行動の傾向の違いは当然あるものという前提に立ち、「男女比1：1を目指す」というよりは、「性別を気にせずに生活できる社会」の実現を希求するところだ。
- ・ 本町の「男女共同参画推進」条例の内容を知らないので残念ながらどのような政策が実施されているのかが理解できていない。政策内容等の広報をしてほしい。男性は、「〇〇すべき」女性「〇〇あるべき」子どもは「〇〇すべき」様々な「べき」を考える機会があればと思う。
- ・ 田舎で生まれて、母屋教育を受けて育ち、長男に嫁ぎ祖父、祖母、父、母、弟を5人おくった。「長男の嫁」として。だから、男女平等といわれても、令和だからと言われても、わからない。女の人が立派になられても、思いやりや、やさしさ、を忘れないでほしいと思う。
- ・ 現在大人になっている者には意識の改革が必要であると思う。男が活動したことで評価をすること自体おかしいと思う。子供達には今まで言われてきた男らしさ女らしさではなく自分のやりたいことができる環境を作ってあげたい。
- ・ 男性、女性と区別するのでなくて、その人の能力、資質での参画ではどうなのだろうか。
- ・ 女性は仕事をしながら家事、育児、介護をしてきたが、いったい男性に本当に何ができるのか？ただ、自分がかかわりたくないだけなのに、「仕事がいそがしい」ともっともな「うそ」をならべるだけ。

5 働き方について

- ・ 女性の割合が増える事だけを目指すのは、不満、軋轢をうむだけ。本当に共同参画を推進するなら、女性の能力を上げ、男女で競いその役職に相応しい者になるべき。
- ・ 学校では男女の差はあまり感じられないがまだまだ家庭、会社などでは男女の差はある。だが、全て同じ様にするには難しく、やはり男しかできない事、女しかできない事があるので、それぞれを生かす事ができる様に考えないといけないと思う。今は共働きの家が多いので家事を分けている家庭がほとんど。問 36 で記入したけれど育児に関しては男性ひとりで子育てしている方は理解も得られる事も難しいと思うのでしんどいかなと思う。

- ・ 社会で仕事量が変わらない中、家事育児の時間が増えるのは難しい。まずは社会全体で仕事を終え、帰る時間を早くすることができればパパさんを支えることになる。またパートナー同士話し合い様々なご家庭が認められると良いと思う。
- ・ 太子町役場の男女比も教えてほしい（働いている方の）実際男の人にしかできない仕事や女の人にしかできないことも仕事内容であると思うので、仕方ないこともあるのかなと正直思う。

6 町全体のこと、町への要望など

- ・ 各家庭のあり様は千差万別、大枠で必要な法律の整備等は、行政でしっかり考えてほしい「木を見て森を見ない」は避けよう。日本人として、人間として、社会のシステムに必要なことを、積極的に推進してほしい。よろしく。
- ・ 男女共同参画等以前よりも太子町は不便すぎる。もっとショッピングモール等誘致して町を活性化しなくては太子町には住むのを勧められない！まずは、そこから、自然があつてのどこかがあまりにも不便すぎる！議論はまずそこから！
- ・ お役に立てたでしょうか？これからの世の中、こんな問題があると。色んな事があつたが平和な時代を過ごせて幸せに思う。子供の時代少し心配する。太子町ガンバレ！
- ・ 太子町自体、高齢者が住む町というイメージがある。もっと老人福祉や子育てがしやすい町のイメージを作る取り組みとアピール出来る施策が必要と思う。若い人が住んでこそその男女参画も進められるのではないかと思う。
- ・ 現、町会長は99%が男性で慣習となっている。男性、女性交互に任用する推進を太子町からアナウンスして共同参画の定着を願う。
- ・ 一人親で、養育費もなく、両親は年金暮らしで、子どもはまだ3才前。働かないと生きられない！だけど働けない！！病気、欠勤、早退、保育園から電話がかかるとすぐ帰宅。その度クビ。もっと生きやすい国に。お金をください。男女平等より、今、食べることに苦しんでいる人を救うことをやってくれ！
- ・ 財産地区と自ら称し町から政策的に優遇されている住民達が存在する事に憤りを感じずにいられない。又、町職員と個人的な繋がりを利用して便宜を図ってもらっている住民との関係は厳しく戒めるべきと思う。このまま将来的にも太子町に住み続けたいと思わない。
- ・ あらゆる情報を利用して行政が積極的に個人個人を理解するまで、尚かつ、発言できるようになる迄発信する事。
- ・ よろしく。
- ・ いつもありがとう。この太子町がより良くなっていくよう今後も宜しく。
- ・ 太子町役場や出先の職員数は男女同数だか、町議会議員はどうか。世の中は男女半々の人口、大阪府や国の機関はどうか。私が思うに、少なくとも例えば議員は半々の男女同数になればいいなと思う。もちろん職員さんも。太子町から始めないか。目標は“男女同数”そうなることは、男女同じように“参画”していることになる。全国初の男女同数職場を、太子町役場職員採用から始めてほしい。先ず、副町長は女性。1歩前へ！ありがとう。
- ・ 国や、他の自治体の方針にとらわれず、太子町として必要と思われる推進を行なってほしい。
- ・ 地域活性化のための政策、期待している。
- ・ 太子町が昔からのことなどが多々見られる町なので男女共同などの施策を期待している。
- ・ 太子町民の男女への育休所得（町負担）結婚のお祝い金を付与（増額）大学入学祝い金を付与。

- ・ 我が町政の動き町民それぞれ理解できていないと思う。そこで町議会本会議、臨時議会、町議員の会合の場にオブザーバーとして選ばれた男女が参加できる制度作らないか(案) 地元出身者(先住の方2名) 他都市からの編入者(移住の方8名)、2:8をくずさないように心がける。この対比崩すと町政に興味がうすれる。議会の迫力が見えてこない。内容がいかななものか。町民期待している。
- ・ 役場の仕事の無駄を減らす工夫をし、仕事の時短を実現する。公である役場から改革する。
- ・ 希望として、他に一人親家庭、身体障害者の支援を特にお願したい。
- ・ 全て AI 化推進。維新が撤退してほしい。
- ・ 男女だけでなる町会議員の高齢化に遺憾を覚える。新しい取り組みや考えに対して抵抗感を感じ、活動することも億劫になっている方々には席を空けていただき、老害を排除した上で町づくりを行ってほしい。

7 その他

- ・ ボランティア活動他。

太子町
住民意識実態調査

発 行 年 月：令和6年9月

発 行：太子町 政策総務部 住民人権課

〒583-8580

大阪府南河内郡太子町大字山田88番地

電 話：0721-98-5515